

**小規模医療機関にかかる
インターフェース規格策定
及び検証に関する請負業務
規格書**

2014年3月

パナソニック ヘルスケア株式会社

目 次

1. はじめに.....	1
1.1. 背景.....	1
1.2. 目的.....	1
1.3. 策定方針.....	2
2. 適用範囲.....	3
3. 連携用データの受信・変換・格納.....	4
3.1. 変換処理.....	4
3.1.1. レセコンデータ（医科）の変換.....	5
3.1.2. レセコンデータ（調剤）の変換.....	82
3.1.3. 検査結果の変換.....	114
3.2. 格納処理.....	128
3.2.1. レセリポジトリの構造.....	128
3.2.2. ファイル命名規則.....	129
3.2.3. 格納処理における留意点.....	129
3.2.4. トランザクションストレージ記録仕様.....	130
4. 参考文献.....	131
付録—1. コード表.....	132
付録—2. レセリポジトリ変換処理のサンプル.....	133

1. はじめに

本章は、厚生労働省「小規模医療機関にかかるインターフェース規格策定及び検証に関する請負業務」（以下、「本事業」と呼ぶ）において、診療所や薬局、臨床検査センターから地域医療連携情報ネットワークに提供される医療情報を標準規格である HL7 メッセージに変換するための規約を規格書としてとりまとめたものである。

1.1. 背景

現在、我が国では多くの地域医療連携情報ネットワークが稼働し、医療機関間で医療情報の共有が実施されている。加えて、地域医療連携情報ネットワーク間で医療情報を共有するための検討も進みつつある。しかしながら、多くの場合、中核病院の電子カルテ等で生成された医療情報を連携先の医療機関で閲覧するだけの運用がなされており、複数の医療機関間で医療情報を効率的、効果的に共有することが実現できているとは言い難い。このような背景から、厚生労働省事業「医療機関間で医療情報を交換するための規格および指針策定に関する請負業務」（以下、PIX/PDQ 事業）では、医療機関間で医療情報を共有するために、IHE (Integrating the Healthcare Enterprise) ITI (Information Technology Infrastructure) テクニカルフレームワークを基礎とした医療機関間で医療情報を交換するための標準規格、及び、実装ガイドを策定した。このフレームワークでは、地域医療連携情報ネットワークに提供するための医療情報は、各医療施設の電子カルテシステムから出力することを前提としている。

一方で、我が国では、小規模医療施設（本書では、レセプトコンピュータから地域医療連携用データを出力する医療施設、及び、薬局を示す。）が多数を占めており、医療施設から参照したいデータはむしろ小規模医療施設に存在する。しかし、電子カルテシステムが導入されていない小規模医療施設が上記のフレームワークを実装し、地域医療連携情報ネットワークに参画するためには、導入効果に見合わない多額の費用負担を強いることになり、実現は困難である。

また、小規模医療施設における検査結果の電子化の状況として、小規模医療施設の多くは、臨床検査を外部の臨床検査センターに委託しており、小規模医療施設と臨床検査センター間で、電子的に医療情報の授受が行われているケースもある。しかし、情報連携するデータの項目やフォーマットについては、独自形式で行われており、データ形式が標準化されていないのが現状である。臨床検査センターが保有しているデータを地域医療連携に提供する方法も考えられるが、臨床検査センターも小規模医療施設同様、上記フレームワークを実装し、地域医療連携情報ネットワークに参画するためには、導入効果に見合わない多額の費用負担を強いることになる。このような状況から小規模医療施設では、臨床検査データもまた地域医療連携情報ネットワークに提供することが実現できていない状況にある。

そこで本事業では、小規模医療施設の地域医療連携への参入障壁を低くするべく、小規模医療施設から必要な医療情報を抽出するためのインターフェースの規格化・標準化を図り、それらを使用した地域医療連携情報ネットワークの実装方式を、実装ガイドとしてとりまとめた。

本書は、その中で、本事業で定めたインターフェース仕様書に準じて小規模医療施設や臨床検査センターから地域医療連携情報ネットワークに対して提供された医療情報を、標準規格に変換するための仕様を規格書としてとりまとめたものである。

1.2. 目的

本書の目的は、本事業で定めたインターフェース仕様書に準じて小規模医療施設や臨床検査センターから地域医療連携情報ネットワークに対して提供された医療情報を、標準規格に変換するための規約を規格書として定めることである。

規格書は、医科、調剤、検査結果の3部構成とし、医科、調剤については、医科レセプトコンピュータ、調剤レセプトコンピュータからそれぞれ提供された地域医療連携用診療情報記録条件仕様に基づく CSV デー

タを、HL7 メッセージに変換するための規約を定義する。検査結果については、小規模医療施設または臨床検査センターから提供された地域医療連携用診療情報記録条件仕様に基づく CSV データを HL7 メッセージに変換するための規約を定義する。

本書で定めた規格は、標準規格を採用しているが、現段階では一つの方法を示したものに過ぎない。今後、業界内の様々な方面に働きかけを行い、広く国内での適用・普及を図る。

1.3. 策定方針

本事業では、小規模医療施設から地域医療連携システムへ提供された連携用データを共有するために、SS-MIX (Standardized Structured Medical Information Exchange) に類似した構造を持つデータ形式、及び、データ格納ルールを「レセリポジトリ」と命名する。レセリポジトリは、HL7 V2.5 に完全に準拠するものとする。また、JAHIS 標準として定められた各種のデータ交換規約や SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書との整合性も図る方針とするが、小規模医療機関から提供可能な情報項目が、電子カルテシステムでの利用を前提とした JAHIS 交換規約や SS-MIX2 独自の制約を必ずしも充足できるとは限らないため、既存の JAHIS 標準や SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書の制約に完全に準拠するものではない。

2. 適用範囲

本書が対象とする地域医療連携情報ネットワークの全体像は図 2-1 の構成をとる。本事業では、電子カルテシステム／オーダエントリシステムから地域医療連携用データを出力する医療機関・薬局を「医療施設」と定義し、レセプトコンピュータから地域医療連携用データを出力する医療機関・薬局を「小規模医療施設」と定義する。図中の「診療所」・「薬局」は小規模医療施設に対応し、「病院」は「医療施設」に対応する。

本書で定める規格書は、小規模医療施設や臨床検査センターからインターフェース仕様書に準じて提供される医療情報を、標準規格である HL7 メッセージへ変換するための規約を定めた文書である。

図 2-1 中に、本規格書が適用される可能性のある範囲を赤実線で示した。インターフェース仕様書に準じたデータから、医療情報連携基盤システムが扱う標準規格への変換処理の実現方法には複数の方法が考えられるため、赤実線で示した全ての範囲で必ずしも本書の規格が適用される訳ではない。特に検査結果については、診療所や臨床検査センターから医療情報連携基盤システムへの検査結果の提供パターンが複数考えられるため、提供パターンの詳細を報告書に示した。医科、及び、調剤については、標準規格への変換処理をどこで実現するかについて本事業では規定しない旨を実装ガイドに記載した。それぞれ適宜参照されたい。

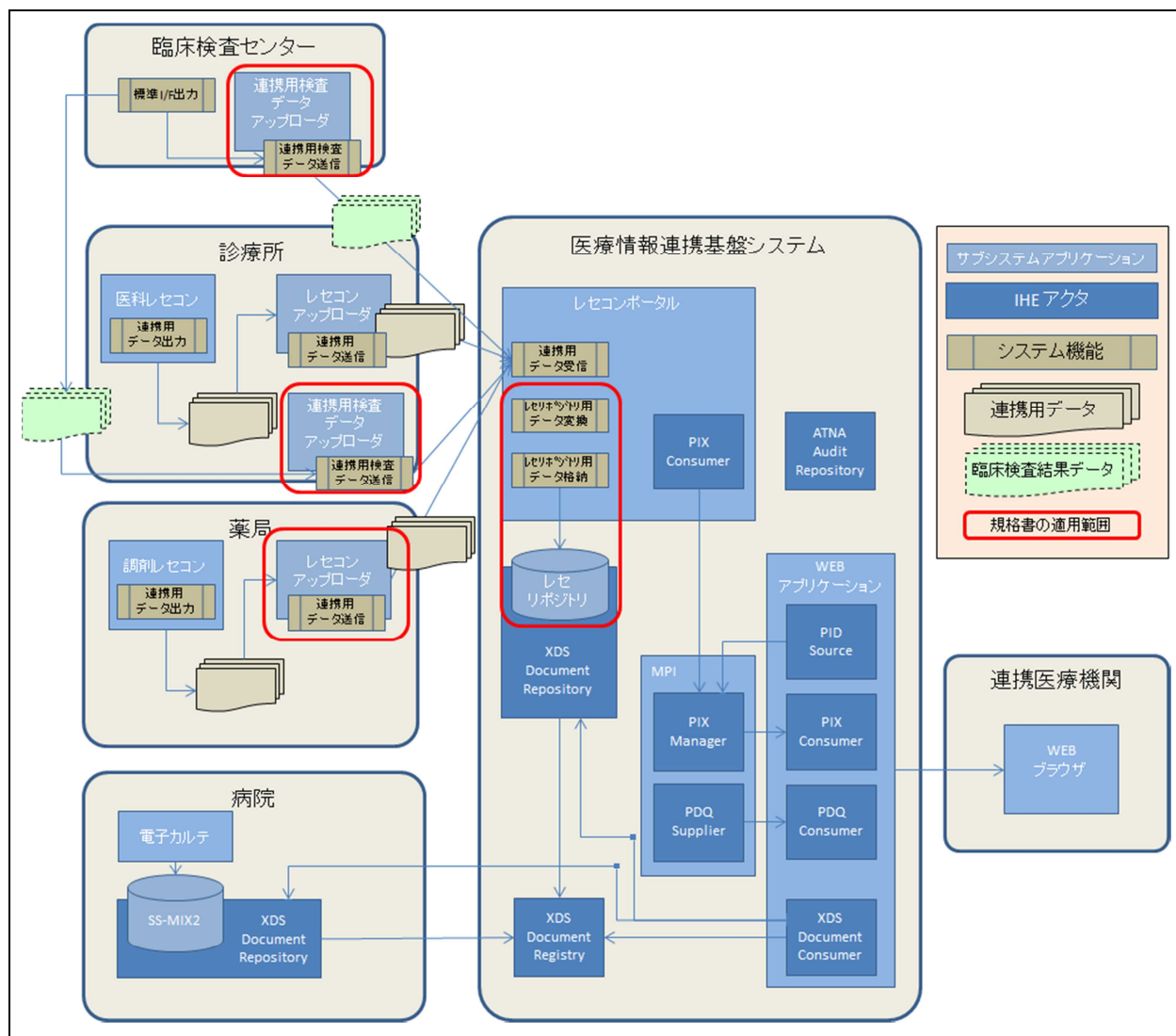


図 2-1 地域医療連携情報ネットワークの概念図と規格書の適用範囲

3. 連携用データの受信・変換・格納

3.1. 変換処理

3.1.1項、3.1.2項、3.1.3項では、医科、調剤、検査結果それぞれについて、SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書のメッセージ定義表の記載に類似した形式で、レセリポジトリメッセージの定義表を示し、レセリポジトリへの変換処理を定義する。表 3-1 に、メッセージ定義表の記載項目の説明を示す。

表 3-1 メッセージ定義表の記載項目

No	項目	説明
1	フィールド名	SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書で指定された HL7 V2.5 フィールドの日本語名称。
2	LEN	1 つのデータフィールドの 1 反復が占めることができる文字の最大数。
3	DT	HL7 V2.5 で定義されたフィールドのデータタイプを示す。詳細については、関連する JAHIS 標準文書を参照のこと。
4	OPT	HL7 V2.5 で定義されたオプション指定。 <ul style="list-style-type: none"> ・ R：必須 ・ RE：存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。 ・ O：オプション ・ C：トリガイイベント及びその他のフィールドの条件により設定要否が決まる。 ・ X：対象のトリガイイベントでは使用されない。 ・ B：旧バージョンとの互換用。 ・ -：HL7 V2.5 では未使用（JAHIS で定義された Z セグメントなど）。詳細は、関連する JAHIS 標準文書を参照のこと。
5	RP	そのフィールドが反復可能かどうかを示す。
6	TBL#	コード型のフィールドの場合に、使用するコード表の番号を指定する。HL7 表、使用者定義表、外部表の 3 種類が存在する。
7	本仕様	本書の仕様における制約（オプション指定）を示す。レセリポジトリ実装時の参考情報として、SS-MIX2 仕様と変更したフィールドについては太字で示す。
8	SS-MIX2	レセリポジトリ実装時の参考情報として、SS-MIX2 仕様における制約（オプション指定）を示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ R：必須。 ・ RE：存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。 ・ O：オプション。ただし、原則として、送信側アプリケーションに該当データがあれば、必ず送信しなければならない。 ・ C：トリガイイベント及びその他のフィールド条件により設定要否が決める。 ・ N：通常、使用しない。 詳細は、SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書を参照。
9	説明	フィールドの説明。

3.1.1. レセコンデータ（医科）の変換

3.1.1.1. 変換処理の概要

表 3-2 に、連携用データ（医科）の変換に使用するレセリポジトリメッセージを示す。前提条件として、レセリポジトリの変換処理では、患者単位、外来・入院別に、リポジトリへの最終取込日付を管理しているものとする。変換処理を行った後、外来データの場合は処理した算定日のうち最終の算定日、入退院データの場合は退院日を、継続入院データの場合は診療年月の月末日を、最終取込日付として更新する。

変換処理の中で、診療行為レコード、医薬品レコードの各診療識別コードの値により変換先のメッセージの種別を識別する必要があるが、一連の診療行為に複数のレコードが含まれる場合、2 番目以降のレコードには、診療識別コードが記録されないことに留意する。以下に記載する変換処理の説明は、診療識別コードが省略される 2 番目以降のレコードについても、1 番目のレコードの診療識別コードと同一の処理を行なうものとして記載する。

表 3-2 使用するレセリポジトリメッセージ

No	連携用ファイル	対応するレセリポジトリメッセージ	
1	外来データ連携用ファイル	ADT^A04	患者登録（外来受付）
2		OML^O33	検体検査オーダー
3		RDE^O11	処方オーダー
4		RDE^O11	注射オーダー
5		ADT^A60	アレルギー情報登録・更新
6		PPR^ZD1	病名（歴）情報登録・更新
7	入退院データ連携用ファイル	ADT^A01	入院/来院通知
8		ADT^A03	退院/来院終了
9		OML^O33	検体検査オーダー
10		RDE^O11	処方オーダー
11		RDE^O11	注射オーダー
12		ADT^A60	アレルギー情報登録・更新
13	PPR^ZD1	病名（歴）情報登録・更新	
14	継続入院データ連携用ファイル	ADT^A01	入院/来院通知
15		ADT^A03	退院/来院終了
16		OML^O33	検体検査オーダー
17		RDE^O11	処方オーダー
18		RDE^O11	注射オーダー
19		ADT^A60	アレルギー情報登録・更新
20		PPR^ZD1	病名（歴）情報登録・更新

表 3-3 に、レセリポジトリにおける各セグメント表の定義を記載した章番号を示す。ORC セグメントのように、同一のセグメントでもメッセージによって使用方法が異なるものについては、それぞれの章に説明を記載した。逆に MSH セグメントのように、全てのメッセージで共通する仕様は、1つの定義表を複数のメッセージの説明の中で参照する形で記載した。

表 3-3 セグメント表の記載箇所

No	セグメント	ADT^A04	ADT^A01	ADT^A03	OML^O33	RDE^O11 (処方)	RDE^O11 (注射)	ADT^A60	PPR^ZD1
1	SS-MIX ヘッダ	3.1.1.2	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左

	—								
2	MSH	3.1.1.3.2	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
3	EVN	3.1.1.3.3	同左	同左	—	—	—	3.1.1.3.3	—
4	PID	3.1.1.3.4	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
5	NK1	5.2.1.3.5	同左	同左	—	—	—	—	—
6	PV1	3.1.1.3.6	同左	同左	—	—	—	—	—
7	IN1	3.1.1.3.7	同左	同左	—	—	—	—	—
8	SPM	—	—	—	3.1.1.6.4	—	—	—	—
9	ORC	—	—	—	3.1.1.6.5	3.1.1.7.4	3.1.1.8.4	—	3.1.1.10.5
10	OBR	—	—	—	3.1.1.6.6	—	—	—	—
11	OBX	—	—	—	3.1.1.6.7	—	—	—	—
12	RXE	—	—	—	—	3.1.1.7.5	3.1.1.8.5	—	—
13	TQ1	—	—	—	—	3.1.1.7.6	3.1.1.8.6	—	—
14	RXR	—	—	—	—	3.1.1.7.7	3.1.1.8.7	—	—
15	RXC	—	—	—	—	—	3.1.1.8.8	—	—
16	IAM	—	—	—	—	—	—	3.1.1.9.5	—
17	PRB	—	—	—	—	—	—	—	3.1.1.10.4

(ア) 外来データ連携用ファイルの変換処理

- ◇ 患者単位の連携用データのうち、レセプト共通レコード(RE)のレセプト種別の末尾が偶数（入院外）の全てのデータについて、1レセプト単位に
 - 診療識別コードが「14」、「31」、「32」、「33」、「60」の診療行為レコード(SI)、または、診療識別コードが「14」、「21」、「22」、「23」、「31」、「32」、「33」の医薬品レコード(IY)に対して、
 - 記録対象となる算定日毎に、ADT^A04（患者登録）メッセージを作成する。（※1、※2
 - 診療識別コードが「60」の診療行為レコード(SI)に対して、または、コメントコードに検査オーダーコード「819990004」が設定されたコメントレコード(CO)に対して、
 - 記録対象となる算定日毎に、OML^O33（検体検査オーダー）メッセージを作成する。（※1、※2
 - 診療識別コードが「14」、「21」、「22」、「23」の医薬品レコード(IY)、または、コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が設定されたコメントレコード(CO)に対して
 - 記録対象となる算定日毎に、RDE^O11（処方オーダー）メッセージを作成する。（※1、※2
 - 診療識別コードが「31」、「32」、「33」の医薬品レコード(IY)、または、コメントコードに注射オーダーコード「819990003」が設定されたコメントレコード(CO)に対して
 - 記録対象となる算定日毎に、RDE^O11（注射オーダー）メッセージを作成する。（※1、※2
 - 記録対象となる算定日が設定された連携用コメントレコード(C1)に対して、
 - PPR^ZD1（病名（歴）登録・更新）メッセージを作成する。算定日に寄らず患者単位に1メッセージとする。（※2、※3
 - 連携用レセプト共通レコード3（R3）に対して、
 - ADT^A60（アレルギー情報登録・更新）メッセージを作成する。患者単位に1メッセージとする。（※2、※3
 - 前述したレコード以外のレコードおよび情報に対しては、3.1.1.2以降に従ってメッセージを作成

する。

※1：同一算定日に作成するのは最大1メッセージとする。

※2：記録対象となる算定日の判断について以下に示す。図 3-1 も参照のこと。

① 当該患者の最終取込日情報がない場合

記録対象となる算定日は診療年月の1日から変換処理日までとする。

ただし、変換処理月が診療年月の次月以降の場合、診療年月の1日から診療年月末日までとする。

② 当該患者の最終取込日情報がある場合

◇ 最終取込日が診療年月の前月以前の場合

記録対象となる算定日は「①当該患者の最終取込日情報がない場合」と同じ判断となる。

◇ 最終取込日が診療年月に含まれる場合

記録対象となる算定日は最終取込日の翌日から変換処理日までとなる。

ただし、変換処理月が診療年月の次月以降の場合、最終取込日の翌日から診療年月末日までとする。

※3：レセリポジトリへの格納方法についての留意事項は「3.2.3 格納処理における留意点」を参照すること。



図 3-1 外来データ連携用ファイルの記録対象日の考え方

外来データ連携ファイルの変換処理の例として、地域医療連携用診療情報ファイルのサンプルと、その内容から作成されるレセリポジトリメッセージの関係を図 3-2 に示す。この例では、患者太郎のデータの最終取込日は2013年10月13日であるため、2013年10月14日以降の算定日のみを変換対象となる。

また、図 3-3 には、処方事実をコメントレコード (CO) で記録した例を示す。この例では、検査依頼 (OML^033) メッセージのセグメント構成のイメージ図を使用し、一連の診療行為と見なされる診療行為レコード (SI) のグループの単位で、検査項目セグメントがグループ化されることも図示した。詳細は、「3.1.1.6 検体検査オーダーメッセージ (OML^033) の定義」を参照すること。

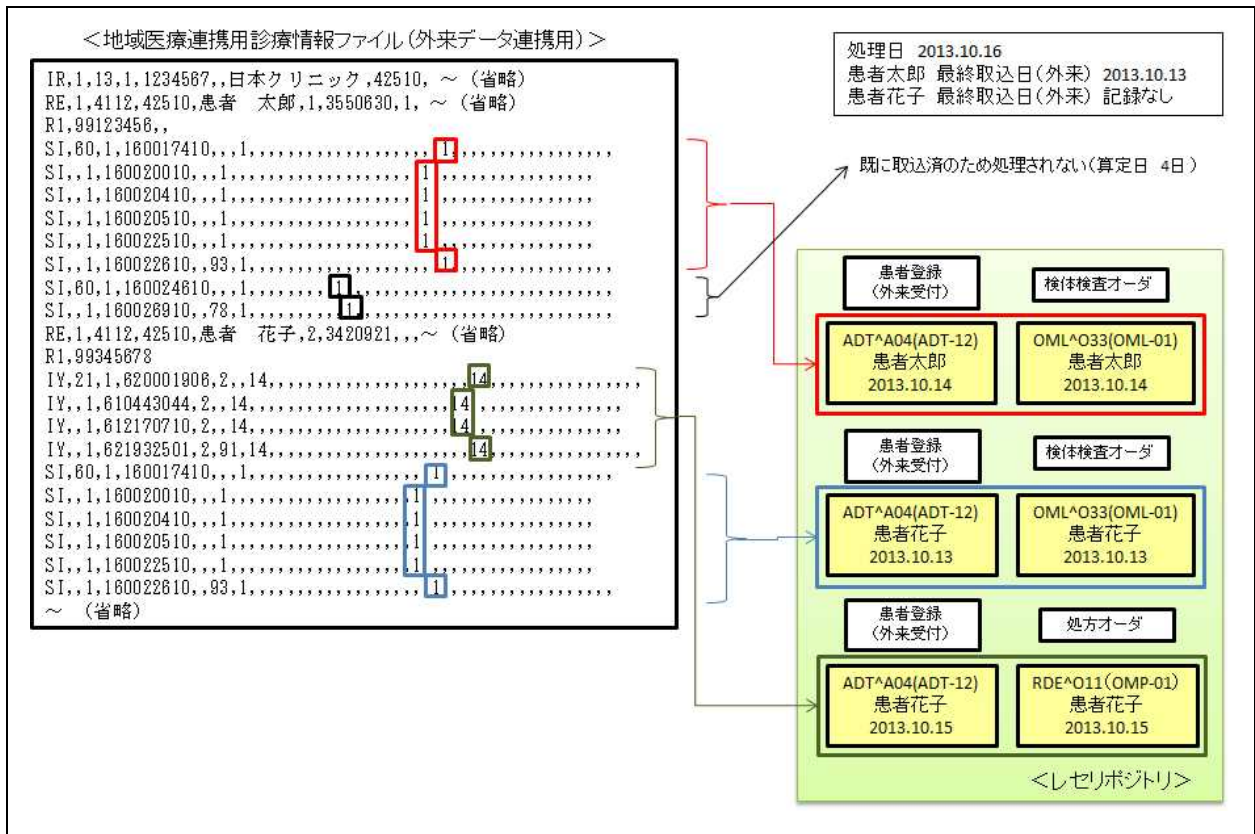


図 3-2 外来データ連携用ファイルのレセリポジトリ変換処理例 1

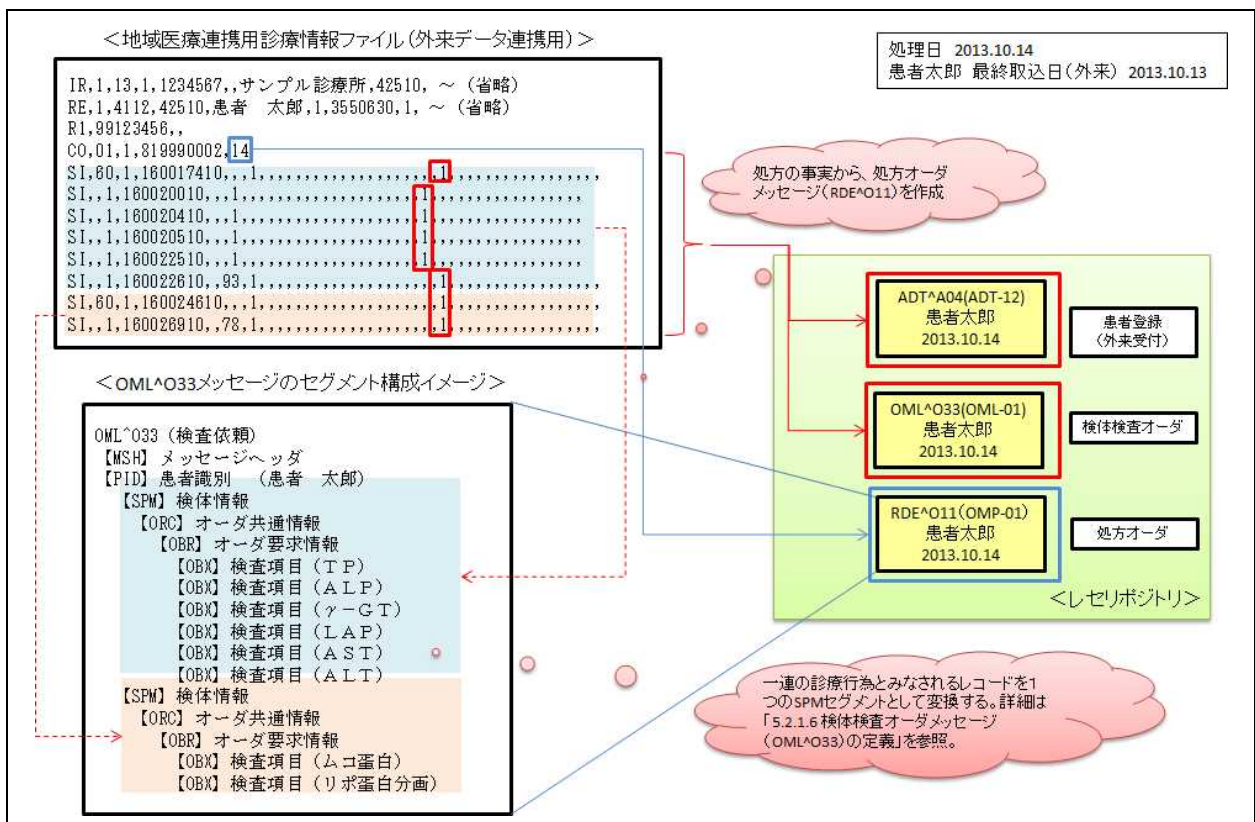


図 3-3 外来データ連携用ファイルのレセリポジトリ変換処理例 2

(イ) 入退院データ連携用ファイルの変換処理

- ◇ 患者単位の連携用データのうち、レセプト共通レコード (RE) のレセプト種別の末尾が奇数 (入院)、かつ、連携用レセプト共通レコード (R1) に退院日が記録されておりそれが診療年月に含まれるデータについて、1レセプト単位に
 - 連携用レセプト共通レコード (R1) に対して、
 - 入院日が診療年月に含まれる場合、ADT^A01 (入院/来院通知) メッセージを作成する。(※1)
 - ADT^A03 (退院/来院終了) メッセージを作成する。(※1)
 - 診療識別コードが「60」の診療行為レコード (SI)、または、コメントコードに検査オーダーコード「819990004」が設定されたコメントレコード (CO) に対して
 - 記録対象となる算定日毎に、OML^033 (検体検査オーダー) メッセージを作成する。(※1、※2)
 - 診療識別コードが「14」、「21」、「22」、「23」の医薬品レコード (IY)、または、コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が設定されたコメントレコード (CO) に対して、
 - 記録対象となる算定日毎に、RDE^011 (処方オーダー) メッセージを作成する。(※1、※2)
 - 診療識別コードが「31」、「32」、「33」の医薬品レコード (IY)、または、コメントコードに注射オーダーコード「819990003」が設定されたコメントレコード (CO) に対して
 - 記録対象となる算定日毎に、RDE^011 (注射オーダー) メッセージを作成する。(※1、※2)
 - 記録対象となる算定日が設定された連携用コメントレコード (C1) に対して、
 - PPR^ZD1 (病名 (歴) 登録・更新) メッセージを作成する。算定日に寄らず患者単位に1メッセージとする。(※2、※3)
 - 連携用レセプト共通レコード3 (R3) に対して、
 - ADT^A60 (アレルギー情報登録・更新) メッセージを作成する。患者単位に1メッセージとする。(※2、※3)
 - 前述したレコード以外のレコードおよび情報に対しては、3.1.1.2以降に従ってメッセージを作成する。

※1： 同一入院日に対して作成するのは最大1メッセージとする。

※2： 記録対象となる算定日の判断について以下に示す。図 3-4 も参照のこと。

- ① 当該患者の最終取込日情報がない場合
記録対象となる算定日は連携用レセプト共通レコード (R1) の入院日 (以降、入院日と呼ぶ) から退院日までとする。
ただし、入院日が診療年月の前月以前の場合、診療年月の1日から退院日までとする。
- ② 当該患者の最終取込日情報がある場合
 - ◇ 最終取込日が診療年月の前月以前の場合
記録対象となる算定日は「①当該患者の最終取込日情報がない場合」と同じ判断となる。
 - ◇ 最終取込日が診療年月に含まれる場合
 - ・ 入院日が最終取込日の翌日以降の場合
記録対象となる算定日は入院日から退院日までとする。
 - ・ 入院日が最終取込日以前の場合
記録を行わない。

※3： レセリポジトリへの格納方法についての留意事項は「3.2.3 格納処理における留意点」を参照

すること。

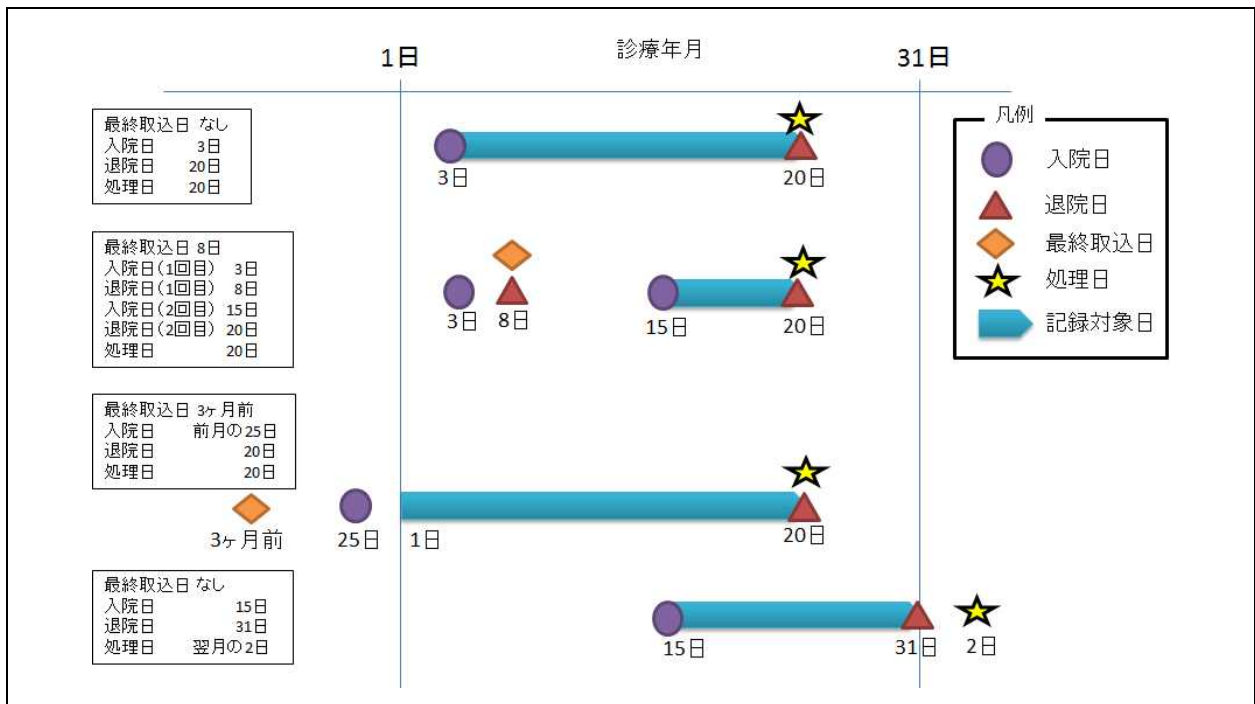


図 3-4 入退院データ連携用ファイルの記録対象日の考え方

入退院データ連携ファイルの変換処理の例として、地域医療連携用診療情報ファイルのサンプルと、その内容から作成されるレセリポジトリメッセージの関係を図 3-5 に示す。

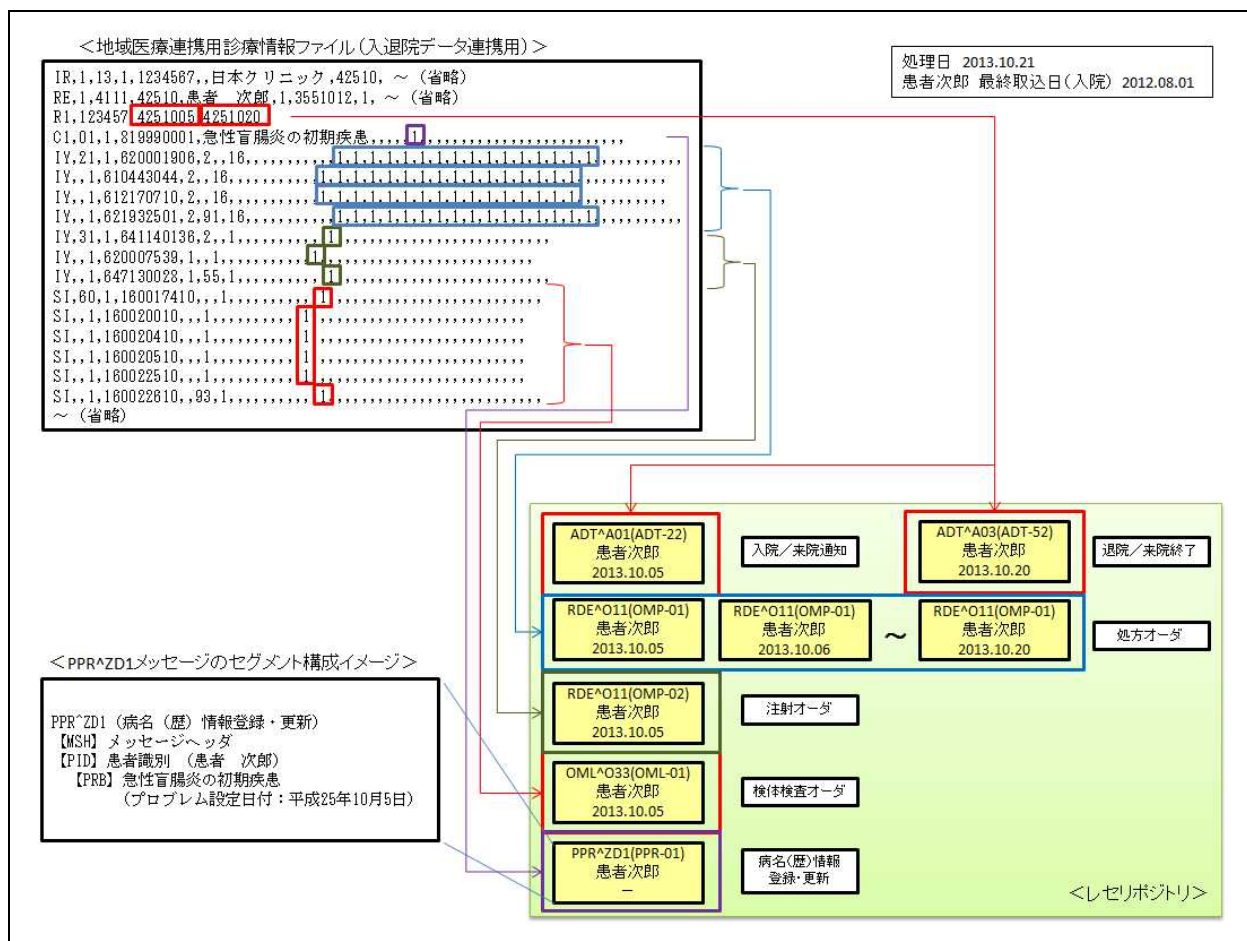


図 3-5 入退院データ連携用ファイルのレセリポジトリ変換処理例

(ウ) 継続入院データ連携用ファイルの変換処理

- ◇ 患者単位の連携用データのうち、レセプト共通レコード (RE) のレセプト種別の末尾が奇数 (入院)、かつ、連携用レセプト共通レコード (R1) の退院日が記録されていない全てのデータについて、1レセプト単位に
 - 連携用レセプト共通レコード (R1) に対して、
 - 入院日が診療年月に含まれる場合、ADT^A01 (入院/来院通知) メッセージを作成する。(※1)
 - 診療識別コードが「60」の診療行為レコード (SI)、または、コメントコードに検査オーダーコード「819990004」が設定されたコメントレコード (CO) に対して、
 - 記録対象となる算定日毎に、OML^O33 (検体検査オーダー) メッセージを作成する。(※1、※2)
 - 診療識別コードが「14」、「21」、「22」、「23」の医薬品レコード (IY)、または、コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が設定されたコメントレコード (CO) に対して、
 - 記録対象となる算定日毎に、RDE^O11 (処方オーダー) メッセージを作成する。(※1、※2)
 - 診療識別コードが「31」、「32」、「33」の医薬品レコード (IY)、または、コメントコードに注射オーダーコード「819990003」が設定されたコメントレコード (CO) に対して、
 - 記録対象となる算定日毎に、RDE^O11 (注射オーダー) メッセージを作成する。(※1、※2)
 - 記録対象となる算定日が設定された連携用コメントレコード (C1) に対して、

- PPR^ZD1 (病名 (歴) 登録・更新) メッセージを作成する。算定日に寄らず患者単位に1メッセージとする。(※2、※3)

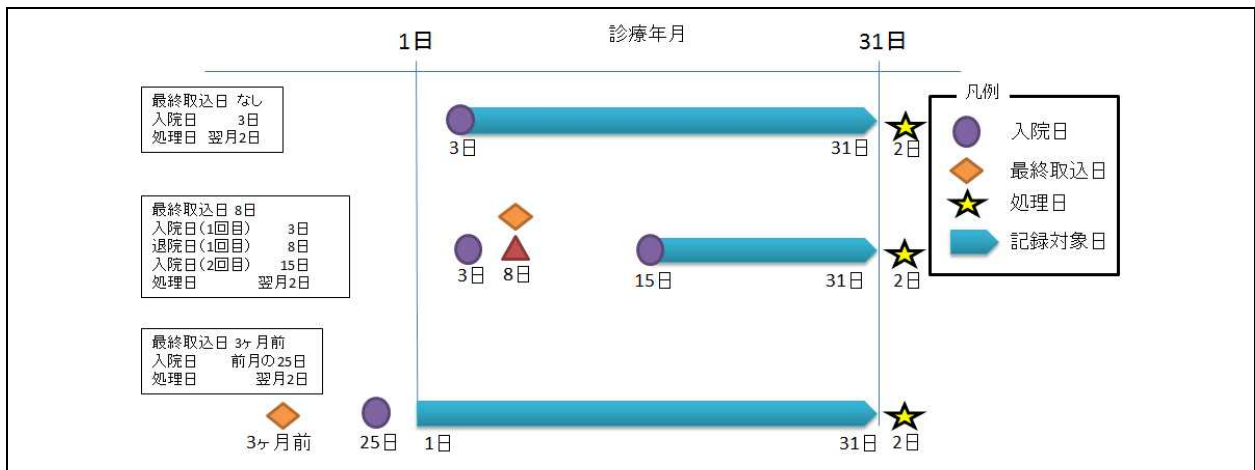
- ▶ 連携用レセプト共通レコード3 (R3) に対して、
 - ADT^A60 (アレルギー情報登録・更新) メッセージを作成する。患者単位に1メッセージとする。(※2、※3)
- ▶ 前述したレコード以外のレコードおよび情報に対しては、3.1.1.2以降に従ってメッセージを作成する。

※1：同一入院日に対して作成するのは最大1メッセージとする。

※2：記録対象となる算定日の判断について以下に示す。図3-6も参照のこと。

- ① 当該患者の最終取込日情報がない場合
 - 記録対象となる算定日は連携用レセプト共通レコード(R1)の入院日(以降、入院日と呼ぶ)から診療年月末日までとする。
 - ただし、入院日が診療年月の前月以前の場合、診療年月の1日から診療年月末日までとする。
- ② 当該患者の最終取込日情報がある場合
 - ◇ 最終取込日が診療年月の前月以前の場合
 - 記録対象となる算定日は「①当該患者の最終取込日情報がない場合」と同じ判断となる。
 - ◇ 最終取込日が診療年月に含まれる場合
 - ・ 入院日が最終取込日の翌日以降の場合
 - 記録対象となる算定日は入院日から診療年月末日までとする。
 - ・ 入院日が最終取込日以前の場合
 - 記録を行わない。

※3：レセリポジトリへの格納方法についての留意事項は「3.2.3 格納処理における留意点」を参照すること。



継続入退院データ連携ファイルの変換処理の例として、地域医療連携用診療情報ファイルのサンプルと、その内容から作成されるレセリポジトリメッセージの関係を図3-7に示す。本例で、入院日(2013年9月10日)は、診療年月(2013年10月度)以前の日付のため、ADT^A01(入院/来院通知)メッセージは作成されないことに留意する(2013年9月度の継続入退院データの処理で作成済)。また、連携用レセプト共通レコード3(R3)が含まれる場合には、当該患者の1回の変換処理で1つのADT^A60(アレルギー情報登録・

更新) メッセージが作成される。

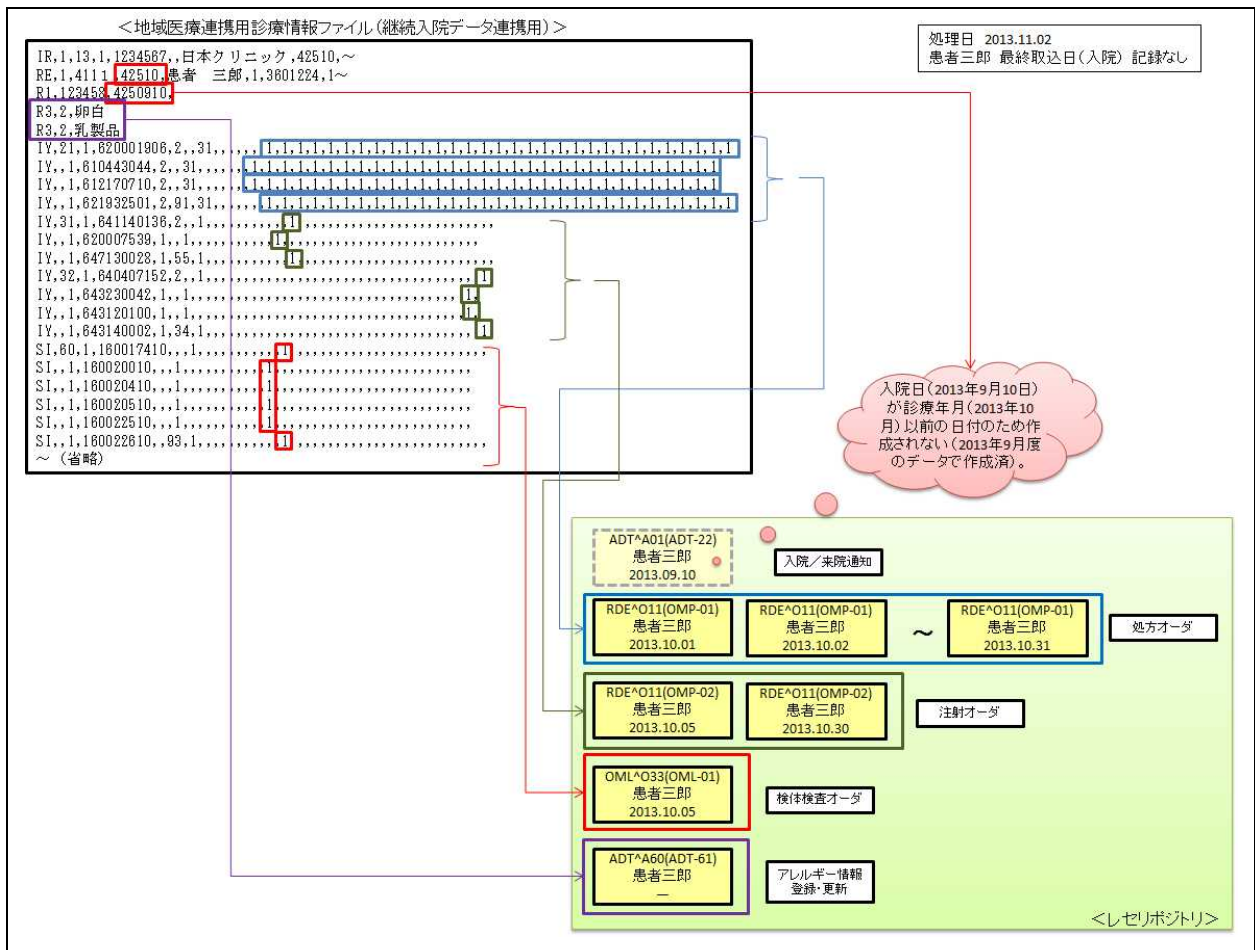


図 3-7 継続入院データ連携用ファイルのレセリポジトリ変換処理例 1

継続入院の患者の退院時の情報は、入退院データ連携用ファイルとして出力される。図 3-7 の患者の翌月度の例を図 3-8 に示す。退院日(2013年11月20日)が、診療年月(2013年11月度)に含まれるため、ADT^A03(退院/来院終了)メッセージが作成される。

3.1.1.2. SS-MIX ヘッダー

レセリポジトリメッセージを SS-MIX2 に準じた通信手順で送信する場合、各メッセージには、SS-MIX2 の仕様に準じ、SS-MIX ヘッダーを付与する。SS-MIX ヘッダーは、表 3-4 に示す項目を「, (カンマ)」区切りで構成したメッセージとし、SS-MIX ヘッダー終了識別は、「0x1E0D」とする。レセリポジトリに格納されるファイルは、HL7 メッセージの部分のみであることを留意すること。

表 3-4 SS-MIX ヘッダー項目

No	項目	設定値	備考
1	SS-MIX 識別	固定値「#RECEIPT」を設定する。	
2	バージョン	レセリポジトリのバージョンを表す。 本仕様においては固定値「1.00」を設定する。	
3	医療施設 ID	医療施設を一意に識別する ID 医療機関情報レコード(IR)の、都道府県+点数表+医療機関コードを設定する。	IR：都道府県 IR：点数表(1) IR：医療機関コード
4	患者 ID	連携用レセプト共通レコード 1 (R1)が存在する場合、R1 レコードの連携用患者 ID を設定する。R1 レコードが存在しない場合、レセプト共通レコード(RE)の「カルテ番号等」を設定する。	R1：連携用患者 ID RE：カルテ番号等
5	診療日	西暦 8 桁の数値 (YYYYMMDD) で表される診療日。 アレルギー情報の登録/更新 (ADT^A60)、病名情報の登録/更新 (PPR^ZD1) では設定しない。それ以外のメッセージについては、レセプト共通レコード(RE)の診療年月と、対応する診療行為レコード (SI)、または、医薬品レコード(IY)、連携用コメントレコード(CI)の算定日から設定する。	RE：診療年月 SI：算定日情報 IY：算定日情報 CI：算定日情報
6	データ種別	表 3-5 から、レセリポジトリメッセージに対応するデータ種別を設定する。	
7	オーダ No	オーダ番号に相当する任意のユニークな番号を、15 桁、前ゼロ形式で付番する。	
8	処理区分	新規データを表す「INS」を設定する。	
9	診療科コード	固定値「000」を記録する。	
10	トランザクション日時	日時 (YYYYMMDDHHMMSSFFF) で表現されるメッセージの発生日時。 本メッセージを作成した日時をミリ秒まで記録する。	

表 3-5 データ種別

No	データ種別	名称	HL7 メッセージ型
1	ADT-12	外来診察の受付	ADT^A04^ADT_A01
2	ADT-22	入院実施	ADT^A01^ADT_A01
3	ADT-52	退院実施	ADT^A03^ADT_A03
4	ADT-61	アレルギー情報の登録/更新	ADT^A60^ADT_A60
5	PPR-01	病名 (歴) 情報の登録/更新	PPR^ZD1^PPR_ZD1
6	OMP-01	処方オーダ	RDE^011^RDE_011
7	OMP-02	注射オーダ	RDE^011^RDE_011
8	OML-01	検体検査オーダ	OML^033^OML_033

3.1.1.3. 外来診察の受付メッセージ（ADT^A04）の定義

外来の受付情報を記録する。外来データ連携用ファイルの記録対象レコードの1算定日毎に最大1ファイルを作成する。

3.1.1.3.1. 外来診察の受付メッセージ（ADT^A04）のセグメント構成

表 3-6 に、外来診察の受付メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎:必須/○:任意/ー:使用不可]

表 3-6 外来診察の受付メッセージ（ADT^A04）のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	ー	ー
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	◎
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	◎
[PD1]	患者追加基本情報		ー	ー
[[ROL]]	役割		ー	ー
[{ NK1 }]	近親者情報		○	ー
PV1	来院情報	当セグメントは、病院内での患者の状態（入外・所在場所・担当医など）を提供する。	◎	◎
[PV2]	来院補足情報		ー	ー
[{ ROL }]	役割		ー	ー
[{ DB1 }]	身体障害		ー	ー
[{ OBX }]	検査結果		ー	ー
[{ AL1 }]	アレルギー情報		ー	ー
[{ DG1 }]	診断		ー	ー
[DRG]	診断群分類		ー	ー
[{			ー	ー
PR1	処置		ー	ー
[{ ROL }]	役割		ー	ー
}]			ー	ー
[{ GT1 }]	保証人		ー	ー
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	○	ー
[IN2]	保険追加情報		ー	ー
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		ー	ー
[{ ROL }]	役割		ー	ー
}]				
[ACC]	事故		ー	ー
[UB1]	普遍的請求書情報		ー	ー
[UB2]	普遍的請求書92の情報		ー	ー
[PDA]	患者の死亡・剖検		ー	ー

3.1.1.3.2. メッセージヘッダセグメント (MSH) の定義

表 3-7 に、メッセージヘッダセグメントの定義を示す。本書で示す全てのメッセージで使用する。

表 3-7 メッセージヘッダセグメント (MSH) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
MSH-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「MSH」 を設定する。
MSH-1	フィールド区切文字	1	ST	R			R	R	セグメント ID と最初の実フィールド間の区切り文字。残りのメッセージで区切り文字として使う文字を定義。
MSH-2	コード化文字	4	ST	R			R	R	標準のセパレータである「^â」を設定する。
MSH-3	送信アプリケーション	227	HD	0		0361	0	0	送信アプリケーションを識別するために用いる送信アプリケーション名。 <検査結果> 使用しない
MSH-4	送信施設	227	HD	0		0362	0	0	送信元施設を区別する為の送信側の施設コードや略称。 <検査結果> 使用しない
MSH-5	受信アプリケーション	227	HD	0		0361	0	0	HIS 情報ゲートウェイアプリケーションを示す「GW」を設定する。 <検査結果> 使用しない
MSH-6	受信施設	227	HD	0		0361	0	0	受信先施設を区別する為の受信側の施設コードや略称。 <検査結果> 使用しない
MSH-7	メッセージ日時	26	TS	R			R	R	送信システムがメッセージを作成した日時。最大 10000 分の 1 秒まで指定可能。 「YYYYMMDDHHMMSS.[S[S[S[S]]]]」形式。
MSH-8	セキュリティ	40	ST	0			N	N	使用しない。
MSH-9	メッセージ型	15	MSG	R			R	R	メッセージを識別するために用いるコード。 [レセリポジトリ] 表 3-5 に示す HL7 メッセージ型を設定する。 <医科> ・外来診察の受付 (ADT^A04^ADT_A01) ・入院実施 (ADT^A01^ADT_A01) ・退院実施 (ADT^A03^ADT_A03)

									<ul style="list-style-type: none"> ・処方オーダー (RDE^011^RDE_011) ・注射オーダー (RDE^011^RDE_011) ・検体検査オーダー (OML^033^OML_033) ・病名 (歴) 情報の登録/更新 (PPR^ZD1^PPR_ZD1) ・アレルギー情報の登録/更新 (ADT^A60^ADT_A60) <p><調剤></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調剤情報 (RDS^013^RDS_013) ・病名 (歴) 情報の登録/更新 (PPR^ZD1^PPR_ZD1) ・アレルギー情報の登録/更新 (ADT^A60^ADT_A60) <p><検査結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検体検査結果通知 (OUL^R22^OUL_R22)
MSH-10	メッセージ制御 ID	20	ST	R			R	R	変換プログラムで付与する、メッセージを一意に識別する番号。
MSH-11	処理 ID	3	PT	R			R	R	メッセージを処理するかどうかを判断するために使用する。「P」(プロダクション・本系)を設定する。
MSH-12	バージョン ID	60	VID	R			R	R	受信システムはバージョン ID を識別しメッセージが確実に解釈できるようにする。「2.5」(HL7 V2.5)を設定する。
MSH-13	シーケンス番号	15	NM	0			N	N	使用しない。
MSH-14	継続ポインタ	180	ST	0			N	N	使用しない。
MSH-15	受諾肯定応答型	2	ID	0		0155	N	N	使用しない。
MSH-16	アプリケーション肯定応答型	2	ID	0		0155	N	N	使用しない。
MSH-17	国コード	3	ID	0		0399	N	N	使用しない。
MSH-18	文字セット	16	ID	0	Y	0211	R	R	メッセージ全体に使用する文字コードセット。 「ISO IR87」を設定する。
MSH-19	主要言語	250	CWE	0			N	N	使用しない。
MSH-20	代替文字セット操作法	20	ID	0		0356	0	0	文字セットを切替える為のエスケープシーケンス方式。 「ISO 2022-1994」を設定する。
MSH-21	メッセージプロファイル識別子	427	EI	0	Y		N	N	使用しない。

3.1.1.3.3. 事象型セグメント (EVN)

表 3-8 に、事象型セグメントの定義を示す。

表 3-8 事象型セグメント (EVN) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
EVN-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「EVN」 を設定する。
EVN-1	事象型コード	3	ID	B			N	N	使用しない。
EVN-2	事象記録日時	26	TS	R			R	R	トランザクションが入力されたシステム日時。 [レセリポジトリ] レセプトコンピュータに情報が登録された日は厳密には分からないため、外来受付 (ADT^A04) の場合は SS-MIX ヘッダーに記録される「診療日」、入院実施 (ADT^A01) の場合は「入院年月日」、退院実施 (ADT^A03) の場合は「退院年月日」を、それぞれ設定する。 「YYYYMMDD」形式。 アレルギー情報登録/更新 (ADT^A60) の場合は、記録すべき適切な日付がないために「〃」を設定する。 閲覧側では、入院日、退院日は、来院情報セグメント (PV1) の入院日 (PV1-44)、及び、退院日 (PV1-45) から取得すること。
EVN-3	事象計画日時	26	TS	0			N	C	この事象が計画された日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-4	事象理由コード	3	IS	0		0062	N	0	事象についての理由。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-5	操作者 ID	250	XCN	0	Y	0188	N	0	事象の発生に対して責任のある個人を識別する ID。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-6	事象発生日時	26	TS	0			N	C	事象が実際に発生した日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-7	事象施設	241	HD	0			N	RE	事象が発生した実際の施設。

										[レセリポジトリ] 使用しない。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------------------

3.1.1.3.4. 患者識別情報セグメント (PID)

表 3-9 に、患者識別セグメントの定義を示す。本書で示す全てのメッセージで使用する。

表 3-9 患者識別セグメント (PID) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
PID-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「PID」 を設定する。
PID-1	セット ID-PID	4	SI	0			N	0	セグメントの反復が許されるメッセージ において反復を識別するためのシーケン ス番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PID-2	患者 ID	20	CX	B			N	N	使用しない。
PID-3	患者 ID リスト	250	CX	R	Y		R	R	病院内で患者を一意に識別できる ID。 [レセリポジトリ] 連携用共通情報レコード(R1)が存在する 場合は、R1 レコードの「連携用患者 ID」、 存在しない場合はレセプト共通レコード (RE) の「カルテ番号等」を設定する。 病院内で定義された桁数で前ゼロ形式と する。 <検査結果> CSV インターフェース仕様の患者 ID(カ ルテ番号)を設定する。
PID-4	代替患者 ID	20	CX	B	Y		N	N	使用しない。
PID-5	患者氏名	250	XPN	R	Y		R	R	患者の氏名。 [レセリポジトリ] 1. 漢字氏名 レセプト共通情報レコード(RE)の氏名を 設定する。名前タイプコード(XPN. 7)は、 HL7 表「0200-名前タイプ」に記載されて いる「L: 法的な名前」を使用し、名前表 記コード(XPN. 8)は、HL7 表「0465-名前/ アドレス表記」に記載されている「I: 漢 字表記」を使用する。 漢字氏名に含まれる最初の半角スペース で文字列を区切り、姓(XPN. 1)、名(XPN. 2) にそれぞれ設定する。

									<p>半角カナが含まれている場合には、全角カナに変換する。</p> <p>2. カナ氏名 レセプト共通レコード2 (R2) のカナ氏名が設定されている場合、フィールドの2つ目の繰り返しとして、カナ氏名を設定する。名前表記コード(XPN. 8)は、HL7表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「P:カナ表記」を使用する。カナ氏名に含まれる最初の半角スペースで文字列を区切り、姓(XPN. 1)、名(XPN. 2)に設定する。</p> <p>ex) 山田太郎~~~~L^I^ヤマダ^タロウ ~~~~LP</p>
PID-6	母親の旧姓	250	XPN	0	Y		N	N	使用しない。
PID-7	生年月日年齢	26	TS	0			R	R	<p>患者の生年月日。 [レセリポジトリ] レセプト共通情報レコード(RE)の「生年月日」を西暦に変換し設定する。 「YYYYMMDD」形式。</p>
PID-8	性別	1	IS	0		0001	R	R	<p>患者の性別。 [レセリポジトリ] レセプト共通情報レコード(RE)の「男女区分」から「1」⇒「M」(男性)、「2」⇒「F」(女性)を設定する。 <検査結果> SV インターフェース仕様の性別「1」を「M」(男性)に設定する。 CSV インターフェース仕様の性別「2」を「F」(女性)に設定する。</p>
PID-9	患者別名	250	XPN	B	Y		N	N	使用しない。
PID-10	人種	250	CWE	0	Y	0005	N	N	使用しない。
PID-11	患者住所	250	XAD	0	Y		0	0	<p>患者の住所。 [レセリポジトリ] 連携用レセプト共通情報レコード2 (R2) の「患者郵便番号」・「住所」を設定する。住所タイプコードは(XAD. 7)は自宅の場合はHL7表「190-住所型」に記載されている[H:自宅]を使用する。[ZIPあるいは郵便番号(XAD. 5)]に郵便番号、「他の地理的な表示(XAD. 8)」に従来記法で表現する。</p> <p>ex) ~~~~370-0595^JPN^H^群馬県邑楽郡大</p>

									泉町日の出8-88-888 <検査結果> 使用しない
PID-12	郡コード	4	IS	B		0289	N	N	使用しない。
PID-13	電話番号—自宅	250	XTN	0	Y		0	0	患者の自宅電話番号。 [レセリポジトリ] 携帯用レセプト共通情報レコード2 (R2)の「患者電話番号」を設定する。遠距離通信用途コード(XTN. 2)は、自宅の場合、HL 7表「0201-電話連絡使用コード」より「PRN:主たる住居の番号」を使用する。遠距離通信装置タイプ(XTN. 3)は、HL 7表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH:電話」を使用する。「888-888-8888」のような非定型文字列の場合、非定型の電話番号(XTN. 12)を使用する。 ex) ^PRN^PH^^^^^^^^888-888-8888 <検査結果> 使用しない
PID-14	電話番号—勤務先	250	XTN	0	Y		N	0	患者の勤務先の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PID-15	使用言語	250	CWE	0		0296	N	N	使用しない。
PID-16	婚姻状況	250	CWE	0		0002	N	N	使用しない。
PID-17	宗教	250	CWE	0		0006	N	N	使用しない。
PID-18	患者会計番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
PID-19	社会保険番号	16	ST	B			N	N	使用しない。
PID-20	運転免許証番号	25	DLN	B			N	N	使用しない。
PID-21	母親の識別情報	250	CX	0	Y		N	N	使用しない。
PID-22	民族	250	CWE	0	Y	0189	N	N	使用しない。
PID-23	出生地	250	ST	0			N	N	使用しない。
PID-24	多胎児識別情報	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
PID-25	誕生順序	2	NM	0			N	N	使用しない。
PID-26	市民権	250	CWE	0	Y	0171	N	N	使用しない。
PID-27	退役軍人状況	250	CWE	0		0172	N	N	使用しない。
PID-28	国籍	250	CWE	B		0212	N	N	使用しない。
PID-29	患者死亡日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
PID-30	患者死亡識別情報	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
PID-31	身元不明識別	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
PID-32	識別情報の信頼性	20	IS	0	Y	0445	N	N	使用しない。
PID-33	最終更新日時	26	TS	0			N	C	[YYYYMMDDHHMMSS]形式。 ADT^A08 メッセージの時は必須。それ以外の場合は設定しない。 [レセリポジトリ] 使用しない。

PID-34	最終更新施設	241	HD	0			N	N	使用しない。
PID-35	種コード	250	CWE	C		0446	N	N	使用しない。
PID-36	品種コード	250	CWE	C		0447	N	N	使用しない。
PID-37	血統情報	80	ST	0			N	N	使用しない。
PID-38	生産分類コード	250	CWE	0	2	0429	N	N	使用しない。
PID-39	所属種族	250	CWE	0	Y	0171	N	N	使用しない。

3.1.1.3.5. 近親者情報セグメント (NK1)

表 3-10 に、近親者情報セグメントの定義を示す。当該患者の連携用データに、連携用レセプト共通レコード2 (R2) が含まれ、かつ、「緊急連絡先の郵便番号」、「緊急連絡先の住所」、「緊急連絡先の電話番号」のいずれかが記録されている場合に、本セグメントを作成する。

表 3-10 近親者情報セグメント (NK1) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
NK1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「 NK1 」を設定する。
NK1-1	セット ID-NK1	4	SI	R			R	R	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。初期値1、増分1。 [レセリポジトリ] 反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。初期値1。増分1。
NK1-2	氏名	250	XPN	0	Y		N	0	近親者または関係者の氏名。 [レセリポジトリ] 使用しない
NK1-3	続柄	250	CWE	0		0063	0	0	患者と近親者／関係者の関係 取り得る値は、HL7 表「0063-続柄」を参照。 [レセリポジトリ] 緊急連絡先とする。 EMC`緊急連絡先`HL70063
NK1-4	住所	250	XAD	0	Y		0	0	近親者／関係者の住所。 [レセリポジトリ] 連携用レセプト共通情報レコード2 (R2) の「緊急連絡先郵便番号」・「緊急連絡先住所」を設定する。住所タイプコード (XAD. 7) は「190-住所型」に記載されている[H: 自宅]を使用する。[ZIP あるいは郵便番号 (XAD. 5)]に郵便番号、「他の地理的な表示 (XAD. 8)」に従来記法で表現する。

									ex) ^^^^360-8601^JPN^H^埼玉県熊谷市 宮町5丁目5番555号
NK1-5	電話番号	250	XTN	0	Y		0	0	近親者／関係者の電話番号 [レセリボジトリ] 携帯用レセプト共通情報レコード2 (R2) の「緊急連絡先電話番号」を設定する。 遠距離通信用途コード(XTN. 2)は、HL 7表 「0201-遠距離通信用途コード」より 「PRN: 自宅番号」を使用する。遠距離通 信装置タイプ(XTN. 3)は、HL 7表[0202- 遠距離通信機器タイプ]より「PH: 電話」 を使用する。「666-666-6666」のような非 定型文字列の場合、非定型の電話番号 (XTN. 12)を使用する。 ex) ^PRN^PH^^^^^^^^666-666-6666
NK1-6	勤務先電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	近親者／関係者の職場の電話番号。 [レセリボジトリ] 使用しない。
NK1-7	役割	250	CWE	0		0131	N	N	使用しない。
NK1-8	役割の開始日	8	DT	0			N	N	使用しない。
NK1-9	役割の終了日	8	DT	0			N	N	使用しない。
NK1-10	肩書	60	ST	0			N	N	使用しない。
NK1-11	職種・職位	20	JCC	0		0327/ 0328	N	N	使用しない。
NK1-12	従業員番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
NK1-13	所属組織名	250	XON	0	Y		N	0	近親者／関係者が勤務する組織の名称。 [レセリボジトリ] 使用しない。
NK1-14	結婚状態	250	CWE	0		0002	N	N	使用しない。
NK1-15	性別	1	IS	0		0001	N	N	使用しない。
NK1-16	生年月日	26	TS	0			N	N	使用しない。
NK1-17	生活依存	2	IS	0	Y	0223	N	N	使用しない。
NK1-18	介護区分	2	IS	0	Y	0009	N	N	使用しない。
NK1-19	市民権情報	250	CWE	0	Y	0171	N	N	使用しない。
NK1-20	使用言語	250	CWE	0		0296	N	N	使用しない。
NK1-21	生活様式	2	IS	0		0220	N	N	使用しない。
NK1-22	周知標識	250	CWE	0		0215	N	N	使用しない。
NK1-23	保護標識	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
NK1-24	学生標識	2	IS	0		0231	N	N	使用しない。
NK1-25	宗教	250	CWE	0		0006	N	N	使用しない。
NK1-26	母親の旧姓	250	XPN	0	Y		N	N	使用しない。
NK1-27	国籍	250	CWE	0		0212	N	N	使用しない。
NK1-28	民族	250	CWE	0	Y	0189	N	N	使用しない。

NK1-29	連絡理由	250	CWE	0	Y	0222	N	N	使用しない。
NK1-30	連絡先の名前	250	XPN	0	Y		N	N	使用しない。
NK1-31	連絡先の電話番号	250	XTN	0	Y		N	N	使用しない。
NK1-32	連絡先の住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
NK1-33	近親者識別情報	250	CX	0	Y		N	N	使用しない。
NK1-34	職業状態	2	IS	0		0311	N	N	使用しない。
NK1-35	人種	250	CWE	0	Y	0005	N	N	使用しない。
NK1-36	障害情報	2	IS	0		0295	N	N	使用しない。
NK1-37	連絡先の社会保険番号	16	ST	0			N	N	使用しない。
NK1-38	近親者生誕地	250	ST	0			N	N	使用しない。
NK1-39	VIP 標識	2	IS	0		0099	N	N	使用しない。

3.1.1.3.6. 来院情報セグメント (PV1)

表 3-11 に、来院情報セグメントの定義を示す。

表 3-11 来院情報セグメント (PV1) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
PV1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「PV1」を設定する。
PV1-1	セット ID-PV1	4	SI	0			N	0	トランザクションを一意的に識別する番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PV1-2	患者区分	1	IS	R		0004	R	R	患者の分類を示す。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)のレセプト種別に設定された「レセプト種別コード(医科)」の4桁目が奇数の場合「I(入院患者)」、偶数の場合「0(外来患者)」を設定する。 <検査結果> CSV インターフェース仕様の入外区分「1」を「I:入院患者」に設定する。 CSV インターフェース仕様の入外区分「2」を「0:外来患者」に設定する。
PV1-3	患者所在場所	80	PL	0			N	0	患者の所在場所を示す。入院の場合、病棟、病室、ベッドの情報、外来の場合、診療科コードの情報を設定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。

PV1-4	入院区分	2	IS	0		0007	N	N	使用しない。
PV1-5	事前入院番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
PV1-6	患者の以前の所在	80	PL	0			N	0	患者の以前の所在場所を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PV1-7	主治医	250	XCN	0	Y	0010	N	0	患者を診療する主治医の情報を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PV1-8	紹介医	250	XCN	0	Y	0010	N	N	使用しない。
PV1-9	コンサルタント医師	250	XCN	B	Y	0010	N	N	使用しない。
PV1-10	診療部門	3	IS	0		0069	N	C	患者を担当する診療科を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PV1-11	一時的な所在場所	80	PL	0			N	N	使用しない。
PV1-12	入院前検査標識	2	IS	0		0087	N	N	使用しない。
PV1-13	再入院標識	2	IS	0		0092	N	N	使用しない。
PV1-14	紹介元	6	IS	0		0023	N	N	使用しない。
PV1-15	外来状況	2	IS	0	Y	0009	N	N	使用しない。
PV1-16	VIP 標識	2	IS	0		0099	N	N	使用しない。
PV1-17	入院時医師	250	XCN	0	Y	0010	N	0	入院を指示した医師の情報を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PV1-18	患者種別	2	IS	0		0018	N	N	使用しない。
PV1-19	来院番号	250	CX	0			N	N	使用しない。
PV1-20	保険種別	50	FC	0	Y	0064	N	N	使用しない。
PV1-21	費用識別標識	2	IS	0		0032	N	N	使用しない。
PV1-22	優待コード	2	IS	0		0045	N	N	使用しない。
PV1-23	信用等級	2	IS	0		0046	N	N	使用しない。
PV1-24	契約コード	2	IS	0	Y	0044	N	N	使用しない。
PV1-25	契約発効日	8	DT	0	Y		N	N	使用しない。
PV1-26	契約金額	12	NM	0	Y		N	N	使用しない。
PV1-27	契約期間	3	NM	0	Y		N	N	使用しない。
PV1-28	利息コード	2	IS	0		0073	N	N	使用しない。
PV1-29	不良負債転換コード	4	IS	0		0110	N	N	使用しない。
PV1-30	不良負債転換日	8	DT	0			N	N	使用しない。
PV1-31	不良負債代理店コード	10	IS	0		0021	N	N	使用しない。
PV1-32	不良負債転換額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-33	不良負債回収額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-34	会計情報削除標識	1	IS	0		0111	N	N	使用しない。
PV1-35	会計情報削除日	8	DT	0			N	N	使用しない。
PV1-36	退院区分	3	IS	0		0112	N	0	退院時の患者の状態（退院・紹介・死亡等）を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PV1-37	退院先	47	DLD	0		0113	N	N	使用しない。

PV1-38	食事種別	250	CWE	0		0114	N	N	使用しない。
PV1-39	担当施設	2	IS	0		0115	N	N	使用しない。
PV1-40	ベッド状態	1	IS	B		0116	N	N	使用しない。
PV1-41	会計状態	2	IS	0		0117	N	N	使用しない。
PV1-42	保留所在場所	80	PL	0			N	N	使用しない。
PV1-43	事前の一時的所在	80	PL	0			N	N	使用しない。
PV1-44	入院日時	26	TS	0			0	0	患者の入院日時を示す。ADT^A04 のときは来院日時となる。 「YYYYMMDD」形式。 [レセリポジットリ] 外来受付 (ADT^A04) では、対象となる診療行為 (検査、処方、注射) の算定日を、レセプト共通レコード(RE)の診療年月と合わせて、受診日として設定する。 入院実施 (ADT^A01)、退院実施 (ADT^A03) では、連携用レセプト共通レコード(R1)の入院日を西暦に変換し設定する。 <検査結果> 使用しない
PV1-45	退院日時	26	TS	0	Y		C	0	患者の退院日時を示す。 [レセリポジットリ] 連携用レセプト共通レコード(R1)の退院日を西暦に変換し設定する。 [条件] 退院実施 (ADT^A03) の場合に設定。
PV1-46	未納額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-47	総費用	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-48	総調整額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-49	合計支払額	12	NM	0			N	N	使用しない。
PV1-50	代替来院 ID	250	CX	0		0203	N	N	使用しない。
PV1-51	来院標識	1	IS	0		0326	N	N	使用しない。
PV1-52	他のヘルスケア供給者	250	XCN	B	Y	0010	N	N	使用しない。

3.1.1.3.7. 保険セグメント (IN1)

表 3-12 に保険セグメントの定義を示す。当該患者の連携用データに、保険者レコード (HO)、または公費レコード (KO) が含まれる場合に、本セグメントを作成する。

表 3-12 保険セグメント (IN1) の定義

フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明

IN1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「IN1」 を設定する。
IN1-1	セット ID-IN1	4	SI	R			R	R	セグメント内で通し番号 [レセリボジトリ] セグメント内で通し番号
IN1-2	保険プラン ID	250	CWE	R		0072	R	R	保険種別として利用する。取り得る値は 「JHSD 表 0001-保険種別」を参照し、コー ーディングシステムには「JHSD0001」を 格納する。 [レセリボジトリ] 保険者番号、公費受給者番号から法別番 号を設定する必要があるが、レセリボジ トリ側で法別番号のマスタを持たなければ 適切な設定が困難であるため、NULL 値 を表す「”」を固定で設定する。
IN1-3	保険会社 ID	250	CX	R	Y		0	0	[レセリボジトリ] 保険者レコード(HO)の「保険者番号」を 設定する。 公費の場合は、公費レコード(KO)の「負 担者番号」を設定する。 ex)06271999 15138092
IN1-4	保険会社名	250	XON	0	Y		N	C	保険者の名称として利用する。 [レセリボジトリ] 使用しない。
IN1-5	保険会社住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-6	保険会社連絡者	250	XPN	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-7	保険会社電話番号	250	XTN	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-8	グループ番号	12	ST	0			N	N	使用しない。
IN1-9	グループ名	250	XON	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-10	被保険者グループ雇用者 ID	250	CX	0	Y		0	C	被保険者番号。 [レセリボジトリ] 保険者レコード(HO)の「被保険者証(手 帳)等の番号」を設定する。 公費の場合は、公費レコード(KO)の「受 給者番号」を設定する。
IN1-11	被保険者グループ雇用者名	250	XON	0	Y		0	C	被保険者記号。 [レセリボジトリ] 保険者レコード(HO)の「被保険者証(手 帳)等の記号」を設定する。 公費の場合は、設定しない。
IN1-12	プラン有効日付	8	DT	0			N	0	「保険交付年月日」をセットする。 [レセリボジトリ] 使用しない。
IN1-13	プラン失効日付	8	DT	0			N	0	「保険終了年月日」をセットする。 [レセリボジトリ]

									使用しない。
IN1-14	認定情報	239	AUI	0			N	N	使用しない。
IN1-15	プランタイプ	3	IS	0		0086	N	C	様々な保険のプランタイプを特定するコードとして利用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IN1-16	被保険者名	250	XPN	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-17	被保険者と患者の関係	250	CWE	0	Y	0063	N	0	患者と被保険者(保健の適用を受ける人)との関係。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IN1-18	被保険者生年月日	26	TS	0			N	N	使用しない。
IN1-19	被保険者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-20	給付金の配分	2	IS	0		0135	N	N	使用しない。
IN1-21	給付金の調整	2	IS	0		0173	N	N	使用しない。
IN1-22	給付金優先順位の調整	2	ST	0			N	N	使用しない。
IN1-23	入院通知フラグ	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
IN1-24	入院通知日付	8	DT	0			N	N	使用しない。
IN1-25	有資格報告フラグ	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
IN1-26	有資格報告日付	8	DT	0			N	N	使用しない。
IN1-27	情報公開コード	2	IS	0		0093	N	N	使用しない。
IN1-28	入院前認定書 (PAC)	15	ST	0			N	N	使用しない。
IN1-29	確認日付/時刻	26	TS	0			N	N	使用しない。
IN1-30	確認者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-31	同意種別コード	2	IS	0		0098	N	N	使用しない。
IN1-32	請求状況	2	IS	0		0022	N	N	使用しない。
IN1-33	生涯予備日数	4	NM	0			N	N	使用しない。
IN1-34	生涯予備日数までの遅延	4	NM	0			N	N	使用しない。
IN1-35	会社プランコード	8	IS	0		0042	N	N	使用しない。
IN1-36	ポリシー番号	15	ST	0			N	N	使用しない。
IN1-37	免責ポリシー	12	CP	0			N	N	使用しない。
IN1-38	ポリシー総額	12	CP	B			N	N	使用しない。
IN1-39	ポリシー限度日数	4	NM	0			N	N	使用しない。
IN1-40	室料一準個室	12	CP	B			N	N	使用しない。
IN1-41	室料一個室	12	CP	B			N	N	使用しない。
IN1-42	被保険者雇用状態	250	CWE	0		0066	N	N	使用しない。
IN1-43	被保険者性別	1	IS	0		0001	N	N	使用しない。
IN1-44	被保険者雇用者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-45	確認状態	2	ST	0			N	N	使用しない。
IN1-46	以前の保険プラン ID	8	IS	0		0072	N	N	使用しない。
IN1-47	保険範囲タイプ	3	IS	0		0309	N	N	使用しない。
IN1-48	ハンディキャップ	2	IS	0		0295	N	N	使用しない。
IN1-49	被保険者 ID 番号	250	CX	0	Y		N	N	使用しない。
IN1-50	署名コード	1	IS	0		0535	N	N	使用しない。
IN1-51	署名日	8	DT	0			N	N	使用しない。

IN1-52	被保険者出生地	250	ST	0			N	N	使用しない。
IN1-53	VIP 種別	2	IS	0		0099	N	N	使用しない。

3.1.1.4. 入院実施メッセージ (ADT^A01) の定義

入院の実施情報を記録する。入退院データ連携用ファイル、及び、継続入院データ連携用ファイルの記録対象レコードの1入院日毎に最大1ファイルを作成する。

3.1.1.4.1. 入院実施メッセージ (ADT^A01) のセグメント構成

表 3-13 に、入院実施メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-13 入院実施メッセージ (ADT^A01) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	－	－
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	◎
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	◎
[PD1]	患者追加基本情報		－	－
[[ROL]]	役割		－	－
[{ NK1 }]	近親者情報		○	－
PV1	来院情報	当セグメントは、病院内での患者の状態 (入外・所在場所・担当医など) を提供する。	◎	◎
[PV2]	来院補足情報	PV1 (来院補足情報) の補足情報を提供する。	－	－
[{ ROL }]	役割		－	－
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	－	－
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	－	－
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌 (アレルギー) 情報を提供する。	－	－
[{DG1 }]	診断		－	－
[DRG]	診断群分類		－	－
[{				
PR1	処置		－	－
[{ ROL }]	役割		－	－
}]				
[{ GT1 }]	保証人		－	－
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	○	－
[IN2]	保険追加情報		－	－
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		－	－
[{ ROL }]	役割		－	－
}]				
[ACC]	事故		－	－
[UB1]	普遍的請求書情報		－	－
[UB2]	普遍的請求書92の情報		－	－
[PDA]	患者の死亡・剖検		－	－

3.1.1.4.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.4.3. 事象型セグメント (EVN)

変換仕様は、「3.1.1.3.3 事象型セグメント (EVN)」を参照。

3.1.1.4.4. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.4.5. 近親者情報セグメント (NK1)

変換仕様は、「3.1.1.3.6 来院情報セグメント (PV1)」を参照。

3.1.1.4.6. 来院情報セグメント (PV1)

変換仕様は、「3.1.1.3.6 来院情報セグメント (PV1)」を参照。

3.1.1.4.7. 保険セグメント (IN1)

変換仕様は、「3.1.1.3.7 保険セグメント (IN1)」を参照。

3.1.1.5. 退院実施メッセージ (ADT^A03) の定義

退院の実施情報を記録する。入退院データ連携用ファイル、及び、継続入院データ連携用ファイルの記録対象レコードの1退院日毎に最大1ファイルを作成する。

3.1.1.5.1. 退院実施メッセージ (ADT^A03) のセグメント構成

表 3-14 に、退院実施メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-14 退院実施メッセージ (ADT^A03) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	－	－
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイメント情報を通知する。	◎	◎
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	◎
[PD1]	患者追加基本情報		－	－
[[ROL]]	役割		－	－
[[NK1]]	近親者情報		－	－
PV1	来院情報	当セグメントは、病院内での患者の状態 (入外・所在場所・担当医など) を提供する。	◎	◎
[PV2]	来院補足情報	PV1 (来院情報) の補足情報を提供する。	－	－
[[ROL]]	役割		－	－
[[DB1]]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	－	－
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌 (アレルギー) 情報を提供する。	－	－
[[DG1]]	診断		－	－
[DRG]	診断群分類		－	－
[[
PR1	処置		－	－
[[ROL]]	役割		－	－
]]				
[[OBX]]	検査結果	検査結果を提供する。	－	－
[[GT1]]	保証人		－	－
[[
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	－	－
[IN2]	保険追加情報		－	－
[[IN3]]	保険追加情報証明書		－	－
[[ROL]]	役割		－	－
]]				
[ACC]	事故		－	－
[PDA]	患者の死亡・剖検		－	－

3.1.1.5.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.5.3. 事象型セグメント (EVN)

変換仕様は、「3.1.1.3.3 事象型セグメント (EVN)」を参照。

3.1.1.5.4. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.5.5. 近親者情報セグメント (NK1)

変換仕様は、「3.1.1.3.6 来院情報セグメント (PV1)」を参照。

3.1.1.5.6. 来院情報セグメント (PV1)

変換仕様は、「3.1.1.3.6 来院情報セグメント (PV1)」を参照。

3.1.1.5.7. 保険セグメント (IN1)

変換仕様は、「3.1.1.3.7 保険セグメント (IN1)」を参照。

3.1.1.6. 検体検査オーダーメッセージ (OML^O33) の定義

診療識別コードに「60」を持つ、同一算定日の N 個の診療行為レコードから、1 つの検体検査オーダーメッセージを作成する。本来 OML^O33 メッセージは、検体単位に SPM セグメントを分け、ORC セグメント、OBR セグメント、OBX セグメントを記録する必要があるが、電子レセプトデータでは検体情報を得ることが難しいことから、同一算定日の検査に関わる全ての診療行為レコードの情報から、診療識別コードから一連の行為とみなされる単位を、1 つの SPM セグメント、1 つの OBR セグメント、及び、N 個の OBX セグメントとして構成する。

検査オーダーコード「819990004」を持つコメントレコード (CO) が存在する場合、他の SPM セグメントとは独立した単一の SPM セグメントに記録する。この場合、検査の事実のみを記録し具体的な検査項目を記録しないため、SPM セグメント、ORC セグメントまでを記録し、OBR セグメント、OBX セグメントは記録しない。

診療識別コード「60」の電子レセプトデータには、検体検査以外の検査が含まれるが、全て検体検査オーダーメッセージとして作成することに留意する。

3.1.1.6.1. 検体検査オーダーメッセージ (OML^O33) のセグメント構成

表 3-15 に、検体検査オーダーメッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-15 検体検査オーダーメッセージ (OML^O33) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[— PATIENT begin			
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	○
[PD1]	患者追加基本情報		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[{ NK1 }]	近親者情報		－	－
[
PV1	来院情報		－	○
[PV2]	来院補足情報		－	－
]				
[{				
IN1	保険		－	－
[IN2]	保険追加情報		－	－
[IN3]	保険追加情報証明書		－	－
}}				
[GT1]	保証人		－	－
[{ AL1 }]	アレルギー情報		－	○
]	— PATIENT end			
{	— SPECIMEN begin			
SPM	検体		◎	◎

[{ OBX }]	検査結果		—	—
[{ SAC }]	材料と採取容器の詳細		—	—
{	— ORDER begin			
ORC	共通オーダ		◎	◎
[{				
TQ1	タイミング/数量		—	—
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		—	—
}]				
[— OBSERVATION_REQUEST begin			
OBR	検査要求		○	○
[TCD]	検査コード詳細		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[{ DG1 }]	診断		—	—
[{				
OBX	検査結果	オーダ指示	○	○
[TCD]	検査コード詳細		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
[{	— PRIOR_RESULT begin			
[
PID	患者識別		—	—
[PD1]	患者追加基本情報		—	—
]				
[
PV1	来院情報		—	—
[PV2]	来院補足情報		—	—
]				
[{ AL1 }]	アレルギー情報		—	—
{	— ORDER_PRIOR begin			
[ORC]	共通オーダ		—	—
OBR	検査要求		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[{				
TQ1	タイミング/数量		—	—
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		—	—
}]				
{				
OBX	検査依頼項目		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}				
}	— ORDER_PRIOR end			
}]	— PRIOR_RESULT end			
]	— OBSERVATION_REQUEST end			
[{ FT1 }]	会計処理		—	—
[{ CT1 }]	治験識別		—	—

[BLG]	請求		—	—
}	— ORDER end			
}	— SPECIMEN end			

3.1.1.6.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.6.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.6.4. 検体セグメント (SPM)

表 3-16 に、検体セグメントの定義を示す。

表 3-16 検体セグメント (SPM) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
SPM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「SPM」 を設定する。
SPM-1	セット ID - SPM	4	SI	0			N	RE	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
SPM-2	検体 ID	80	EIP	0			N	RE	依頼者アプリケーション、実施者アプリケーション、またはその両方で検体を識別するためのユニークな ID。 [レセリポジトリ] 使用しない。
SPM-3	親検体 ID	80	EIP	0	Y		N	N	使用しない。
SPM-4	検体タイプ	250	CWE	R		0487	R	R	検査の材料の採取された実体の正確な性質について記述する。 [レセリポジトリ] 適切な設定値がないため NULL 値を表す「 ” 」を記録する。
SPM-5	検体タイプ修飾子	250	CWE	0	Y	0541	N	N	使用しない。
SPM-6	検体添加物	250	CWE	0	Y	0371	N	N	使用しない。
SPM-7	検体採取法	250	CWE	0		0488	N	N	使用しない。
SPM-8	検査材料・検査部位	250	CWE	0			N	RE	検体が得られた出所を指定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
SPM-9	検査材料修飾子	250	CWE	0	Y	0542	N	N	使用しない。

SPM-10	検体採取部位	250	CWE	0		0543	N	N	使用しない。
SPM-11	検体役割	250	CWE	0	Y	0369	N	N	使用しない。
SPM-12	検体採取量	20	CQ	0			N	N	使用しない。
SPM-13	検体総数	6	NM	C			N	N	使用しない。
SPM-14	検体記述	250	ST	0	Y		N	N	使用しない。
SPM-15	検体取り扱いコード	250	CWE	0	Y	0376	N	N	使用しない。
SPM-16	検体リスクコード	250	CWE	0	Y	0489	N	N	使用しない。
SPM-17	検体採取日時	26	DR	0			N	RE	検体を採取部位から採取した日時を記載する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
SPM-18	検体受領日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
SPM-19	検体有効日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
SPM-20	検体有効性	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
SPM-21	検体拒否理由	250	CWE	0	Y	0490	N	N	使用しない。
SPM-22	検体品質	250	CWE	0		0491	N	N	使用しない。
SPM-23	検体適合性	250	CWE	0		0492	N	N	使用しない。
SPM-24	検体条件	250	CWE	0	Y	0493	N	N	使用しない。
SPM-25	検体量	20	CQ	0			N	N	使用しない。
SPM-26	検体容器数	4	NM	0			N	N	使用しない。
SPM-27	容器タイプ	250	CWE	0			N	N	使用しない。
SPM-28	容器状態	250	CWE	0		0544	N	N	使用しない。
SPM-29	子検体役割	250	CWE	0		0494	N	N	使用しない。

3.1.1.6.5. 共通オーダセグメント (ORC)

表 3-17 に、共通オーダセグメントの定義を示す。

表 3-17 共通オーダセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 [レセリポジトリ] 新規・修正メッセージとして「NW」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダ番号。 [レセリポジトリ] レセリポジトリでユニークな番号を発番し設定する。15桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダ番号	22	EI	0			N	0	検査オーダの実施アプリケーションのオ

									ーダ番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			N	0	依頼者アプリケーションが、複数のオーダをグループ化し、後でそれらを識別できるようにするための識別番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-5	オーダ状態	2	ID	0		0038	N	RE	オーダの状態を報告。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	現在のオーダが発生した日時。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [レセリポジトリ] 診療識別が「60」である診療行為レコード(SI)の算定日と、レセプト共通レコード(RE)の診療年月を元に設定する。 SS-MIX2 の仕様と合わせるために時分秒には0を設定し、14桁で設定する。 コメントレコード (CO) の「コメントコード」が検査オーダコード「8199990004」をとる場合には、当該コメントレコード (CO) の「文字コード」に設定された算定日とレセプト共通レコード (RE) の診療年月を元に設定する。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	作成した要求に対して責任のある医師。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	入力をした物理的な場所・端末の設置場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダ有効日時	26	TS	0			0	0	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。 [レセリポジトリ] ORC-9 トランザクション日時と同一の値を設定する。レセリポジトリの診療日フォルダに設定する日付と同一となる。
ORC-16	オーダ制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	オーダ制御コードで指定したオーダイベントの理由。キャンセル理由をセットす

										る。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			N	0		入力者がオーダを入力したときに属していた組織を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0		オーダを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-19	(オーダ制御) 実施者	250	XCN	0	Y		N	N		使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N		使用しない。
ORC-21	オーダ施設名	250	XON	0	Y		N	0		オーダを発行した病院名を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-22	オーダ施設住所	250	XAD	0	Y		N	0		オーダを発行した病院の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-23	オーダ施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0		オーダを発行した病院の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-24	オーダ依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N		使用しない。
ORC-25	オーダ状態修飾子	250	CWE	0			N	N		使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N		使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N		使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N		使用しない。
ORC-29	オーダタイプ	250	CWE	0		0482	0	RE		オーダが入院患者オーダか外来患者オーダかを示す。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)のレセプト種別に設定された「レセプト種別コード(医科)」の4桁目が奇数の場合「 I(入院患者) 」、偶数の場合「 0(外来患者) 」を設定する。 ex) I^入院患者オーダ^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N		使用しない。

3.1.1.6.6. 検査要求セグメント (OBR)

表 3-18 に、検査要求セグメントの定義を示す。

表 3-18 検査要求セグメント (OBR) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「OBR」 を設定する。
OBR-1	セット ID-OBR	4	SI	0			N	C	複数検体時の上位 ORC に対する通番。初期値 1。増分 1。 [レセリポジトリ] 使用しない。(1 メッセージにつき 10BR のため)
OBR-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	ORC-2 依頼者オーダ番号に同じ。依頼側検体番号など。 [レセリポジトリ] ORC-2 と同一の値を設定する。
OBR-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			N	0	ORC-3 実施者オーダ番号に同じ。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	要求された検査/試験/セットの識別子コード。 [レセリポジトリ] コーディングシステム名 (CWE.3) には、JAHIS 基本データセット適用ガイドライン V2.1 IOB 定義表 003-検査項目群から「99003」を指定する。検査全般を表す識別子が存在しないため、テキスト (CWE.2) に「検査」を設定し、識別子 (CWE.1) には値を設定しない。 ex) `検査`99003
OBR-5	優先度	2	ID	X			N	N	使用しない。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			N	N	使用しない。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			N	C	検体を採取した日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	0			N	0	検体の採取が終了した日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBR-9	採取量	20	CQ	0			N	N	使用しない。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。

OBR-11	検体処置コード	1	ID	0		0065	N	N	使用しない。
OBR-12	危険（検体）コード	250	CWE	0			N	0	危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示す、コードかテキスト、あるいはその両方。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	使用しない。
OBR-15	検体材料／採取部位	300	SPS	B		0070	N	N	使用しない。
OBR-16	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBR-17	オーダコールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-22	結果報告／状態変更-日時	26	TS	C			N	0	結果の報告日時、あるいは、状態の変更日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBR-23	課金	40	MOC	0			N	N	使用しない。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	0		0074	N	N	使用しない。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	N	N	使用しない。
OBR-26	親結果	400	PRL	0			N	N	使用しない。
OBR-27	数量／タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-29	親番号	200	EIP	0			N	N	使用しない。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	0		0124	N	N	使用しない。
OBR-31	検査理由	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	0			N	N	使用しない。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	0			N	N	使用しない。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	0			N	N	使用しない。
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	0		0224	N	N	使用しない。
OBR-42	随行者要否	1	ID	0		0225	N	N	使用しない。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-44	処置コード	250	CWE	0		0088	N	N	使用しない。

OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	0	Y	0340	N	N	使用しない。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス 情報	250	CWE	0	Y	0411	N	N	使用しない。
OBR-47	実施者発行の追加サービス 情報	250	CWE	0	Y	0411	N	N	使用しない。
OBR-48	医学的に必要な重複処置の 理由	250	CWE	C		0476	N	N	使用しない。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	0		0507	N	N	使用しない。

3.1.1.6.7. 検査結果セグメント (OBX)

表 3-19 に、検査要求セグメントの定義を示す。

表 3-19 検査結果セグメント (OBX) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「OBX」 を設定する。
OBX-1	セット ID-OBX	4	SI	0			0	0	セグメントの反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。 初期値1、増分1。上位 OBR に対する通番を設定する。
OBX-2	値型	2	ID	C		0125	N	C	検査値(OBX-5)のデータタイプ。 [レセリポジトリ] 依頼メッセージのため使用しない。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	検査項目を表す一意な識別子。 [レセリポジトリ] 識別子(CWE. 1)は、医科診療行為マスターの「診療行為コード」(8桁)を設定する。テキスト(CWE. 2)には、医科診療行為マスターの「診療行為省略漢字名称」を設定する。コーディングシステム名(CWE. 3)には、本書で定めたコーディングシステム「99R01」を設定する。 ex) 160017410^TP^99R01
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			N	C	1つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		N	C	検査結果を示す。

									[レセリポジトリ] 依頼メッセージのため使用しない。
OBX-6	単位	250	CWE	0			N	0	検査結果の単位を示す。 [レセリポジトリ] 依頼メッセージのため使用しない。
OBX-7	基準値範囲	60	ST	0			N	0	検査結果に対する基準値の範囲。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBX-8	異常フラグ	5	IS	0	Y/5	0078	N	0	結果の正常・異常を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBX-9	確率	5	NM	0			N	N	使用しない。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	0	Y	0080	N	N	使用しない。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1つの検査項目についての、現在の結果 完了状態を反映する。 [レセリポジトリ] HL7表「0123-結果状態」から、依頼時「0」 を設定する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	0			N	N	使用しない。
OBX-13	利用者定義アクセス点検	20	ST	0			N	N	使用しない。
OBX-14	検査日時	26	TS	0			N	0	実際に検査された日時を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	0			N	N	使用しない。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-17	検査方法	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-18	装置 ID	22	EI	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-19	分析日時	26	TS	0			N	N	使用しない。

3.1.1.7. 構造化処方オーダーメッセージ (RDE^O11) の定義

診療識別コードが「14：在宅」、「21：投薬、内服」、「22：投薬、屯服」、「23：投薬、外用」である医薬品レコード(IY)に対して、同一算定日のN個のレコードを1メッセージとして作成する。「14：在宅」については、実際の診療行為が注射であったとしても、処方オーダーメッセージとして変換することに留意する。

3.1.1.7.1. RDE^O11 のセグメント構成

表 3-20 に、構造化処方オーダーメッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-20 構造化処方オーダーメッセージ (RDE^O11) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	○
[PD1]	患者追加基本情報		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[
PV1	来院情報		－	○
[PV2]	来院補足情報		－	－
]				
[{ IN1	保険		－	－
[IN2]	保険追加情報		－	－
[IN3]	保険追加情報証明書		－	－
}]				
[GT1]	保証人		－	－
[{ AL1 }]	アレルギー情報		－	○
]				
{	— ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	◎
[{				
TQ1	タイミング/数量		－	－
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダー順序		－	－
}]				
[— ORDER DETAIL begin			
RXO	薬剤/処置 オーダ		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
{ RXR }	投薬経路		－	－
[{				
RXC	薬剤/処置 成分オー		－	－

	ダ			
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
]	— ORDER DETAIL end			
RXE	薬剤/処置 コード化されたオーダ	処方の情報（薬品名・数量など）を提供する。	◎	◎
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
{				
TQ1	タイミング/数量	投薬の期間、回数を示す。日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [レセリポジトリ] ORC、RXE に対して常に1件しか使用しない。	◎	◎
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		—	—
}				
{ RXR }	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	◎
[{ RXC }]	薬剤/処置 成分オーダ		—	—
[{				
OBX	検査結果		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
[{ FT1 }]	会計処理		—	—
[BLG]	請求		—	—
[{ CT1 }]	治験識別		—	—
}	— ORDER end			

3.1.1.7.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.7.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.7.4. 共通オーダセグメント (ORC)

表 3-21 に、共通オーダセグメントの定義を示す。

表 3-21 共通オーダセグメント (ORC) の定義

フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	S	説明
							S	
							M	
							I	
							X	
							2	

ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「ORC」 を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 [レセリポジトリ] 新規・修正メッセージとして「NW」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 [レセリポジトリ] レセリポジトリでユニークな番号を発番し設定する。15桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			N	0	処方オーダーの実施アプリケーションのオーダー番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			R	R	剤 (RP) 番号。 [レセリポジトリ] 1 薬品 1RP とし、メッセージ内で1から連番で記録する。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	0		0038	N	N	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	現在のオーダーが発生した日時。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。処方日時を示す。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)の診療年月と、医薬品レコード(IY)の算定日を元に設定する。SS-MIX2 と合わせるために時分秒には0を設定し、14桁で設定する。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	アプリケーションに実際に入力した人の氏名。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	処方医。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	入力をした物理的な場所・端末の設置場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	0			0	0	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。 [レセリポジトリ] ORC-9 トランザクション日時と同一の値

									を設定する。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	オーダー制御コードで指定したオーダイベントの理由。キャンセル理由をセットする。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			N	0	入力者がオーダーを入力したときに属していた組織を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0	オーダーを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-19	オーダー制御実施者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N	使用しない。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院名を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	0			N	N	使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N	使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N	使用しない。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	0		0482	0	0	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)のレセプト種別に設定された「レセプト種別コード(医科)」の4桁目が奇数の場合「 I(入院患者) 」、偶数の場合「 0(外来患者) 」を設定する。 ex) I^入院患者オーダーHL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N	使用しない。

3.1.1.7.5. 薬剤/処置 コード化されたオーダーセグメント (RXE)

表 3-22 に、薬剤/処置 コード化されたオーダーセグメントの定義を示す。

表 3-22 コード化されたオーダセグメント (RXE) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXE-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXE」 を設定する。
RXE-1	数量/タイミング	200	TQ	B			N	N	使用しない。
RXE-2	与薬コード	250	CWE	R		0292/ 0479	R	R	<p>コード化された薬剤。 [レセリポジトリ]</p> <p>1. 銘柄名処方の場合 レセプト電算コードを使用し、医薬品レコード(IY)の医薬品コードを設定する。コーディングシステム名 (CWE. 3) には「99R02」を格納する。</p> <p>ex1) 620005905^アムロジン錠5mg ^99R02</p> <p>2. 一般名処方 (一般名処方加算対象) の場合 医薬品レコード (IY) の医薬品コードが「69999001」の場合には、一般名処方が実施されたと判断する。このとき、識別子 (CWE. 1) には、医薬品レコード (IY) の「①コメントコード」に設定されている医薬品コード(9桁)の末尾に「ZZZ」を設定し、12桁で設定する。名称 (CWE. 2) には、「①文字データ」から名称を設定する。コーディングシステム名 (CWE. 3) には、一般名処方マスタを表す「99R06」を設定する。</p> <p>ex2) 1124001F1ZZZ ^エスタゾラム錠1mg. ^99R05</p> <p>3. 一般名処方 (一般名処方加算対象外) の場合 一般名処方加算対象でない一般名処方の場合、「①コメントコード」は省略されるため、「①文字データ」からの名称</p>

									<p>(CWE. 2) とコーディングシステム名 (CWE. 3) のみを設定する。</p> <p>4. 処方の事実が記録された場合</p> <p>コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が記録されたコメントレコード (CO) が存在した場合には、処方内容ではなく、処方の事実のみが記録されたと判断し、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、薬剤名が利用可能でないが、処方の事実があったことを示すものとする。</p> <p>ex3) UASK^ Asked but Unknown^HL70353</p>
RXE-3	与薬量一最小	20	NM	R			R	R	<p>一回分の投薬量を設定する。 [レセリポジトリ]</p> <p>1. 処方情報が記録された場合 診療識別が「22 (屯服)」の場合、医薬品レコード(IY)の使用量を設定する。それ以外は適切な設定値がないため「”」を固定で設定する。</p> <p>2. 処方の事実が記録された場合 コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、処方内容ではなく、処方の事実のみが記録されたと判断し、「”」を固定で記録する。</p>
RXE-4	与薬量一最大	20	NM	0			N	0	<p>不均等投薬時、一回分投薬量の最大値を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。</p>
RXE-5	与薬単位	250	CWE	R			R	R	<p>与薬量のための単位。 [レセリポジトリ]</p> <p>1. 処方情報が記録された場合 1.1 診療識別が22 (屯服) の場合 1.1.1 銘柄名処方の場合 レセ電算医薬品マスターから、単位コード及び名称を設定する。コーディングシステム名 (CWE. 3) には本書で定めた「99R03」を格納する。</p> <p>1.1.2. 一般名処方の場合</p>

									<p>医薬品レコード (IY) の医薬品コードが「69990001」の場合、一般名処方を実施されたと判断する。このとき、与薬単位として、「②文字データ」に記録された単位名称を名称 (CWE. 2) に格納し、本書で定めた「99R03」をコーディングシステム名 (CWE. 3) に格納する。識別子 (CWE. 1) には 値を格納しない。</p> <p>1.2 診療識別が22以外の場合 適切な設定値がないため「” ”」を固定で設定する。</p> <p>2. 処方の事実が記録された場合 コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、HL7表0353CWE Statusesより「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、処方の事実があったことを示すものとする。</p>
RXE-6	与薬剤形	250	CWE	0			N	0	<p>投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。</p>
RXE-7	依頼者の投薬指示	250	CWE	0	Y		N	0	<p>患者あるいは投薬または治療の供給者へのオーダー発行者の指示。 [レセリポジトリ] 使用しない。</p>
RXE-8	配布先	200	LA1	B			N	N	使用しない。
RXE-9	代替品状態	1	ID	0		0167	N	N	使用しない。
RXE-10	調剤量	20	NM	C			R	R	<p>投薬量の総量。 [レセリポジトリ]</p> <p>1. 処方情報が記録された場合 医薬品レコード(IY)の使用量×医薬品レコード(IY)の算定日の回数を設定する。</p> <p>2. 処方の事実が記録された場合 コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、処方内容ではなく、処方の事実のみが記録されたと判断し、「” ”」を固定で記録する。</p>

									<p>[条件]</p> <p>診療識別が「21 (内服)」、「22 (屯服)」、「23 (外用)」の場合に設定する。「14 (在宅)」の場合は、電子レセプトデータから適切な値を設定できないため、「”」を固定で記録する。</p>
RXE-11	調剤単位	250	CWE	C			R	R	<p>調剤量のための単位。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p><u>1. 銘柄名処方の場合</u></p> <p>レセ電算医薬品マスターから、単位コード及び名称を設定する。コーディングシステム名 (CWE. 3) には本書で定めた「99R03」を格納する。</p> <p><u>2. 一般名処方の場合</u></p> <p>医薬品レコード (IY) の医薬品コードが「69990001」の場合、与薬単位として、「②文字データ」に記録された単位名称を名称 (CWE. 2) に格納し、本書で定めた「99R03」をコーディングシステム名 (CWE. 3) に格納する。識別子 (CWE. 1) には 値を格納しない。</p> <p><u>3. 処方の事実が記録された場合</u></p> <p>コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、処方の事実があったことを示すものとする。</p> <p>[条件]</p> <p>診療識別が「21 (内服)」、「22 (屯服)」、「23 (外用)」の場合に設定する。「14 (在宅)」の場合は、電子レセプトデータから適切な値を設定できないため、「”」を固定で記録する。</p>
RXE-12	同一薬発行数	3	NM	0			N	N	使用しない。
RXE-13	オーダー発行者の DEA 番号	250	XCN	C	Y		N	0	<p>麻薬施用者の免許番号。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>使用しない。</p>
RXE-14	薬剤師／治療提供者の検証 ID	250	XCN	0	Y		N	0	<p>処方監査を実施した担当者の情報。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>使用しない。</p>

RXE-15	処方箋番号	20	ST	C			N	0	処方指示にて発行された処方箋管理番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-16	薬剤残数	20	NM	C			N	0	同一薬発行数の残数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-17	調剤済薬品数または投与数	20	NM	C			N	0	同一薬発行数の調剤数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	26	TS	C			N	0	補充または調剤した、最近の日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-19	1日あたりの総投与量	10	CQ	C			C	C	1日当たりの投与量合計。 [レセリポジトリ] <u>1. 銘柄名処方の場合</u> 医薬品レコード(IY)の「使用量」を設定する。単位コードは、RXE-11と同様にレセ電算医薬品マスターの単位コードを設定する。 <u>2. 一般名処方の場合</u> 医薬品レコード (IY) の「使用量」を設定する。医薬品コードが「69999001」の場合、一般名処方と判断し、与薬単位として、「②文字データ」に記録された単位名称を名称 (CWE. 2) に格納し、本書で定めた「99R03」をコーディングシステム名 (CWE. 3) に格納する。識別子 (CWE. 1) には 値を格納しない <u>3. 処方の事実が記録された場合</u> コメントコードに処方オーダコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、処方内容ではなく、処方の事実のみが記録されたと判断し、「”」を固定で記録する。 [条件] 診療識別が「21 (内服)」の場合に設定する。「14 (在宅)」、「22 (屯服)」、「23 (外用)」の場合は、電子レセプトデータから適切な値を設定できないため、何も設定しない。
RXE-20	人によるレビューの必要性	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
RXE-21	薬剤部門/治療部門による	250	CWE	0	Y		N	0	薬剤または処置提供者によって生成さ

	特別な調剤指示								れた、調剤/投薬オーダの供給者への特別指示を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-22	時間あたりの与薬	20	ST	C			N	0	製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する。時間単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-23	与薬速度	6	ST	0			N	N	使用しない。
RXE-24	与薬速度単位	250	CWE	0			N	N	使用しない。
RXE-25	与薬力価	20	NM	0			N	0	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-26	与薬力価単位	250	CWE	0			N	0	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-27	与薬指示	250	CWE	0	Y		C	0	薬/治療が処方の対象となった状態や問題を示す。 [レセリポジトリ] <u>1. 処方情報が記録された場合</u> 診療識別が「21 (内服)」、「22 (屯服)」、「23 (外用)」の場合、JAHS 標準処方データ交換規約の「JHSP 表 0003-用法種別」より設定し、コーディングシステム名には「JHSP0003」を格納する。 ex) 21^内服^JHSP0003 <u>2. 処方の事実が記録された場合</u> コメントコードに処方オーダコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、処方の事実があったことを示すものとする [条件] 診療識別が「21 (内服)」、「22 (屯服)」、「23 (外用)」の場合に設定する。「14 (在宅)」の場合は、電子レセプトデータから適切な値を設定できないため、何も設定しない。
RXE-28	調剤パッケージサイズ	20	NM	0			N	0	調剤されるパッケージのサイズを含む。

									[レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-29	調剤パッケージサイズの単位	250	CWE	0			N	0	RXE-28 調剤パッケージサイズが称される単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-30	調剤パッケージ方法	2	ID	0		0321	N	0	調剤/処置を払い出す方法を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-31	補足コード	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
RXE-32	当初のオーダー日/時間	26	TS	0			N	0	補充(refill)認可が要請された時のオリジナルオーダーの日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-33	与薬力価量	5	NM	0			N	0	薬力価濃度。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-34	与薬力価量単位	250	CWE	0			N	0	与薬力価量の単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-35	薬物コントロールスケジュー ール	60	CWE	0		0477	N	0	法律で使用量が規制されている薬物を 特定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-36	処方集ステータス	1	ID	0		0478	N	0	薬剤がその地域の処方規定に準拠して いるかどうかを特定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-37	薬物代替え	60	CWE	0	Y		N	0	処方された薬品の代替えとして処方集 に載っている薬品。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-38	最新の与薬の薬剤部	250	CWE	0			N	0	最も新しく薬剤を処方した薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-39	最初の調剤量	250	NW	0			N	0	最初の処方による調剤の量が補充薬 (Refill)に用いられた処方の量と異なる 時に、最初の調剤量。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-40	調剤薬剤部	250	CWE	0			N	0	処方箋を調剤する薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-41	調剤薬剤部の住所	250	XAD	0			N	0	調剤薬剤部の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。

RXE-42	患者への配達場所	80	PL	0			N	0	薬剤が患者に引き渡される払い出し場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-43	配達先住所	250	XAD	0			N	0	処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-44	薬剤オーダタイプ	1	ID	0		0480	N	0	オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリを定義する。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.1.7.6. タイミング／数量セグメント (TQ1)

表 3-23 に、タイミング／数量セグメントの定義を示す。

表 3-23 タイミング／数量セグメント (TQ1) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「TQ1」 を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	0			N	0	複数の TQ1 セグメントを識別する連番。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-2	数量	20	CQ	0			N	0	サービス内で提供されるべき量。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-3	繰り返しパターン	540	RPT	0	Y	0335	N	0	繰返し行う治療のスケジュール。用法を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	0	Y		N	N	使用しない。
TQ1-5	相対時間／単位	20	CQ	0	Y		N	N	使用しない。
TQ1-6	サービス時間	20	CQ	0			C	0	投薬日数。 [レセリポジトリ] 1. 処方情報が記録された場合 医薬品レコード(IY)の算定日の回数を指定する。 単位には「d (日)」を使用し、コーディングシステム名は「ISO+」とする。

									ex) 7 ^d 日&ISO+ 2. 処方的事実が記録された場合 コメントコードに処方オーダーコード 「819990002」が記録されたコメントコード があった場合には、処方内容ではなく、 処方的事実のみが記録されたと判断し、 「”」を固定で記録する。 [条件] 診療識別が「21 (内服)」の場合に設定す る。それ以外の場合には、電子レセプト データから適切な値を得ることができな いため、何も設定しない。
TQ1-7	開始日時	26	TS	0			N	0	服用開始日。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-8	終了日時	26	TS	0			N	0	サービスが終了される日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-9	優先度	250	CWE	0	Y	0485	N	N	使用しない。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	0			N	N	使用しない。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	0			N	0	指示のフルテキスト版。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	N	C	2番目のTQ1セグメントとの関係性を示 す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	0			N	N	使用しない。
TQ1-14	事象総数	10	NM	0			C	N	サービスの発生の総数。 [レセリポジトリ] 1. 処方情報が記録された場合 JAHIS 標準処方データ交換規約に則り、 医薬品レコード (IY) の回数より、総回 数を設定する。 2. 処方的事実が記録された場合 コメントコードに処方オーダーコード 「819990002」が記録されたコメントコー ドがあった場合には、処方内容ではなく、 処方的事実のみが記録されたと判断し、 「”」を固定で記録する。 [条件]

										診療識別が「22 (屯服)」の場合に設定。それ以外の場合は電子レセプトデータから適切な値を得ることができないため、何も設定しない。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

3.1.1.7.7. 投薬経路セグメント (RXR)

表 3-24 に、投薬経路セグメントの定義を示す。

表 3-24 投薬経路セグメント (RXR) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXR」 を設定する。
RXR-1	経路	250	CWE	R		0162	R	R	投薬の経路を示す。 [レセリポジトリ] 1. 処方情報が記録された場合 電子レセプトデータからは正確な情報を得ることができないため、NULL 値であることを表す「”」を固定で設定する。 2. 処方の事実が記録された場合 コメントコードに処方オーダーコード「819990002」が記録されたコメントコードがあった場合には、処方内容ではなく、処方の事実のみが記録されたと判断し、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、設定値を得ることができないことを表す。
RXR-2	部位	250	CWE	0		0163	N	0	投薬の部位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXR-3	投薬装置	250	CWE	0		0164	N	0	投薬あるいは他の処置を補助するために使用する機械装置。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXR-4	投薬方法	250	CWE	0		0165	N	0	投薬・処置の患者への適用方法を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXR-5	経路指示	250	CWE	0			N	N	使用しない。
RXR-6	投薬現場モディファイア	250	CWE	0		0495	N	N	使用しない。

3.1.1.8. 構造化注射オーダーメッセージ (RDE^O11) の定義

診療識別コードが 31～39 である診療行為レコード (SI)、及び、医薬品レコード (IY) に対して、同一算定日の N 個のレコードを 1 メッセージとして作成する。SS-MIX2 では、注射の管理可能な最小投与行為を表す施用単位で、ORC セグメントから RXC セグメントまでを繰り返す構造を取るが、レセプト電算フォーマットのデータでは、その粒度での情報を得ることができないため、算定日に投与した注射剤のうち、診療識別コードから一連の行為とみなされる単位を、1 回の施用単位として記録する。

3.1.1.8.1. RDE^O11 のセグメント構成

表 3-25 に、構造化注射オーダーメッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-25 構造化注射オーダーメッセージ (RDE^O11) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	○
[PD1]	患者追加基本情報		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[
PV1	来院情報		－	○
[PV2]	来院補足情報		－	－
]				
[{ IN1	保険		－	－
[IN2]	保険追加情報		－	－
[IN3]	保険追加情報証明書		－	－
}}				
[GT1]	保証人		－	－
[{ AL1 }]	アレルギー情報		－	○
]				
{	— ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	◎
[{				
TQ1	タイミング/数量		－	－
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダー順序		－	－
}}				
[— ORDER DETAIL begin			
RX0	薬剤/処置 オーダ		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－

{ RXR }	投薬経路		—	—
[{				
RXC	薬剤/処置 成分オーダー		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
]	— ORDER DETAIL end			
RXE	薬剤/処置 コード化されたオーダー	薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダーのコード化について記述する。	◎	◎
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
{				
TQ1	タイミング/数量	投薬の期間、回数を示す。日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [レセリポジトリ] ORC、RXE に対して常に1件しか使用しない。	◎	◎
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダー順序		—	—
}				
{ RXR }	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	◎
[{ RXC }]	薬剤/処置 成分オーダー	処方される薬剤が複合薬剤か点滴溶剤である場合に、その成分（基本薬剤及び全ての添加物）を示すために使用する。	◎	○
[{				
OBX	検査結果		—	○
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
[{ FT1 }]	会計処理		—	—
[BLG]	請求		—	—
[{ CT1 }]	治験識別		—	○
}	— ORDER end			

3.1.1.8.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.8.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.8.4. 共通オーダーセグメント (ORC)

表 3-26 に、共通オーダーセグメントの定義を示す。

表 3-26 共通オーダーセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「ORC」 を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 [レセリポジトリ] 新規・修正メッセージとして「NW」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 [レセリポジトリ] レセリポジトリでユニークな番号を発番し設定する。15桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			N	0	注射オーダーの実施アプリケーションのオーダー番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			R	R	ORC-2 オーダー番号、オーダー内で一意に識別できる Rp 番号、全ての施方をオーダー内で一意に識別できる番号をアンダースコアで連結したテキスト。 [レセリポジトリ] Rp に関わらず 1 から順に連番を振る。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	0		0038	N	N	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	オーダー発生日時。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)の診療年月と、医薬品レコード(IY)の算定日から設定。SS-MIX2 と桁数を合わせるために、時分秒には 0 を設定し 14桁とする。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	アプリケーションに実際に入力した人の氏名。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	作成した要求に対して責任のある医師。 [レセリポジトリ] 使用しない。

ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	入力をした物理的な場所・端末の設置場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	0			0	0	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。 [レセリポジトリ] ORC-9 トランザクション日時と同一の値を設定する。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	オーダー制御コードで指定したオーダーイベントの理由。キャンセル理由をセットする。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			N	R	入力者がオーダーを入力したときに属していた組織を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0	オーダーを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-19	オーダー制御実施者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N	使用しない。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院名を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	0			N	N	使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N	使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N	使用しない。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	0		0482	R	R	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)のレセプト種別に設定された「レセプト種別コード(医科)」の4桁目が奇数の場合「I(入院患者)」、偶数の場合「0(外来患者)」を設定

									する。 ex) I`入院患者オーダーHL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N	使用しない。

3.1.1.8.5. 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント (RXE)

表 3-27 に、薬剤／処置コード化されたオーダーセグメントの定義を示す。

表 3-27 薬剤／処置コード化されたオーダーセグメント (RXE) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXE-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXE」 を設定する。
RXE-1	数量／タイミング	200	TQ	B			N	N	使用しない。
RXE-2	与薬コード	250	CWE	R		0292/ 0479	R	R	使用薬剤の種類区分情報としての注射種別をセットする。 [レセリポジトリ] 電子レセプトデータからは正確な情報を得ることができないため、NULL 値を表す「”」を設定する。
RXE-3	与薬量一最小	20	NM	R			R	R	指示された 1 回に投与される薬剤の合計量数値をセットする。 [レセリポジトリ] 電子レセプトデータからは正確な情報を得ることができないため、NULL 値を表す「”」を設定する。
RXE-4	与薬量一最大	20	NM	0			N	N	使用しない。
RXE-5	与薬単位	250	CWE	R			R	R	与薬量のための単位。 [レセリポジトリ] RXE-3 には値を設定しないため、RXE-5 にも NULL 値を表す「”」を設定し、設定値を得ることができないことを表す。
RXE-6	与薬剤形	250	CWE	0			N	0	投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-7	依頼者の投薬指示	250	CWE	0	Y		N	0	投与方法などの用法に関する各種コメント情報。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-8	配布先	200	LA1	B			N	N	使用しない。
RXE-9	代替品状態	1	ID	0		0167	N	N	使用しない。

RXE-10	調剂量	20	NM	C			N	0	投薬量の総量。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-11	調剤単位	250	CWE	C			N	0	調剂量のための単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-12	同一薬発行数	3	NM	O			N	N	使用しない。
RXE-13	オーダ発行者の DEA 番号	250	XCN	C	Y		N	0	麻薬施用者の免許番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-14	薬剤師／治療提供者の検証 ID	250	XCN	C	Y		N	0	処方監査を実施した担当者の情報。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-15	処方箋番号	20	ST	C			N	0	処方指示にて発行された処方箋管理番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-16	薬剤残数	20	NM	C			N	0	同一薬発行数の残数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-17	調剤済薬品数または投与数	20	NM	C			N	0	同一薬発行数の調剤数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	26	TS	C			N	0	補充または調剤した、最近の日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-19	1日あたりの総投与量	10	OQ	C			N	0	1日当たりの投与量合計。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-20	人によるレビューの必要性	1	ID	O		0136	N	0	RXE-21 のテキストに注意を払うように、 投薬または処置をする人に警告する必要があるかどうかを示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-21	薬剤部門／治療部門による特別な調剤指示	250	CWE	O	Y		N	0	処方区分。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-22	時間あたりの与薬	20	ST	C			N	0	製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する。時間単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-23	与薬速度	6	ST	O			N	0	使用しない。
RXE-24	与薬速度単位	250	CWE	O			N	0	使用しない。
RXE-25	与薬力価	20	NM	O			N	0	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ]

									使用しない。
RXE-26	与薬力価単位	250	CWE	0			N	0	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-27	与薬指示	250	CWE	0	Y		N	0	薬/治療が処方の対象となった状態や問題を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-28	調剤パッケージサイズ	20	NM	0			N	0	調剤されるパッケージのサイズを含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-29	調剤パッケージサイズの単位	250	CWE	0			N	0	RXE-28 調剤パッケージサイズが称される単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-30	調剤パッケージ方法	2	ID	0		0321	N	0	薬剤/処置を払い出す方法を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-31	補足コード	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
RXE-32	当初のオーダー日/時間	26	TS	0			N	0	補充(refill)認可が要請された時のオリジナルオーダーの日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-33	与薬力価量	5	NM	0			N	0	薬力価濃度。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-34	与薬力価量単位	250	CWE	0			N	0	与薬力価量の単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-35	薬物コントロールスケジュー	60	CWE	0		0477	N	0	法律で使用量が規制されている薬物を特定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-36	処方集ステータス	1	ID	0		0478	N	0	薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-37	薬物代替え	60	CWE	0	Y		N	0	処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-38	最新の与薬の薬剤部	250	CWE	0			N	0	最も新しく薬剤を処方した薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-39	最初の調剤量	250	NM	0			N	0	最初の処方による調剤の量が補充薬(Refill)に用いられた処方の量と異なる

									時に、最初の調剤量。 [レセリポジトリ] 使用しない。	
RXE-40	調剤薬剤部	250	CWE	0				N	0	処方箋を調剤する薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-41	調剤薬剤部の住所	250	XAD	0				N	0	調剤薬剤部の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-42	患者への配達場所	80	PL	0				N	0	薬剤が患者に引き渡される払い出し場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-43	配達先住所	250	XAD	0				N	0	処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-44	薬剤オーダタイプ	1	ID	0		0480		N	0	オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリを定義する。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.1.8.6. タイミング／数量セグメント (TQ1)

表 3-28 に、タイミング／数量セグメントの定義を示す。

表 3-28 タイミング／数量セグメント (TQ1) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「TQ1」 を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	0			N	0	複数の TQ1 セグメントを識別する連番。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-2	数量	20	CQ	0			N	0	サービス内で提供されるべき量。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-3	繰り返しパターン	540	RPT	0	Y	0335	N	C	繰返し行う治療のスケジュール。用法を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。

									※SS-MIX2では、頓用指示とあいまい指示で使用するが、電子レセプトデータではその区別はできないため使用しない
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	0	Y		N	N	使用しない。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	0	Y		N	N	使用しない。
TQ1-6	サービス時間	20	CQ	0			N	N	使用しない。
TQ1-7	開始日時	26	TS	0			N	0	<p>施用単位の実施予定開始日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。</p> <p>※TQ1-7、TQ1-8は、SS-MIX2では、点滴の施用単位の開始時間、終了時間を記載する。電子レセプトデータではそのレベルの情報はとれないため、使用しない</p>
TQ1-8	終了日時	26	TS	0			N	0	<p>施用単位の実施予定終了日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。</p>
TQ1-9	優先度	250	CWE	0	Y	0485	N	N	使用しない。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	0			N	N	使用しない。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	0			N	C	<p>頓用指示の場合のみ使用し、用法に関するコメントなど、Rp ごとのコメントを格納する。 [レセリポジトリ] 電子レセプトデータでは、頓用指示かどうかは区別できないため、使用しない。</p>
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	N	N	使用しない。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	0			N	N	使用しない。
TQ1-14	事象総数	10	NM	0			N	0	<p>サービスの発生 の総数。頓用指示における頓用適用回数を設定する。 [レセリポジトリ] 電子レセプトデータでは、頓用指示かどうかは区別できないため、使用しない。</p>

3.1.1.8.7. 投薬経路セグメント (RXR)

表 3-29 に、投薬経路セグメントの定義を示す。

表 3-29 投薬経路セグメント (RXR) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXR」 を設定する。

RXR-1	経路	250	CWE	R		0162	R	R	<p>投薬の経路を示す。 [レセリポジトリ]</p> <p>1. 注射情報が記録された場合 電子レセプトデータからは正確な情報を得ることができないため、NULL 値であることを表す「””」を固定で設定する。</p> <p>2. 注射の事実が記録された場合 コメントコードに注射オーダコード「819990003」が記録されたコメントコードがあった場合には、処方内容ではなく、処方の事実のみが記録されたと判断し、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、設定値を得ることができないことを表す。</p>
RXR-2	部位	250	CWE	0		0163	N	0	<p>投薬の部位。 [レセリポジトリ]</p> <p>使用しない。</p>
RXR-3	投薬装置	250	CWE	0		0164	N	0	<p>投薬あるいは他の処置を補助するために使用する機械装置。 [レセリポジトリ]</p> <p>使用しない。</p>
RXR-4	投薬方法	250	CWE	0		0165	N	0	<p>投薬・処置の患者への適用方法を示す。 [レセリポジトリ]</p> <p>使用しない。</p>
RXR-5	経路指示	250	CWE	0			N	N	使用しない。
RXR-6	投薬現場モディファイア	250	CWE	0		0495	N	N	使用しない。

3.1.1.8.8. 薬剤／処置 成分オーダセグメント (RXC)

表 3-30 に、薬剤／処置 成分オーダセグメントの定義を示す。

表 3-30 薬剤／処置 成分オーダセグメント (RXC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXC」を設定する。
RXC-1	RX 成分タイプ	1	ID	R		0166	R	R	<p>HL7 表「0166-RX 成分タイプ」より「B (基本薬剤)」、「A (添加物)」を使用する。 [レセリポジトリ]</p> <p>電子レセプトデータからは、基本薬剤と添加物の識別ができないため NULL 値で</p>

									あることを表す「”」を設定する。
RXC-2	成分コード	250	CWE	R			R	R	<p>与薬および調剤コードと同じ方法で基本薬剤または成分を定義する。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p><u>1. 注射情報が記録された場合</u> レセプト電算コードを使用し、医薬品レコード(IY)の医薬品コードを設定する。コーディングシステム名には「99R02」を格納する。 ex) 640407152`サイリジン注 1 0m L`99R02</p> <p><u>2. 注射の事実が記録された場合</u> コメントコードに注射オーダーコード「819990003」が記録されたコメントコードがあった場合には、注射内容ではなく、注射の事実のみが記録されたと判断し、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK (Asked but Unknown)」を設定することで、薬剤名が利用可能でないが、注射の事実があったことを示すものとする。</p>
RXC-3	成分量	20	NM	R			R	R	<p>該当薬剤の投与予定量。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p><u>1. 注射情報が記録された場合</u> 医薬品レコード (IY) の使用量を設定する。</p> <p><u>2. 注射の事実が記録された場合</u> コメントコードに注射オーダーコード「819990003」が記録されたコメントコードがあった場合には、注射内容ではなく、注射の事実のみが記録されたと判断し、「”」を固定で記録する。</p>
RXC-4	成分単位	250	CWE	R			R	R	<p>指示薬剤分量で使用使用する単位。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p><u>1. 注射情報が記録された場合</u> レセ電算医薬品マスターから、単位コード及び名称を設定する。コーディングシステム名には「99R03」を格納する</p> <p><u>2. 注射の事実が記録された場合</u> コメントコードに注射オーダーコード「819990003」が記録されたコメントコードがあった場合には、注射内容ではなく、注射の事実のみが記録されたと判断し、HL7 表 0353 CWE Statuses より「UASK</p>

									(Asked but Unknown)」を設定することで、薬剤名が利用可能でないが、注射の事実があったことを示すものとする。
RXC-5	成分力価	20	NM	0			N	0	RXC-2 成分コードが力価を指定しない場合に使用する。力価の数値部分。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXC-6	成分力価単位	250	CWE	0			N	0	RXC-2 成分コードが力価を指定しない場合に使用する。力価の単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXC-7	補足コード	250	CWE	0	Y		N	0	特殊薬剤に関する区分および投与予定の薬剤に関するコメント。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXC-8	成分薬力価量	5	NM	0			N	0	その薬に入っている薬力価を数量で定義する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXC-9	成分力価量単位	250	CWE	0			N	0	RXC-8 成分薬力価量に関する容積単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.1.9. アレルギー情報登録・更新メッセージ (ADT^A60)

患者特記事項のアレルギー情報登録更新メッセージを使用する。レセリポジトリへのファイル格納時の処理として、当該患者の最新の有効ファイル (コンディションフラグ=「1 (有効)」) のファイル名のコンディションフラグを「0 (無効(削除))」に変更し、連携用レセプト共通レコード3に記録された全てのアレルギー情報を1つの有効ファイルとして格納する。詳細は、「3.2.3 格納処理における留意点」を参照。

3.1.1.9.1. ADT^A60 のセグメント構成

表 3-31 に、アレルギー情報登録・更新メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須/○任意/—使用不可]

表 3-31 アレルギー情報登録・更新メッセージのセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア		—	—
ENV	事象型	受信アプリケーションに必要な取りがイベント情報を通知する。	○	○
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	◎
[PV1]	来院情報		—	—
[PV2]	来院補足情報		—	—
[{ IAM }]	副作用情報	患者のアレルギー情報。アレルギー情報の数だけ繰り返す。	○	◎

3.1.1.9.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.9.3. 事象型セグメント (ENV)

変換仕様は、「3.1.1.3.3 事象型セグメント (ENV)」を参照。

3.1.1.9.4. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.9.5. 副作用情報セグメント (IAM)

表 3-32 に、プロブレム詳細セグメントの定義を示す。

表 3-32 プロブレム詳細セグメント (IAM) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
IAM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「IAM」 を設定する。
IAM-1	セット ID-IAM	4	SI	R			R	R	セグメントの反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1 [レセリポジトリ] セグメント内で通し番号
IAM-2	アレルギー分類	250	CWE	0		0127	0	0	アレルギー进行分类する。 [レセリポジトリ] 連携用レセプト共通レコード 3 (R3) の患者特記種別がアレルギー歴 “1” の場合、HL7 表「0127 アレルギー分類」に記載されている「MA:種々のアレルギー」を使用し、 MA^種々のアレルギー^HL70127 を設定する。 連携用レセプト共通レコード 3 (R3) の患者特記種別が副作用歴 “2” の場合、HL7 表「0127 アレルギー分類」に記載されている「MC:種々の禁忌」を使用し、 MC^種々の禁忌^HL70127 それぞれ設定する。
IAM-3	アレルギー情報	250	CWE	R			R	R	[レセリポジトリ] 本書で定めたコーディングシステム「99R07」を設定する。 連携用レセプト共通レコード 3 (R3) の患者特記種別がアレルギー歴 “1” の場合、 ^患者特記内容^99R07 連携用レセプト共通レコード 3 (R3) の患者特記種別が副作用歴 “2” の場合、 ^患者特記内容^99R07 を設定する。 ex) ^小麦^99R07 ^ピリン系^99R07 ^ロソニン錠 60mg^99R07
IAM-4	アレルギー重症度	250	CWE	0		0128	N	0	アレルギーの重症度を示す。

									[レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-5	アレルギー反応情報	15	ST	0	Y		N	0	報告されている特定のアレルギー反応情報を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-6	アレルギーアクションコード	250	CNE	R		0323	R	R	記録の状態を定義したコードを示す。推奨値としてHL7表「0323-アクションコード」を参照。 [レセリポジトリ] HL7表「0323-アクションコード」から、「A（追加/挿入）」を設定する。 実際の情報としては更新されていないものが常に「追加/挿入」という区分としてデータが出力されるため、情報の閲覧処理では本区分を利用しないように留意する。
IAM-7	アレルギー識別情報	427	EI	C			N	C	このフィールドは個人に対するひとつのアレルギーを一意的に識別する値を示す。それは、特定の個人に対するすべてのセグメントやメッセージに対して一意的である。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-8	アレルギー情報追加・変更理由	60	ST	0			N	0	IAM-7 アレルギーアクションコードで示される行動の理由を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-9	アレルギー物質に対する感受性	250	CWE	0		0436	N	0	何故その患者が、その物質に触れてはいけなかつたかの理由を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-10	アレルゲン群情報	250	CWE	0			N	0	アレルゲン情報 (IAM-3) とアレルゲン群情報 (IAM-10) 両方を通信する必要がある時に、アレルゲン群を一意的に識別するために用いられるコード、略語、記述を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-11	アレルギー発症日	8	DT	0			N	0	最初の反応があった実際の日付を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-12	アレルギー発症時期	60	ST	0			N	0	正確な日付がわからない時に、最初の反応があった時期を文章で記述したもの。 [レセリポジトリ] 使用しない。

IAM-13	情報提供日時	8	TS	0			N	0	アレルギーが医療提供者に情報提供された日時を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-14	情報提供者	250	XPN	0			N	0	医療提供者へ、IAM-13 情報提供日時にアレルギー情報を提供した人の名前を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-15	情報提供者と患者の続柄	250	CWE	0		0063	N	0	患者にアレルギー情報を提供した人と患者の続柄を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-16	要注意物質コード	250	CWE	0		0437	N	N	[レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-17	アレルギー臨床確認状態	250	CWE	0		0438	N	0	アレルギーの確認状態を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-18	確認者	250	XCN	0			N	0	アレルギー臨床状態を指定した医療提供者を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-19	確認機関	250	XON	0			N	0	アレルギー情報を更新した医療提供組織の名称を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-20	確認日時	8	TS	0			N	0	IAM-19 確認機関に所属する IAM-18 確認者がアレルギー情報を更新した日時を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.1.10. 病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR^ZD1）

医療機関からの任意のコメントを連携するために、病名情報登録更新メッセージを使用する。同一算定日について最大1メッセージが作成される。同一算定日に複数の連携用コメントレコードが存在する場合、各コメントレコードに対してそれぞれプロブレム詳細セグメントを作成する。詳細は、「3.2.3 格納処理における留意点」を参照。

3.1.1.10.1.PPR^ZD1 のセグメント構成

表 3-33 に、アレルギー情報登録・更新メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-33 病名（歴）情報登録・更新メッセージのセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア		－	－
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	◎
[
PV1	来院情報		－	－
[PV2]	来院補足情報		－	－
]				
{				
PRB	プロブレム詳細	与えられた各個人のプロブレムを追加、更新、修正、かつ、削除するのに必要なデータを含む。	◎	◎
[ZPR]	プロブレム拡張情報		－	○
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－
[{				
ROL	役割		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－
}]				
[{				
PTH	パスウェイ詳細		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－
}]				
[{ ZI1 }]	保険		－	○
[{				
OBX	検査結果		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
}]				
[{				
GOL	目標詳細		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－

[{				
ROL	役割		—	—
[{ VAR }]	バリエーション		—	—
}]				
[{				
OBX	検査結果		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
}]				
[{				
ORC	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼者・依頼日時など。	○	○
[
<				
OBR	検査要求			
	etc.			
>				
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[{ VAR }]	バリエーション		—	—
[{				
OBX	検査結果		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[{ VAR }]	バリエーション		—	—
}]				
]				
}]				
}				

3.1.1.10.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.1.10.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.1.10.4. プロブレム詳細セグメント (PRB)

表 3-34 に、プロブレム詳細セグメントの定義を示す。

表 3-34 プロブレム詳細セグメント (PRB) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
PRB-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「PRB」 を設定する。
PRB-1	アクションコード	2	ID	R		0287	R	R	メッセージの意図を示す。 [レセリポジトリ] HL7 表「0287-プロブレム/ゴール・アクションコード」より、「AD (追加)」を設定する。
PRB-2	アクション日付/時刻	26	TS	R			R	R	更新時間。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)の診療年月と、連携用コメントレコード(CI)の算定日から、算定日の日付を設定する。 [YYYYMMDD]形式。
PRB-3	プロブレム ID	250	CWE	R			R	R	病名表記を一意に表すコード。 [レセリポジトリ] 設定できる情報がないため、NULL 値を表す「'''」を固定で設定する。
PRB-4	プロブレムインスタンス ID	60	EI	R			R	R	管理番号として利用する。病名情報を一意にする番号。 [レセリポジトリ] 設定できる情報がないため、NULL 値を表す「'''」を固定で設定する。
PRB-5	診療 ID エピソード	60	EI	0			N	0	プロブレムが当てはまる診療のエピソードを一意的に識別する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-6	プロブレムリストの優先権	60	NM	0			N	0	個人のために管理されるリスト上のプロブレムに対する優先度を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-7	プロブレム設定日付/時刻	26	TS	0			0	0	対応するプロブレムが医療提供者によって当初確認された日付/時刻。診断日として利用する。 [レセリポジトリ] PRB-2 アクション日付/時刻と同一の値を設定する。
PRB-8	予想されるプロブレム解決日付/日時	26	TS	0			N	0	プロブレム解決の予定日付/時刻。 [レセリポジトリ] 使用しない。

PRB-9	実際のプロブレム解決日付 /日時	26	TS	0			N	0	プロブレムを実際に解決した日付/時刻。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-10	プロブレムの分類	250	CWE	0			N	0	プロブレムの種類を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-11	プロブレムマネジメント職 種	250	CWE	0	Y		N	0	特定のプロブレムを管理するための責任 を持つ医療提供者の属性を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-12	プロブレムの長期化	250	CWE	0			N	0	プロブレムの持続性を示す (例えば、急 性、慢性など)。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-13	プロブレムの確認状態	250	CWE	0			N	0	プロブレムの検証状態を含む (例えば、 確認された、差異、臨時、除外、など)。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-14	プロブレムのライフサイク ル状態	250	CWE	0			N	0	特定の日付/時刻辺材のプロブレムの状 態。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-15	プロブレムのライフサイク ル状態の日付/時刻	26	TS	0			N	0	現在のプロブレムについてライフサイク ル状態の発行日付/時刻を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-16	プロブレムの発生日付	26	TS	0			N	0	プロブレムが始まった日付/時刻。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-17	プロブレムの発生テキスト	80	ST	0			R	0	プロブレムが発生した時点のテキスト表 現を考慮に入れる。患者の病態をあらわ すために実際に入力される文字列として 利用する。 [レセリポジトリ] 連携用コメントレコード(C1)の文字コー ドを設定する。
PRB-18	プロブレムのランキング	250	CWE	0			N	0	ユーザに定義されたプロブレム優先順 位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-19	プロブレムの確実性	250	CWE	0			N	0	プロブレムの確実性の定性的表現。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-20	プロブレムの確率(0-1)	5	NM	0			N	0	プロブレムがこの患者のために存在する という確実性のある定量的あるいは数値

									的な表現。 [レセリポジトリ] 使用しない。	
PRB-21	プロブレムの個々の認識	250	CWE	0				N	0	プロブレムに関する患者自身の理解度。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-22	プロブレムの予後	250	CWE	0				N	0	各個人のプロブレムの予後。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-23	予後についての患者個人の認識	250	CWE	0				N	0	プロブレムの予後について各個人の理解の度合い。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-24	プロブレム/予後についての家族その他重要な関係者の認識	250	ST	0				N	0	実際のプロブレム/予後の各個人の家族あるいは他の重要な関係者の理解を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-25	セキュリティ/感受性	250	CWE	0				N	0	プロブレムに関するセキュリティや感受性のレベルに関する情報。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.1.10.5. 共通オーダセグメント (ORC)

表 3-35 に、共通オーダセグメントの定義を示す。

表 3-35 共通オーダセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 [レセリポジトリ] 新規・修正メッセージとして「NW」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	管理番号。 [レセリポジトリ] レセリポジトリでユニークな番号を発番し設定する。15桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			N	0	実施アプリケーションに関連したオーダ番号。

									[レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			N	0	[レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-5	オーダ状態	2	ID	0		0038	N	N	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	オーダ発生日時。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)の診療年月 と、連携用コメントレコード(C1)の算定 日から設定。SS-MIX2 と桁数を合わせる ために、時分秒には0を設定し14桁とする。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	アプリケーションに実際に入力した人の 氏名。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	作成した要求に対して責任のある医師。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	入力をした物理的な場所・端末の設置場 所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダ有効日時	26	TS	0			0	0	変更要求が有効になった、あるいは有効 になる予定の日時。 [レセリポジトリ] ORC-9 トランザクション日時と同一の値 を設定する。
ORC-16	オーダ制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	オーダ制御コードで指定したオーダイベ ントの理由。キャンセル理由をセットす る。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			N	R	入力者がオーダを入力したときに属して いた組織を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0	オーダを入力するために使用した端末の 識別子を示す。 [レセリポジトリ]

									使用しない。
ORC-19	オーダー制御実施者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N	使用しない。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院名を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	0			N	N	使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N	使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N	使用しない。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	0		0482	0	0	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 [レセリポジトリ] レセプト共通レコード(RE)のレセプト種別に設定された「レセプト種別コード(医科)」の4桁目が奇数の場合「 I(入院患者) 」、偶数の場合「 0(外来患者) 」を設定する。 ex) I入院患者オーダーHL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N	使用しない。

3.1.2. レセコンデータ（調剤）の変換

3.1.2.1. 変換処理の概要

表 3-36 に、連携用データ（調剤）の変換に使用するレセリポジトリメッセージを示す。前提条件として、レセリポジトリの変換処理では、患者単位に、リポジトリへの最終取込日付を管理しているものとする。変換処理を行った後、処理した調剤月日のうち最終の調剤月日を最終取込日付として更新する。

表 3-36 使用するレセリポジトリメッセージ

No	連携用ファイル	対応するレセリポジトリメッセージ	
1	調剤データ連携用ファイル	ADT^A04	患者登録（外来受付）
2		RDS^O13	調剤情報
3		ADT^A60	アレルギー情報登録・更新
4		PPR^ZD1	病名（歴）情報登録・更新

表 3-37 に、レセリポジトリにおける各セグメント表の定義を記載した章番号を示す。MSH セグメントのように、全てのメッセージで共通する仕様は、1つの定義表を複数のメッセージの説明の中で参照する形で記載した。

表 3-37 セグメント定義の記載箇所

No	セグメント	ADT^A04	RDS^O13	ADT^A60	PPR^ZD1
1	SS-MIX ヘッダー	3.1.2.2	同左	同左	同左
2	MSH	3.1.1.3.2	同左	同左	同左
3	EVN	3.1.2.3.3	—	3.1.2.3.3	—
4	PID	3.1.1.3.4	同左	同左	同左
5	NK1	3.1.1.3.5	—	—	—
6	PV1	3.1.1.3.6	—	—	—
7	IN1	3.1.1.3.7	—	—	—
8	ORC	—	3.1.2.4.1	—	3.1.2.6.5
9	RXE	—	3.1.2.4.2	—	—
10	TQ1	—	3.1.2.4.3	—	—
11	RXR	—	3.1.2.4.4	—	—
12	RXD	—	3.1.2.4.5	—	—
13	IAM	—	—	3.1.2.5.5	—
14	PRB	—	—	—	3.1.2.6.4

(ア) 調剤データ連携用ファイルの変換処理

◇ 患者単位の連携用データについて

- 記録対象となる調剤月日を持つ調剤情報レコード（CZ）に対して
 - ADT^A04（患者登録）メッセージを作成する。（※1、※2
 - RDS^O13（調剤情報）メッセージを作成する。（※1、※2
- 記録対象調剤月日を持つ連携用コメントレコード（C1）に対して
 - PPR^ZD1（病名（歴）登録・更新）メッセージを作成する。調剤日に寄らず患者単位に1メッセージとする。（※2、※3

- ▶ 連携用レセプト共通レコード3 (R3) に対して、
 - ADT^A60 (アレルギー情報登録・更新) メッセージを作成する。患者単位に1メッセージとする。(※2、※3

- ▶ 前述したレコード以外のレコードおよび情報に対しては、3.1.2.2以降に従ってメッセージを作成する。

※1：同一調剤月日に作成するのは最大1メッセージとする。

※2：記録対象となる調剤月日の判断について以下に示す。

- ① 当該患者の最終取込日情報がない場合
記録対象となる調剤月日は調剤年月の1日から変換処理日までとする。
ただし、変換処理月が調剤年月の次月以降の場合、調剤年月の1日から調剤年月末日までとする。
- ② 当該患者の最終取込日情報がある場合
 - ◇ 最終取込日が調剤年月の前月以前の場合
記録対象となる調剤月日は、「①当該患者の最終取込日情報がない場合」と同じ判断となる。
 - ◇ 最終取込日が調剤年月に含まれる場合
記録対象となる調剤月日は最終取込日の翌日から変換処理日までとなる。
ただし、変換処理月が調剤年月の次月以降の場合、最終取込日の翌日から調剤年月末日までとする。

※3：レセリポジトリへの格納方法についての留意事項は「3.2.3 格納処理における留意点」を参照すること。

調剤データ連携用ファイルの変換処理の例を図 3-9 に示す。

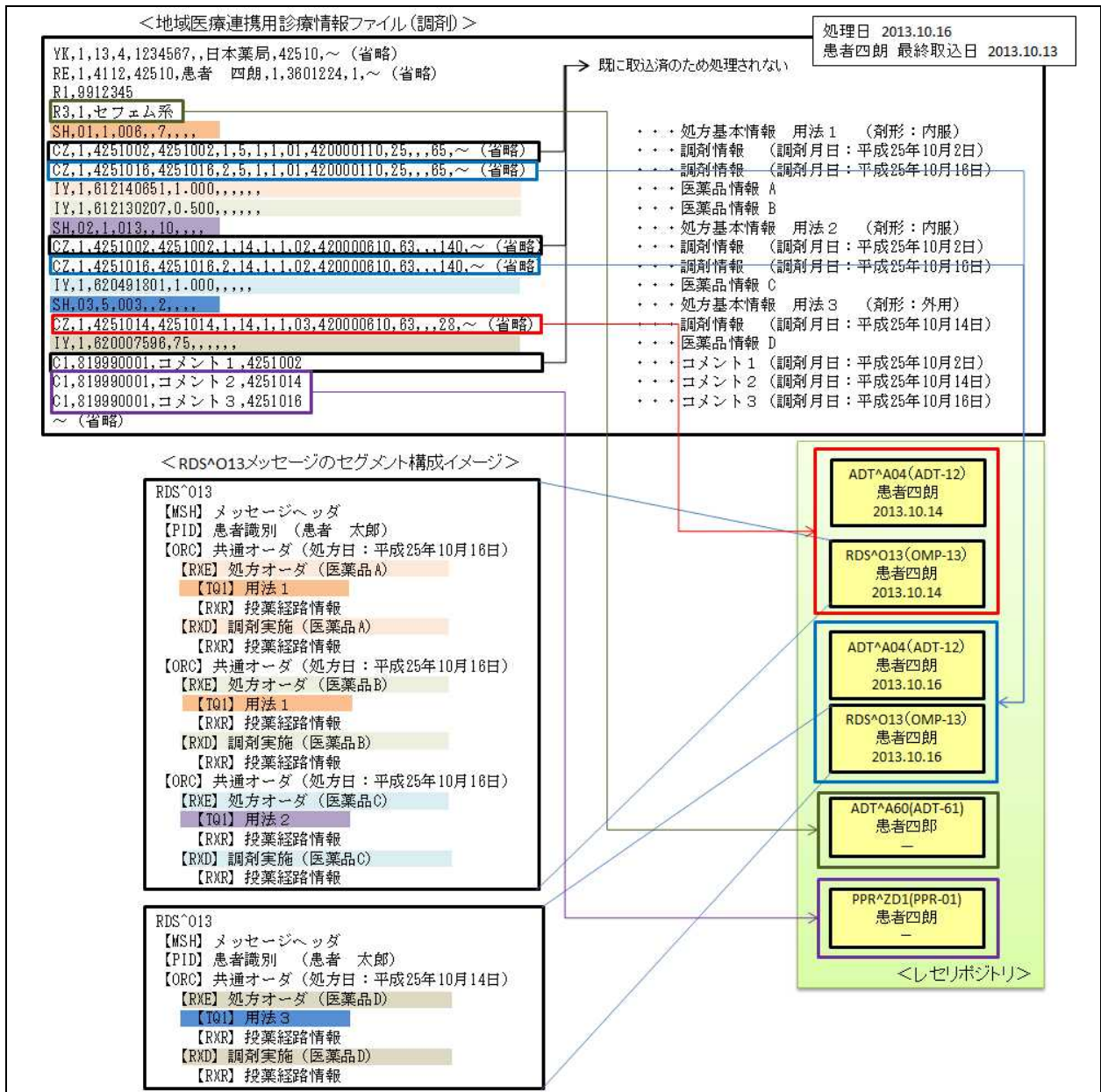


図 3-9 調剤データ連携用ファイルの変換処理例

3.1.2.2. SS-MIX ヘッダー

レセリポジトリメッセージを SS-MIX2 に準じた通信手順で送信する場合、各メッセージには、SS-MIX2 の仕様に準じ、SS-MIX ヘッダーを付与する。SS-MIX ヘッダーは、表 3-38 に示す項目を「, (カンマ)」区切りで構成したメッセージとし、SS-MIX ヘッダー終了識別は、「0x1E0D」とする。レセリポジトリに格納されるファイルは、HL7 メッセージの部分のみであることに留意すること。

表 3-38 SS-MIX ヘッダー項目

No	項目	設定値	備考
1	SS-MIX 識別	固定値「#RECEIPT」を設定する。	
2	バージョン	レセリポジトリのバージョンを表す。 本仕様においては固定値「1.00」を設定する。	

3	医療施設 ID	医療施設を一意に識別する ID 薬局情報レコード(YK)の、都道府県+点数表+薬局コードを設定する。	YK：都道府県 YK：点数表 YK：薬局コード
4	患者 ID	連携用レセプト共通レコード 1 (R1)が存在する場合、R1 レコードの連携用患者 ID を設定する。R1 レコードが存在しない場合、レセプト共通レコード(RE)の「調剤録番号等」を設定する。	R1：連携用患者 ID RE：調剤録番号等
5	診療日	調剤情報レコード(CZ)の、調剤月日を西暦に変換し設定する。	CZ：調剤月日
6	データ種別	表 3-39 から、レセリポジトリメッセージに対応するデータ種別を設定する。	
7	オーダ No	オーダ番号に相当する任意のユニークな番号を、15 桁、前ゼロ形式で付番する。	
8	処理区分	新規データを表す「INS」を設定する。	
9	診療科コード	固定値「000」を記録する。	
10	トランザクション日時	日時(YYYYMMDDHHMSSFFF)で表現されるメッセージの発生日時。 本メッセージを作成した日時をミリ秒まで記録する。	

表 3-39 データ種別

No	データ種別	名称	HL7 メッセージ型
1	ADT-12	外来診察の受付	ADT^A04^ADT_A01
4	ADT-61	アレルギー情報の登録/更新	ADT^A60^ADT_A60
5	PPR-01	病名(歴)情報の登録/更新	PPR^ZD1^PPR_ZD1
6	OMP-13	調剤実施	RDS^O13^RDS_O13

3.1.2.3. 外来診察の受付メッセージ（ADT^A04）の定義

薬局の受付情報を記録する。記録対象レコードの1調剤月日毎に最大1ファイルを作成する。

3.1.2.3.1. 外来診察の受付メッセージ（ADT^A04）のセグメント構成

表 3-40 に、外来診察の受付メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎:必須/○:任意/ー:使用不可]

表 3-40 外来診察の受付メッセージ（ADT^A04）のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	ー	ー
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイメント情報を通知する。	◎	◎
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	◎
[PD1]	患者追加基本情報		ー	ー
[[ROL]]	役割		ー	ー
[{ NK1 }]	近親者情報		○	ー
PV1	来院情報	当セグメントは、病院内での患者の状態（入外・所在場所・担当医など）を提供する。	◎	◎
[PV2]	来院補足情報		ー	ー
[{ ROL }]	役割		ー	ー
[{ DB1 }]	身体障害		ー	ー
[{ OBX }]	検査結果		ー	ー
[{ AL1 }]	アレルギー情報		ー	ー
[{ DG1 }]	診断		ー	ー
[DRG]	診断群分類		ー	ー
[{			ー	ー
PR1	処置		ー	ー
[{ ROL }]	役割		ー	ー
}]			ー	ー
[{ GT1 }]	保証人		ー	ー
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	○	ー
[IN2]	保険追加情報		ー	ー
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		ー	ー
[{ ROL }]	役割		ー	ー
}]				
[ACC]	事故		ー	ー
[UB1]	普遍的請求書情報		ー	ー
[UB2]	普遍的請求書92の情報		ー	ー
[PDA]	患者の死亡・剖検		ー	ー

3.1.2.3.2. メッセージヘッダセグメント (MSH) の定義

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.2.3.3. 事象型セグメント (EVN)

表 3-41 に、事象型セグメントの定義を示す。

表 3-41 事象型セグメント (EVN) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
EVN-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「EVN」を設定する。
EVN-1	事象型コード	3	ID	B			N	N	使用しない。
EVN-2	事象記録日時	26	TS	R			R	R	トランザクションが入力されたシステム日時。 [レセリポジトリ] レセプトコンピュータに情報が登録された日は厳密には分からないため、外来受付 (ADT^A04) の場合は SS-MIX ヘッダーに記録される「診療日」を設定する。 「YYYYMMDD」形式。 アレルギー情報登録/更新 (ADT^A60) の場合は、記録するべき適切な日付がないために「〃」を設定する。
EVN-3	事象計画日時	26	TS	0			N	C	この事象が計画された日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-4	事象理由コード	3	IS	0		0062	N	0	事象についての理由。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-5	操作者 ID	250	XCN	0	Y	0188	N	0	事象の発生に対して責任のある個人を識別する ID。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-6	事象発生日時	26	TS	0			N	C	事象が実際に発生した日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
EVN-7	事象施設	241	HD	0			N	RE	事象が発生した実際の施設。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.2.3.4. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.2.3.5. 近親者情報セグメント (NK1)

変換仕様は、「3.1.1.3.5 近親者情報セグメント (NK1)」を参照。

3.1.2.3.6. 来院者情報セグメント (PV1)

変換仕様は、「3.1.1.3.6 来院情報セグメント (PV1)」を参照。

3.1.2.3.7. 保険セグメント (IN1)

変換仕様は、「3.1.1.3.7 保険セグメント (IN1)」を参照。

3.1.2.4. 調剤情報メッセージ (RDS^O13) の定義

同一調剤月日の調剤情報レコード (CZ) N個に対して1メッセージを作成する。

3.1.2.4.1. RDS^O13 のセグメント構成

表 3-42 に、調剤情報メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須/○任意/—使用不可]

表 3-42 調剤メッセージ (RDS^O13) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	—
[{ SFT }]	ソフトウェア		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	—
[PD1]	患者追加基本情報		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[{ AL1 }]	アレルギー情報		—	—
[
PV1	来院情報		—	—
[PV2]	来院補足情報		—	—
]				
]				
{	— ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	—
[{				
TQ1	タイミング/数量		—	—
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダー順序		—	—
}]				
[— ORDER DETAIL begin			
RXO	薬剤/処置 オーダ		—	—
[
{ NTE }	注釈・コメント		—	—
{ RXR }	投薬経路		—	—
[{	— COMPONENT begin			
RXC	薬剤/処置 成分オーダー		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]	— COMPONENT end			
]				
]	— ORDER DETAIL end			
[— ENCODING begin			

RXE	薬剤/処置 コード化されたオーダ	処方情報 (薬品名・数量など) を提供する。	◎	◎
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
{				
TQ1	タイミング/数量	投薬の期間、回数を示す。日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [レセリポジトリ] ORC、RXE に対して常に 1 件しか使用しない。	◎	◎
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		—	—
}				
{ RXR }	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	◎
[{ RXC }]	薬剤/処置 成分オーダ		—	—
]	— ENCODING end			
RXD	調剤情報	調剤情報を提供する。	◎	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
{ RXR }	投薬経路	調剤される医薬品の投与経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	—
[{ RXC }]	薬剤/処置 成分		—	—
[{ OBX	検査結果		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}}				
[{ FT1 }]	会計処理		—	—
}	— ORDER end			

3.1.2.4.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.2.4.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.2.4.1. 共通オーダセグメント (ORC)

表 3-43 に、共通オーダセグメントの定義を示す。

表 3-43 共通オーダセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「ORC」 を設定する。

ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	新規・修正メッセージとして「NW」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 [レセリポジトリ] レセリポジトリでユニークな番号を発番し設定する。15桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			N	0	処方オーダーの実施アプリケーションのオーダー番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			R	R	剤 (RP) 番号。 [レセリポジトリ] 1薬品1RPとし、メッセージ内で1から連番で記録する。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	0		0038	N	N	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	現在のオーダーが発生した日時。処方日時を示す。「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [レセリポジトリ] 調剤情報レコード(CZ)の調剤月日を西暦に変換し設定する。SS-MIX2と合わせるために時分秒には0を設定し、14桁で設定する。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	アプリケーションに実際に入力した人の氏名。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	作成した要求に対して責任のある医師。処方医。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	入力をした物理的な場所・端末の設置場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号					Y/2	N	N	使用しない。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	0			0	0	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。 [レセリポジトリ] ORC-9 トランザクション日時と同一の値を設定する。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	オーダー制御コードで指定したオーダイベントの理由。キャンセル理由をセットす

										る。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			N	0		入力者がオーダを入力したときに属していた組織を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0		オーダを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-19	オーダ制御実施者	250	XCN	0	Y		N	N		使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N		使用しない。
ORC-21	オーダ施設名	250	XON	0	Y		N	0		オーダを発行した病院名を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-22	オーダ施設住所	250	XAD	0	Y		N	0		オーダを発行した病院の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-23	オーダ施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0		オーダを発行した病院の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-24	オーダ依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N		使用しない。
ORC-25	オーダ状態修飾子	250	CWE	0			N	N		使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N		使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N		使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N		使用しない。
ORC-29	オーダタイプ	250	CWE	0		0482	0	0		オーダが入院患者オーダか外来患者オーダかを示す。 [レセリポジトリ] 調剤の場合、常に「0 (外来)」を設定する。 0^外来患者オーダ^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N		使用しない。

3.1.2.4.2. 薬剤／処置 コード化されたオーダセグメント (RXE)

表 3-44 に、薬剤／処置 コード化されたオーダセグメントの定義を示す。

表 3-44 薬剤／処置 コード化されたオーダセグメント (RXE) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXE-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXE」 を設定する。
RXE-1	数量／タイミング	200	TQ	B			N	N	使用しない。
RXE-2	与薬コード	250	CWE	R		0292/ 0479	R	R	コード化された薬剤。 [レセリポジトリ] レセプト電算コードを使用し、医薬品レコード(IY)の医薬品コードを設定する。コーディングシステム名には「99R02」を格納する。 ex) 620005905^アムロジン錠5mg ^99R02
RXE-3	与薬量一最小	20	NM	R			R	R	一回分の投薬量を設定する。 [レセリポジトリ] 剤形コードが「3 (屯服)」の場合、医薬品レコード(IY)の1回用量を設定する。それ以外はNULL値を表す「 [∞] 」を固定で設定する。
RXE-4	与薬量一最大	20	NM	0			N	0	不均等投薬時、一回分投薬量の最大値を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-5	与薬単位	250	CWE	R			R	R	与薬量のための単位。 [レセリポジトリ] レセ電算医薬品マスターから、単位コード及び名称を設定する。コーディングシステム名 (CWE. 3) には本書で定めた「99R03」を格納する。
RXE-6	与薬剤形	250	CWE	0			N	0	投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-7	依頼者の投薬指示	250	CWE	0	Y		N	0	患者あるいは投薬または治療の供給者へのオーダ発行者の指示。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-8	配布先	200	LA1	B			N	N	使用しない。

RXE-9	代替品状態	1	ID	0		0167	N	N	使用しない。
RXE-10	調剤量	20	NM	C			R	R	投薬量の総量。 [レセリポジトリ] 調剤情報レコード(CZ)の調剤数量と、対応する医薬品レコード(IY)の使用量をかけた値を設定する。
RXE-11	調剤単位	250	CWE	C			R	R	調剤量のための単位。 [レセリポジトリ] レセ電算医薬品マスターから、単位コード及び名称を設定する。コーディングシステム名 (CWE. 3) には本書で定めた「99R03」を格納する。
RXE-12	同一薬発行数	3	NM	0			N	N	使用しない。
RXE-13	オーダ発行者の DEA 番号	250	XCN	C	Y		N	0	麻薬施用者の免許番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	250	XCN	0	Y		N	0	処方監査を実施した担当者の情報。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-15	処方箋番号	20	ST	C			N	0	処方指示にて発行された処方箋管理番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-16	薬剤残数	20	NM	C			N	0	同一薬発行数の残数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-17	調剤済薬品数または投与数	20	NM	C			N	0	同一薬発行数の調剤数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	26	TS	C			N	0	補充または調剤した、最近の日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-19	1日あたりの総投与量	10	CQ	C			C	C	1日当たりの投与量合計。 [レセリポジトリ] 医薬品レコード(IY)の1回用量を設定する。単位コードは、RXE-11と同様にレセ電算医薬品マスターの単位コードを設定する。 [条件] 剤形コードが「1 (内服)」、「7 (湯)」の場合にのみ設定する。
RXE-20	人によるレビューの必要性	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
RXE-21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	250	CWE	0	Y		N	0	薬剤または処置提供者によって生成された、調剤/投薬オーダの供給者への特別な指示を含む。 [レセリポジトリ]

									使用しない。
RXE-22	時間あたりの与薬	20	ST	C			N	0	製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する。時間単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-23	与薬速度	6	ST	0			N	N	使用しない。
RXE-24	与薬速度単位	250	CWE	0			N	N	使用しない。
RXE-25	与薬力価	20	NM	0			N	0	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-26	与薬力価単位	250	CWE	0			N	0	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-27	与薬指示	250	CWE	0	Y		0	0	薬/治療が処方の対象となった状態や問題を示す。 [レセリポジトリ] 用法種別として、処方基本レコード(SH)の剤形コードを設定する。コーディングシステム名には「99R04」を格納する。 ex) 1^内服^99R04
RXE-28	調剤パッケージサイズ	20	NM	0			N	0	調剤されるパッケージのサイズを含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-29	調剤パッケージサイズの単位	250	CWE	0			N	0	RXE-28 調剤パッケージサイズが称される単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-30	調剤パッケージ方法	2	ID	0		0321	N	0	調剤/処置を払い出す方法を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-31	補足コード	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
RXE-32	当初のオーダー日/時間	26	TS	0			N	0	補充(refill)認可が要請された時のオリジナルオーダーの日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-33	与薬力価量	5	NM	0			N	0	薬力価濃度。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-34	与薬力価量単位	250	CWE	0			N	0	与薬力価量の単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-35	薬物コントロールスケジュー	60	CWE	0		0477	N	0	法律で使用量が規制されている薬物を特定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。

RXE-36	処方集ステータス	1	ID	0		0478	N	0	薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-37	薬物代替え	60	CWE	0	Y		N	0	処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-38	最新の与薬の薬剤部	250	CWE	0			N	0	最も新しく薬剤を処方した薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-39	最初の調剤量	250	NM	0			N	0	最初の処方による調剤の量が補充薬(Refill)に用いられた処方の量と異なる時に、最初の調剤量。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-40	調剤薬剤部	250	CWE	0			N	0	処方箋を調剤する薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-41	調剤薬剤部の住所	250	XAD	0			N	0	調剤薬剤部の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-42	患者への配達場所	80	PL	0			N	0	薬剤が患者に引き渡される払い出し場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-43	配達先住所	250	XAD	0			N	0	処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXE-44	薬剤オーダータイプ	1	ID	0		0480	N	0	オーダーが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダーの一般的カテゴリを定義する。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.2.4.3. タイミング／数量セグメント (TQ1)

表 3-45 に、タイミング／数量セグメントの定義を示す。

表 3-45 タイミング/数量セグメント (TQ1) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「TQ1」 を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	0			N	0	複数の TQ1 セグメントを識別する連番。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-2	数量	20	CQ	0			N	0	サービス内で提供されるべき量。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-3	繰り返しパターン	540	RPT	0			R	0	繰り返す行の治療のスケジュール。用法を示す。 [レセリポジトリ] 繰り返しパターンコード (RPT.1) に、処方基本レコード (SH) の用法コードを設定する。コーディングシステムは「99R05」とする。 ex1) 001&1日3回食前服用&99R05 指定された用法コードが「900 (未コード化用法コード)」の場合、処方基本レコード (SH) の「特別指示」を表示名 (CWE.2) として使用する。コード (CWE.1) は設定しない。 ex2) &1日3~4回 うがい &99R05
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	0	Y		N	N	使用しない。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	0	Y		N	N	使用しない。
TQ1-6	サービス時間	20	CQ	0			C	0	投薬日数。 [レセリポジトリ] 調剤情報レコード (CZ) の調剤数量を設定する。 単位には「d (日)」を使用し、コーディングシステム名は「ISO+」とする。 ex) 7^d&日&ISO+ [条件] 剤形コードが「1 (内服)」、「7 (湯)」の場合にのみ設定する。
TQ1-7	開始日時	26	TS	0			N	0	服用開始日。

									[レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-8	終了日時	26	TS	0			N	0	サービスが終了される日時。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-9	優先度	250	CWE	0			N	N	使用しない。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	0			N	N	使用しない。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	0			N	0	指示のフルテキスト版。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-12	連結	10	ID	C			N	C	2番目のTQ1セグメントとの関係性を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	0			N	N	使用しない。
TQ1-14	事象総数	10	NM	0			N	N	使用しない。

3.1.2.4.4. 投薬経路セグメント (RXR)

表 3-46 に、投薬経路セグメントの定義を示す。

表 3-46 投薬経路セグメント (RXR) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「RXR」 を設定する。
RXR-1	経路	250	CWE	R		0162	R	R	投薬の経路を示す。 [レセリポジトリ] 電子レセプトデータからは正確な情報を 得ることができないため、NULL 値である ことを表す「”」を固定で設定する。
RXR-2	部位	250	CWE	0		0163	N	0	投薬の部位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXR-3	投薬装置	250	CWE	0		0164	N	0	投薬あるいは他の処置を補助するために 使用する機械装置。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXR-4	投薬方法	250	CWE	0		0165	N	0	投薬・処置の患者への適用方法を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXR-5	経路指示	250	CWE	0			N	N	使用しない。

RXR-6	投薬現場モディファイア	250	CWE	0		0495	N	N	使用しない。
-------	-------------	-----	-----	---	--	------	---	---	--------

3.1.2.4.5. 薬剤/処置 調剤情報セグメント (RXD)

表 3-47 に、薬剤/処置 調剤情報セグメントの定義を示す。

表 3-47 薬剤/処置 調剤情報セグメント (RXD) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
RXD-0	セグメント ID	3	ST	R			R	-	セグメント ID 「RXD」 を設定する。
RXD-1	調剤サブ ID カウンター	4	NM	R			R	-	オーダでこの薬剤が最初に払出しされた時に 1 をセット。増分 1。
RXD-2	調剤/与薬コード	250	CWE	R		0292	R	-	コード化された薬剤。 [レセリポジトリ] レセプト電算コードを使用し、医薬品レコード(IY)の医薬品コードを設定する。コーディングシステム名には「99R02」を格納する。 ex) 620005905^アムロジン錠 5 m g ^99R02
RXD-3	調剤日時	26	TS	R			R	-	調剤日時。 [レセリポジトリ] 調剤情報レコード(CZ)の調剤月日を西暦に変換し設定する。 「YYYYMMDD」形式。
RXD-4	実際の調剤量	20	NM	R			R	-	調剤量を設定する。 [レセリポジトリ] 調剤情報レコード(CZ)の調剤数量と、対応する医薬品レコード(IY)の使用量をかけた値を設定する。
RXD-5	実際の調剤単位	250	CWE	C			R	-	与薬量のための単位。 [レセリポジトリ] レセ電算医薬品マスターから、単位コード及び名称を設定する。コーディングシステム名 (CWE.3) には本書で定めた「99R03」を格納する。
RXD-6	与薬剤形	250	CWE	0			N	-	投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-7	処方箋番号	20	ST	R			R	-	投薬または治療の供給実施者オーダ番号に相当する項目。 [レセリポジトリ] 設定可能な適切な値が得られないため「”」を固定で設定する。

RXD-8	薬剤残数	20	NM	C			N	-	同一薬発行数の残数。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-9	調剤注記	200	ST	0	Y		N	-	調剤者によるフリーテキストによる注 釈。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-10	調剤担当者	200	XCN	0	Y		N	-	調剤担当者の情報。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-11	代替品状態	1	ID	0		0167	N	-	代替品への置き換えに対する状態。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-12	1日あたりの総投与量	10	CQ	0			C	-	1日当たりの投与量合計。 [レセリポジトリ] 医薬品レコード(IY)の1回用量を設定す る。単位コードは、RXE-11と同様にレセ 電算医薬品マスターの単位コードを設定 する。 [条件] 剤形コードが「1(内服)」、「7(湯)」の 場合にのみ設定する。
RXD-13	調剤場所	200	LA2	C			N	-	調剤場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-14	人によるレビューの必要性	1	ID	0		0136	N	-	人によるレビューの必要性。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-15	薬剤部門／治療部門による 特別な調剤指示	250	CWE	0	Y		N	-	薬剤または処置提供者によって生成され た、調剤／投薬オーダーの供給者への特別 指示を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-16	実際の力価	20	NM	0			N	-	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-17	実際の力価単位	250	CWE	0			N	-	与薬が力価を指定しない時に使用する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-18	薬剤ロット番号	20	ST	0	Y		N	-	投薬された薬剤のロット番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-19	薬剤有効期限	26	TS	0	Y		N	-	投薬された薬剤の有効期限。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-20	薬剤製造者名	250	CWE	0	Y	0227	N	-	投薬された薬剤の製造メーカーを含む。

									[レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-21	適応症	250	CWE	0	Y		N	-	薬/治療が処方の対象となった状態や問題を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-22	調剤パッケージサイズ	20	NM	0			N	-	調剤されるパッケージのサイズを含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-23	調剤パッケージサイズの単位	250	CWE	0			N	-	RXE-28 調剤パッケージサイズが称される単位を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-24	調剤パッケージ方法	2	ID	0		0321	N	-	調剤/処置を払い出す方法を含む。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-25	補足コード	250	CWE	0	Y		N	-	使用しない。
RXD-26	最初に要求を受けた薬局	250	CWE	0			N	-	最初に要求を受けた薬局。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-27	包装した薬局	250	CWE	0			N	-	包装/a 薬局。 [レセリポジトリ] 使用しない
RXD-28	実際の力価量	5	NM	0			N	-	薬力価濃度。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-29	実際の力価量単位	250	CWE	0			N	-	与薬力価量の単位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-30	調剤薬局	180	CWE	0			N	-	処方箋を調剤する薬剤部。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-31	調剤薬局の住所	106	XAD	0			N	-	調剤薬剤部の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-32	薬剤オーダタイプ	1	ID	0		0480	N	-	オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリを定義する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
RXD-33	調剤タイプ	250	CWE	0		0484	N	-	調剤の種類。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.2.5. アレルギー情報登録・更新メッセージ (ADT^A60)

患者特記事項のアレルギー情報登録更新メッセージを使用する。レセリポジトリへのファイル格納時の処理として、当該患者の最新の有効ファイル (コンディションフラグ=「1 (有効)」) のファイル名のコンディションフラグを「0 (無効(削除))」に変更し、連携用レセプト共通レコード3に記録された全てのアレルギー情報を1つの有効ファイルとして格納する。詳細は、「3.2.3 格納処理における留意点」を参照。

3.1.2.5.1. ADT^A60 のセグメント構成

表 3-48 に、アレルギー情報登録・更新メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-48 アレルギー情報登録・更新メッセージのセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア		－	－
ENV	事象型	受信アプリケーションに必要な取りがイベント情報を通知する。	○	○
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	◎
[PV1]	来院情報		－	－
[PV2]	来院補足情報		－	－
[{ IAM }]	副作用情報	患者のアレルギー情報。アレルギー情報の数だけ繰り返す。	○	◎

3.1.2.5.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.2.5.3. 事象型セグメント (ENV)

変換仕様は、「3.1.2.3.3 事象型セグメント (ENV)」を参照。

3.1.2.5.4. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.2.5.5. 副作用情報セグメント (IAM)

表 3-49 に、プロブレム詳細セグメントの定義を示す。

表 3-49 プロブレム詳細セグメント (IAM) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本仕様	S S M I X 2	説明
IAM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「IAM」 を設定する。

IAM-1	セット ID—IAM	4	SI	R			R	R	セグメントの反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。初期値1、増分1 [レセリポジトリ] セグメント内で通し番号
IAM-2	アレルギー分類	250	CWE	0		0127	0	0	アレルギーを分類する。 [レセリポジトリ] 連携用レセプト共通レコード3 (R3)の患者特記種別がアレルギー歴“1”の場合、HL7表「0127 アレルギー分類」に記載されている「MA：種々のアレルギー」を使用し、 MA種々のアレルギー HL70127 を設定する。 連携用レセプト共通レコード3 (R3)の患者特記種別が副作用歴“2”の場合、HL7表「0127 アレルギー分類」に記載されている「MC：種々の禁忌」を使用し、 MC種々の禁忌 HL70127 それぞれ設定する。
IAM-3	アレルギー情報	250	CWE	R			R	R	[レセリポジトリ] 本書で定めたコーディングシステム「99R07」を設定する。 連携用レセプト共通レコード3 (R3)の患者特記種別がアレルギー歴“1”の場合、 患者特記内容 99R07 連携用レセプト共通レコード3 (R3)の患者特記種別が副作用歴“2”の場合、 患者特記内容 99R07 を設定する。 ex) 小麦 99R07 ピリン系 99R07 ロキソニン錠60mg 99R07
IAM-4	アレルギー重症度	250	CWE	0		0128	N	0	アレルギーの重症度を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-5	アレルギー反応情報	15	ST	0	Y		N	0	報告されている特定のアレルギー反応情報を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-6	アレルギーアクションコード	250	CNE	R		0323	R	R	記録の状態を定義したコードを示す。推奨値としてHL7表「0323-アクションコード」を参照。 [レセリポジトリ] HL7表「0323-アクションコード」から、「A（追加/挿入）」を設定する。

									実際の情報としては更新されていないものが常に「追加/挿入」という区分としてデータが出力されるため、情報の閲覧処理では本区分を利用しないように留意する。
IAM-7	アレルギー識別情報	427	EI	C			N	C	このフィールドは個人に対するひとつのアレルギーを一意的に識別する値を示す。それは、特定の個人に対するすべてのセグメントやメッセージに対して一意的である。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-8	アレルギー情報追加・変更理由	60	ST	0			N	0	IAM-7 アレルギーアクションコードで示される行動の理由を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-9	アレルギー物質に対する感受性	250	CWE	0		0436	N	0	何故その患者が、その物質に触れてはいけないのかの理由を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-10	アレルゲン群情報	250	CWE	0			N	0	アレルゲン情報(IAM-3)とアレルゲン群情報(IAM-10)両方を通信する必要がある時に、アレルゲン群を一意的に識別するために用いられるコード、略語、記述を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-11	アレルギー発症日	8	DT	0			N	0	最初の反応があった実際の日付を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-12	アレルギー発症時期	60	ST	0			N	0	正確な日付がわからない時に、最初の反応があった時期を文章で記述したもの。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-13	情報提供日時	8	TS	0			N	0	アレルギーが医療提供者に情報提供された日時を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-14	情報提供者	250	XPN	0			N	0	医療提供者へ、IAM-13 情報提供日時にアレルギー情報を提供した人の名前を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-15	情報提供者と患者の続柄	250	CWE	0		0063	N	0	患者にアレルギー情報を提供した人と患者の続柄を示す。 [レセリポジトリ]

									使用しない。
IAM-16	要注意物質コード	250	CWE	0		0437	N	N	[レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-17	アレルギー臨床確認状態	250	CWE	0		0438	N	0	アレルギーの確認状態を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-18	確認者	250	XCN	0			N	0	アレルギー臨床状態を指定した医療提供者を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-19	確認機関	250	XON	0			N	0	アレルギー情報を更新した医療提供組織の名称を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
IAM-20	確認日時	8	TS	0			N	0	IAM-19 確認機関に所属する IAM-18 確認者がアレルギー情報を更新した日時を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.2.6. 病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR^ZD1）

薬局からの任意のコメントを連携するために、病名情報登録更新メッセージを使用する。同一調剤日について最大1メッセージが作成される。同一調剤日に複数の連携用コメントレコードが存在する場合、各コメントレコードに対してそれぞれプロブレム詳細セグメントを作成する。詳細は、「3.2.3 格納処理における留意点」を参照。

3.1.2.6.1. PPR^ZD1 のセグメント構成

表 3-50 に、病名（歴）情報登録・更新メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／－使用不可]

表 3-50 病名（歴）情報登録・更新メッセージのセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア		－	－
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	◎
[
PV1	来院情報		－	－
[PV2]	来院補足情報		－	－
]				
{				
PRB	プロブレム詳細	与えられた各個人のプロブレムを追加、更新、修正、かつ、削除するのに必要なデータを含む。	◎	◎
[ZPR]	プロブレム拡張情報		－	○
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－
[{				
ROL	役割		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－
}]				
[{				
PTH	パスウェイ詳細		－	－
[{ VAR }]	バリエーション		－	－
}]				
[{ ZI1 }]	保険		－	○
[{				
OBX	検査結果		－	－
[{ NTE }]	注釈・コメント		－	－
}]				
[{				
GOL	目標詳細			
[{ NTE }]	注釈・コメント			
[{ VAR }]	バリエーション			

[{				
ROL	役割			
[{ VAR }]	バリエーション			
}]				
[{				
OBX	検査結果			
[{ NTE }]	注釈・コメント			
}]				
}]				
[{				
ORC	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼者・依頼日時など。	○	○
[
<				
OBR	検査要求			
	etc.			
>				
[{ NTE }]	注釈・コメント			
[{ VAR }]	バリエーション			
[{				
OBX	検査結果			
[{ NTE }]	注釈・コメント			
[{ VAR }]	バリエーション			
}]				
]				
}]				
}				

3.1.2.6.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.2.6.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.2.6.4. プロブレム詳細セグメント (PRB)

表 3-51 に、プロブレム詳細セグメントの定義を示す。

表 3-51 プロブレム詳細セグメント (PRB) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
PRB-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「PRB」 を設定する。
PRB-1	アクションコード	2	ID	R		0287	R	R	メッセージの意図を示す。 [レセリポジトリ] HL7 表「0287-プロブレム/ゴール・アクションコード」より、「AD (追加)」を設定する。
PRB-2	アクション日付/時刻	26	TS	R			R	R	更新時間。 [レセリポジトリ] 連携用コメントレコード(C1)の調剤月日を西暦に変換し設定する。 [YYYYMMDD]形式。
PRB-3	プロブレム ID	250	CWE	R			R	R	病名表記を一意に表すコード。 [レセリポジトリ] 設定できる情報がないため、NULL 値を表す「'''」を固定で設定する。
PRB-4	プロブレムインスタンス ID	60	EI	R			R	R	管理番号として利用する。病名情報を一意にする番号。 [レセリポジトリ] 設定できる情報がないため、NULL 値を表す「'''」を設定する。
PRB-5	診療 ID エピソード	60	EI	0			N	0	プロブレムが当てはまる診療のエピソードを一意的に識別する。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-6	プロブレムリストの優先権	60	NM	0			N	0	個人のために管理されるリスト上のプロブレムに対する優先度を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-7	プロブレム設定日付/時刻	26	TS	0			0	0	対応するプロブレムが医療提供者によって当初確認された日付/時刻。診断日として利用する。 [レセリポジトリ] PRB-2 アクション日付/時刻と同一の値を設定する。
PRB-8	予想されるプロブレム解決	26	TS	0			N	0	プロブレム解決の予定日付/時刻。

	日付/日時								[レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-9	実際のプロブレム解決日付 /日時	26	TS	0			N	0	プロブレムを実際に解決した日付/時刻。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-10	プロブレムの分類	250	CWE	0			N	0	プロブレムの種類を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-11	プロブレムマネジメント職 種	250	CWE	0	Y		N	0	特定のプロブレムを管理するための責任 を持つ医療提供者の属性を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-12	プロブレムの長期化	250	CWE	0			N	0	プロブレムの持続性を示す (例えば、急 性、慢性など)。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-13	プロブレムの確認状態	250	CWE	0			N	0	プロブレムの検証状態を含む (例えば、 確認された、差異、臨時、除外、など)。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-14	プロブレムのライフサイク ル状態	250	CWE	0			N	0	特定の日付/時刻現在のプロブレムの状 態。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-15	プロブレムのライフサイク ル状態の日付/時刻	26	TS	0			N	0	現在のプロブレムについてライフサイク ル状態の発行日付/時刻を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-16	プロブレムの発生日付	26	TS	0			H	0	プロブレムが始まった日付/時刻。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-17	プロブレムの発生テキスト	80	ST	0			R	0	プロブレムが発生した時点のテキスト表 現を考慮に入れる。患者の病態をあらわ すために実際に入力される文字列として 利用する。 [レセリポジトリ] 連携用コメントレコード(C1)の文字コー ドを設定する。
PRB-18	プロブレムのランキング	250	CWE	0			N	0	ユーザに定義されたプロブレム優先順 位。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-19	プロブレムの確実性	250	CWE	0			N	0	プロブレムの確実性の定性的表現。 [レセリポジトリ] 使用しない。

PRB-20	プロブレムの確率(0-1)	5	NM	0			N	0	プロブレムがこの患者のために存在するという確実性のある定量的あるいは数値的な表現。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-21	プロブレムの個々の認識	250	CWE	0			N	0	プロブレムに関する患者自身の理解度。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-22	プロブレムの予後	250	CWE	0			N	0	各個人のプロブレムの予後。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-23	予後についての患者個人の認識	250	CWE	0			N	0	プロブレムの予後について各個人の理解の度合い。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-24	プロブレム/予後についての家族その他重要な関係者の認識	250	ST	0			N	0	実際のプロブレム/予後の各個人の家族あるいは他の重要な関係者の理解を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
PRB-25	セキュリティ/感受性	250	CWE	0			N	0	プロブレムに関するセキュリティや感受性のレベルに関する情報。 [レセリポジトリ] 使用しない。

3.1.2.6.5. 共通オーダセグメント (ORC)

表 3-52 に、共通オーダセグメントの定義を示す。

表 3-52 共通オーダセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 [レセリポジトリ] 新規・修正メッセージとして「NW」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	管理番号。 [レセリポジトリ] レセリポジトリでユニークな番号を発番し設定する。15桁、前ゼロ形式とする。

ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			N	0	実施アプリケーションに関連したオーダー番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			N	0	[レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	0		0038	N	N	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	オーダー発生日時。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [レセリポジトリ] 連携用コメントレコード(C1)の調剤月日を西暦に変換し設定する。SS-MIX2 と桁数を合わせるために、時分秒には0を設定し14桁とする。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	アプリケーションに実際に入力した人の氏名。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		N	0	作成した要求に対して責任のある医師。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	入力をした物理的な場所・端末の設置場所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	0			0	0	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。 [レセリポジトリ] ORC-9 トランザクション日時と同一の値を設定する。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	オーダー制御コードで指定したオーダイベントの理由。キャンセル理由をセットする。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			N	R	入力者がオーダーを入力したときに属していた組織を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0	オーダーを入力するために使用した端末の識別子を示す。

									[レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-19	オーダー制御実施者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N	使用しない。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院名を示す。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の住所。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	オーダーを発行した病院の電話番号。 [レセリポジトリ] 使用しない。
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	0			N	N	使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N	使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N	使用しない。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	0		0482	0	0	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 [レセリポジトリ] 調剤の場合、常に「 0 (外来) 」を設定する。 ex) 0^外来患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N	使用しない。

3.1.3. 検査結果の変換

3.1.3.1. 変換処理の概要

表 3-53 に、連携用データ（検査結果）の変換に使用するレセリポジトリメッセージを示す。

表 3-53 使用するレセリポジトリメッセージ

No	連携用ファイル	対応するレセリポジトリメッセージ	
1	検査結果データ連携用ファイル	OUL^R22	検体検査結果メッセージ

表 3-54 に、レセリポジトリにおける各セグメント表の定義を記載した章番号を示す。

表 3-54 セグメント表の記載箇所

No	セグメント	OUL^R22
1	SS-MIX ヘッダー	3.1.3.2
2	MSH	3.1.3.3.2
3	PID	3.1.3.3.3
4	PV1	3.1.3.3.4
5	SPM	3.1.3.3.5
6	ORC	3.1.3.3.6
7	OBR	3.1.3.3.7
8	OBX	3.1.3.3.8

3.1.3.2. SS-MIX ヘッダー

レセリポジトリメッセージを SS-MIX2 に準じた通信手順で送信する場合、各メッセージには、SS-MIX2 の仕様に準じ、SS-MIX ヘッダーを付与する。SS-MIX ヘッダーは、表 3-55 に示す項目を「, (カンマ)」区切りで構成したメッセージとし、SS-MIX ヘッダー終了識別は、「0x1E0D」とする。レセリポジトリに格納されるファイルは、HL7 メッセージの部分のみであることを留意すること。

表 3-55 SS-MIX ヘッダー項目

No	項目	設定値	備考
1	SS-MIX 識別	固定値「#RECEIPT」を設定する。	
2	バージョン	レセリポジトリのバージョンを表す。 本仕様においては固定値「1.00」を設定する。	
3	医療施設 ID	医療施設を一意に識別する ID 検査結果インターフェース仕様の「施設コード」を設定する。	
4	患者 ID	検査結果インターフェース仕様の「患者 ID (カルテ番号)」を設定する。	
5	診療日	検査結果インターフェース仕様の「検体採取日時」の上位 8 桁の日付 (YYYYMMDD) を設定する。	
6	データ種別	レセリポジトリメッセージに対応するデータ種別「OUL^R22」を設定する。	
7	オーダ No	検査結果インターフェース仕様の「検査依頼者オーダ ID」を設定する。	
8	処理区分	新規データを表す「INS」を設定する。	

9	診療科コード	検査結果インターフェース仕様の「診療科コード」を設定する。診療科コードがない場合は、「000」を設定する。	
10	トランザクション日時	検査結果インターフェース仕様のファイル名の日時 (YYYYMMDDHHMMSSFFF) で表現されるメッセージの発生日時。	

表 3-56 データ種別

No	データ種別	名称	HL7 メッセージ型
1	OML-11	検体検査結果	OUL^R22^OUL_R22

3.1.3.3. 検体検査結果メッセージ (OUL^R22) の定義

検体検査結果メッセージの定義を示す。

3.1.3.3.1. 検体検査オーダメッセージ (OUL^R22) のセグメント構成

表 3-57 に、検体検査結果メッセージのセグメント構成を示す。

凡例[◎必須／○任意／—使用不可]

表 3-57 検体検査結果メッセージ (OUL^R22) のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	本仕様	SS-MIX2
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	◎
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を識別する。	—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[— PATIENT begin			
PID	患者識別	患者の識別情報 (基本情報) についての情報を提供する。	◎	○
[PD1]	患者追加基本情報		—	—
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
]	— PATIENT end			
[
PV1	来院情報		○	○
[PV2]	来院補足情報		—	—
]				
{	— SPECIMEN begin			
SPM	検体		◎	◎
[{ OBX }]	検査結果		—	—
[{			—	—
SAC	材料と採取容器の詳細		—	—
[INV]	材料と採取容器の詳細		—	—
}}	材料と採取容器の詳細		—	—
{	— ORDER begin			
OBR	検査要求		○	○
[ORC]	共通オーダ		◎	◎
[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
[{				
TQ1	タイミング/数量		—	—
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		—	—
}}				
[{	— RESULT begin			
OBX	検査結果	オーダ指示	○	○
[TCD]	検査コード詳細		—	—
[{ SID }]			—	—

[{ NTE }]	注釈・コメント		—	—
}]				
[{ CT1 }]	治験識別		—	—
}	— ORDER end			
}	— SPECIMEN end			
[DSC]	継続ポインタ		—	—

3.1.3.3.2. メッセージヘッダセグメント (MSH)

変換仕様は、「3.1.1.3.2 メッセージヘッダセグメント (MSH)」を参照。

3.1.3.3.3. 患者識別情報セグメント (PID)

変換仕様は、「3.1.1.3.4 患者識別情報セグメント (PID)」を参照。

3.1.3.3.4. 来院情報セグメント (PV1)

変換仕様は、「3.1.1.3.6 来院情報セグメント (PV1)」を参照。

3.1.3.3.5. 検体セグメント (SPM)

表 3-58 に、検体セグメントの定義を示す。

表 3-58 検体セグメント (SPM) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
SPM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「SPM」を設定する。
SPM-1	セット ID - SPM	4	SI	0			RE	RE	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別するためのメッセージ内でのシーケンス番号。
SPM-2	検体 ID	80	EIP	0			N	RE	使用しない。
SPM-3	親検体 ID	80	EIP	0	Y		N	N	使用しない。

SPM-4	検体タイプ	250	CWE	R		0487	R	R	<p>検査の材料の採取された実体の正確な性質について記述する。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の検体タイプを設定する。</p> <p>「日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード 材料コード表」を使用して表現し、コーディングシステム名には「JC10」を格納する。</p> <p>施設内で使用するローカルコードを同時に格納する場合は、第4成分以降を使用可能。</p> <p>ex) 023^血清^JC10^01^血清^99R01</p>
SPM-5	検体タイプ修飾子	250	CWE	0	Y	0541	N	N	使用しない。
SPM-6	検体添加物	250	CWE	0	Y	0371	N	N	使用しない。
SPM-7	検体採取法	250	CWE	0		0488	N	N	使用しない。
SPM-8	検査材料・検査部位	250	CWE	0			N	RE	使用しない。
SPM-9	検査材料修飾子	250	CWE	0	Y	0542	N	N	使用しない。
SPM-10	検体採取部位	250	CWE	0		0543	N	N	使用しない。
SPM-11	検体役割	250	CWE	0	Y	0369	N	N	使用しない。
SPM-12	検体採取量	20	CQ	0			C	N	<p>採取された検体の総量を示す。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の尿量(単位を含む)を設定する。</p> <p>ex) 23.5^mL&mL&ISO+</p>
SPM-13	検体総数	6	NM	C			N	N	使用しない。
SPM-14	検体記述	250	ST	0	Y		0	N	<p>特別に検体情報を追加したい場合メッセージとして送信。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の検体コメントを設定する。</p>
SPM-15	検体取り扱いコード	250	CWE	0	Y	0376	N	N	使用しない。
SPM-16	検体リスクコード	250	CWE	0	Y	0489	N	N	使用しない。
SPM-17	検体採取日時	26	DR	0			R	RE	<p>検体を採取した日時。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の検体採取日時を設定する。</p> <p>「YYYYMMDDHHMSS」形式。</p>
SPM-18	検体受領日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
SPM-19	検体有効日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
SPM-20	検体有効性	1	ID	0		0136	N	N	使用しない。
SPM-21	検体拒否理由	250	CWE	0	Y	0490	N	N	使用しない。
SPM-22	検体品質	250	CWE	0		0491	N	N	使用しない。
SPM-23	検体適合性	250	CWE	0		0492	N	N	使用しない。

SPM-24	検体条件	250	CWE	0	Y	0493	N	N	使用しない。
SPM-25	検体量	20	CQ	0			N	N	使用しない。
SPM-26	検体容器数	4	NM	0			N	N	使用しない。
SPM-27	容器タイプ	250	CWE	0			N	N	使用しない。
SPM-28	容器状態	250	CWE	0		0544	N	N	使用しない。
SPM-29	子検体役割	250	CWE	0		0494	N	N	使用しない。

3.1.3.3.6. 共通オーダセグメント (ORC)

表 3-59 に、共通オーダセグメントの定義を示す。

表 3-59 共通オーダセグメント (ORC) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「ORC」 を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。 [レセリポジトリ] 結果メッセージとして「SC」を設定する。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダ番号。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様の検査依頼者オーダ ID を設定する。 15 桁、前ゼロ形式とする。
ORC-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			N	0	使用しない。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	0			N	0	使用しない。
ORC-5	オーダ状態	2	ID	0		0038	N	RE	使用しない。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	0		0121	N	N	使用しない。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
ORC-8	親	200	EIP	0			N	N	使用しない。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	0			0	0	現在のオーダが発生した日時。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様のファイル名の作成日時を設定する。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	0	Y		N	0	使用しない。
ORC-11	検証者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-12	依頼者	250	XCN	0	Y		0	0	作成した要求に対して責任のある医師。

									[レセリボジトリ] CSV インターフェース仕様の検査依頼 医師氏名を設定する。 `<姓>`<名>`~~~~`<名前タイプ >`~~~~`<名前表記コード> 名前タイプは、「HL7 表 0200-名前タイプ」より「L: 法的な名前」を使用し、 名前表記コードは、「HL7 表 0465-名前/ アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) `医師`太郎`~~~~`L`~~~~`I
ORC-13	入力場所	80	PL	0			N	0	使用しない。
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	0	Y/ 2		N	N	使用しない。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	0			N	0	使用しない。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	0			N	0	使用しない。
ORC-17	入力組織	250	CWE	0			0	0	入力者がオーダーを入力したときに属していた組織を示す。 [レセリボジトリ] CSV インターフェース仕様の診療科コードを設定する。 「使用者定義表 0069-診療部門」から設定する。 <所属科コード>`<名称>`<コーディングシステム名>
ORC-18	入力装置	250	CWE	0			N	0	使用しない。
ORC-19	(オーダー制御) 実施者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	0		0339	N	N	使用しない。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	0	Y		R	0	オーダーを発行した病院名を示す。 [レセリボジトリ] CSV インターフェース仕様の施設コード、施設名称を設定する。 <施設名称>`~~~~`FI`~~~~`<施設コード>
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	0	Y		N	0	使用しない。
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	0	Y		N	0	使用しない。
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	0	Y		N	N	使用しない。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	0			N	N	使用しない。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	N	N	使用しない。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	0		0177	N	N	使用しない。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	0		0482	R	RE	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 [レセリボジトリ] CSV インターフェース仕様の入外区分を設定する。

									<p>「HL7 表 0482 -オーダータイプ」から設定する。</p> <p>CSV インターフェース仕様の入外区分「1」を「I:入院患者オーダー」に設定する。</p> <p>CSV インターフェース仕様の入外区分「2」を「O:外来患者オーダー」に設定する。</p> <p>ex) O`外来患者オーダー`HL70482</p>
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	0		0483	N	N	使用しない。

3.1.3.3.7. 検査要求セグメント (OBR)

表 3-60 に、検査要求セグメントの定義を示す。

表 3-60 検査要求セグメント (OBR) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBR」を設定する。
OBR-1	ID 設定 - OBR	4	SI	0			N	C	使用しない。
OBR-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	ORC-2 依頼者オーダー番号に同じ。依頼側検体番号など。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様の検査依頼者オーダー ID を設定する。 15 桁、前ゼロ形式とする。
OBR-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			N	0	使用しない。
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	要求された検査/試験/セットの識別子コード。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様の検査項目見出しを設定する。 コーディングシステム名には、「JAHIS 基本データセット適用ガイドライン V2.1 IOB 定義表 003-検査項目群」から「99003」を指定する。 <検査種>^<検査種名称>^99003 ex) E000^一般検査^99003
OBR-5	優先度	2	ID	X			N	N	使用しない。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			N	N	使用しない。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			N	C	使用しない。
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	0			N	0	使用しない。
OBR-9	採取量	20	CQ	0			N	N	使用しない。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-11	検体処置コード	1	ID	0		0065	N	N	使用しない。
OBR-12	危険 (検体) コード	250	CWE	0			N	0	使用しない。
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	0			0	N	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様のオーダーコメントを設定する。 CSV インターフェース仕様の入外区分

									「3」の「健診」をテキストとして設定する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	使用しない。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B		0070	N	N	使用しない。
OBR-16	依頼者	250	XCN	0	Y		0	0	検査依頼医師。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様の検査依頼 医師氏名を設定する。 `<姓>`<名>`~~~~`<名前タイプ >`~~~~`<名前表記コード> 名前タイプは、「HL7 表 0200-名前タイ プ」より「L:法的な名前」を使用し、 名前表記コードは、「HL7 表 0465-名前/ アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) `医師`太郎`~~~~`L`~~~~`I
OBR-17	オーダーコールバック用電話 番号	250	XTN	0	Y/2		N	N	使用しない。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	0			R	N	実施者（診断サービス）により任意の 使用目的に定義可能。 [レセリポジトリ] CSV インターフェース仕様の検査機関 識別コード、検査機関名を設定する。 文字列型の項目であるため、下記ルー ルで値を設定する。 <検査機関名>(<検査機関識別コード >) ex) A臨床検査センター(977778888)
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	0			N	N	使用しない。
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			N	0	使用しない。
OBR-23	課金	40	MOC	0			N	N	使用しない。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	0		0074	N	N	使用しない。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	N	N	使用しない。
OBR-26	親結果	400	PRL	0			N	N	使用しない。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		N	N	使用しない。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-29	親番号	200	EIP	0			N	N	使用しない。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	0		0124	N	N	使用しない。
OBR-31	検査理由	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	0			N	N	使用しない。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	0	Y		N	N	使用しない。

OBR-36	予定日時	26	TS	0			N	N	使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	0			N	N	使用しない。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	0			N	N	使用しない。
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	0		0224	N	N	使用しない。
OBR-42	随行者要否	1	ID	0		0225	N	N	使用しない。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBR-44	処置コード	250	CWE	0		0088	N	N	使用しない。
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	0	Y	0340	N	N	使用しない。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス 情報	250	CWE	0	Y	0411	N	N	使用しない。
OBR-47	実施者発行の追加サービス 情報	250	CWE	0	Y	0411	N	N	使用しない。
OBR-48	医学的に必要な重複処置の 理由	250	CWE	C		0476	N	N	使用しない。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	0		0507	N	N	使用しない。

3.1.3.3.8. 検査結果セグメント (OBX)

表 3-61 に、検査要求セグメントの定義を示す。

表 3-61 検査結果セグメント (OBX) の定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	TBL#	本 仕 様	S S M I X 2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID 「OBX」 を設定する。
OBX-1	セット ID - OBX	4	SI	0			0	0	セグメントの反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。 初期値1、増分1。上位 OBR に対する通番を設定する。
OBX-2	値型	2	ID	C		0125	C	C	検査値 (OBX-5) のデータタイプ。 [レセリポジトリ] 「HL7 表 0125-値型」 から設定する。 結果が値型なら「NM」、文字列なら「ST」 をそれぞれ使用する。また、検査結果 形態がある場合には「SN」を指定する。

OBX-3	検査項目	250	CWE	R			RE	R	<p>検査項目を表す一意な識別子。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の身長、体重、検査項目独自コード、検査項目名称、JLAC10 コード、レセプト電算コード、結果コメント1、結果コメント2を設定する。</p> <p>レセプト電算コードは、OBX-5 でテキストにて表現する。</p> <p>ローカルコードを格納する場合は、第4成分以降を使用可能。</p> <p><JLAC10 コード>^<表示名称>^<JC10>^<独自コード>^<独自コード名称><コーディングシステム名></p> <p>ex) 2A05000001930101^PLT^JC10^172375^PLT^99R01</p> <p>結果コメントの設定方法については下記の「1. 検査コメントの格納方法」を参照すること。</p> <p>レセプト電算コードの設定については下記の「2. レセプト電算コードの格納方法」を参照すること。</p>
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	<p>1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するために使用する。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>検査結果コメント等を格納時にそれぞれの OBX セグメントを識別するために使用する。</p>
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		C	C	<p>検査結果を示す。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の検査値、結果値形態を設定する。</p> <p>患者情報の身長、体重についても値を設定する。</p> <p>結果値形態の設定方法は、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.8 定性結果・不等号等の表現方法」を参照すること。</p>
OBX-6	単位	250	CWE	0			0	0	<p>検査結果の単位を示す。</p> <p>[レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の単位を設定する。</p> <p>患者情報の身長、体重についても値の単位を設定する。</p>

OBX-7	基準値範囲	60	ST	0			0	0	<p>検査結果に対する基準値の範囲。 [レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の基準値区分、基準値 1 (下限)、基準値 2 (上限) を下記のルールで設定する。</p> <p>1) OBX-2 が NM または SN の場合</p> <p>① 下限値と上限値の両方が定義された場合 下限値-上限値 ※基準値の範囲は「- (半角ハイフン)」を用いること。</p> <p>② 上限値が存在しない場合 > 下限値</p> <p>③ 下限値が存在しない場合 < 上限値</p> <p>2) OBX-2 が ST の場合</p> <p>① 下限値と上限値の両方が定義された場合 下限値-上限値</p> <p>② 上限値が存在しない場合 下限値</p> <p>③ 下限値が存在しない場合 上限値</p>
OBX-8	異常フラグ	5	IS	0	Y/5	0078	0	0	<p>結果の正常・異常を示す。 [レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の異常フラグを設定する。 「使用者定義表 0078 -異常フラグ」から設定する。</p>
OBX-9	確率	5	NM	0			N	N	使用しない。
OBX-10	異常検査の性質	2	ID	0	Y	0080	N	N	使用しない。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	<p>1 つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。 [レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の検査結果状態を設定する。 「HL7 表 0085-検査結果状態」から設定する。</p>
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	0			N	N	使用しない。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	0			N	N	使用しない。
OBX-14	検査日時	26	TS	0			0	0	<p>実際に検査された日時を示す。 [レセリポジトリ]</p> <p>CSV インターフェース仕様の検査実施日 (受付日) を設定する。 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。</p>

OBX-15	実施者 ID	250	CWE	0			N	N	使用しない。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-17	検査方法	250	CWE	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-18	装置 ID	22	EI	0	Y		N	N	使用しない。
OBX-19	分析日付	26	TS	0			N	N	使用しない。

1. 検査結果コメントの格納方法

検査結果コメントについては、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1」に従い、検査項目 ID を接尾辞で修飾し、対象検査の検査項目に続く OBX セグメントで設定する。

接尾辞の使用方法は、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.7 検査結果コメントの扱い」を参照すること。

【例】

OBX 1 NM 3A016000002327101^A/G^JC10 1 2.33 1.30-2.00 H F	検査結果
OBX 2 ST 3A016000002327101&TCM^^JC10 1 再検査済です。 F	コメント
OBX 3 ST 3A016000002327101&TCM^^JC10 1 食後 2 時間 F	コメント
OBX 4 ST 3A016000002327101&TCM^^JC10 1 妊娠 39 週目 F	コメント

2. レセプト電算コードの格納方法

レセプト電算コードについては、検査コメントの格納方法と同様に「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.7 検査結果コメントの扱い」に従い検査項目 ID を接尾辞で修飾し、対象検査の検査項目に続く OBX セグメントで設定する。接尾辞は ADT (追加情報メモ) を使用すること。

接尾辞の使用方法は、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1 5.7 検査結果コメントの扱い」を参照すること。レセプト電算コードは CWE 型とし、第 3 成分のコード体系には、付録-1 別表 2 の「コーディングシステム一覧」より診療行為コードを表す「99R01」を指定すること。

【例】

OBX 1 NM 3A016000002327101^A/G^JC10 1 2.33 1.30-2.00 H F	検査結果
OBX 2 CWE 3A016000002327101&ADT^^JC10 1 160056230^99R01 F	レセプト電算コード

3.2. 格納処理

レセリポジトリへの格納ルールについて記載する。

3.2.1. レセリポジトリの構造

レセリポジトリのルートフォルダ配下に、医療機関、薬局毎のフォルダを配置する。医療機関、薬局毎のフォルダ以下の構成は、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン 2.2 物理構造」に規定されたフォルダ構成に準拠する。なお、調剤情報メッセージは、SS-MIX2 標準化ストレージの対象メッセージには含まれないが、表 3-39 に示すデータ種別を使用し、標準化ストレージに格納される他のメッセージと同様のルールで格納する。

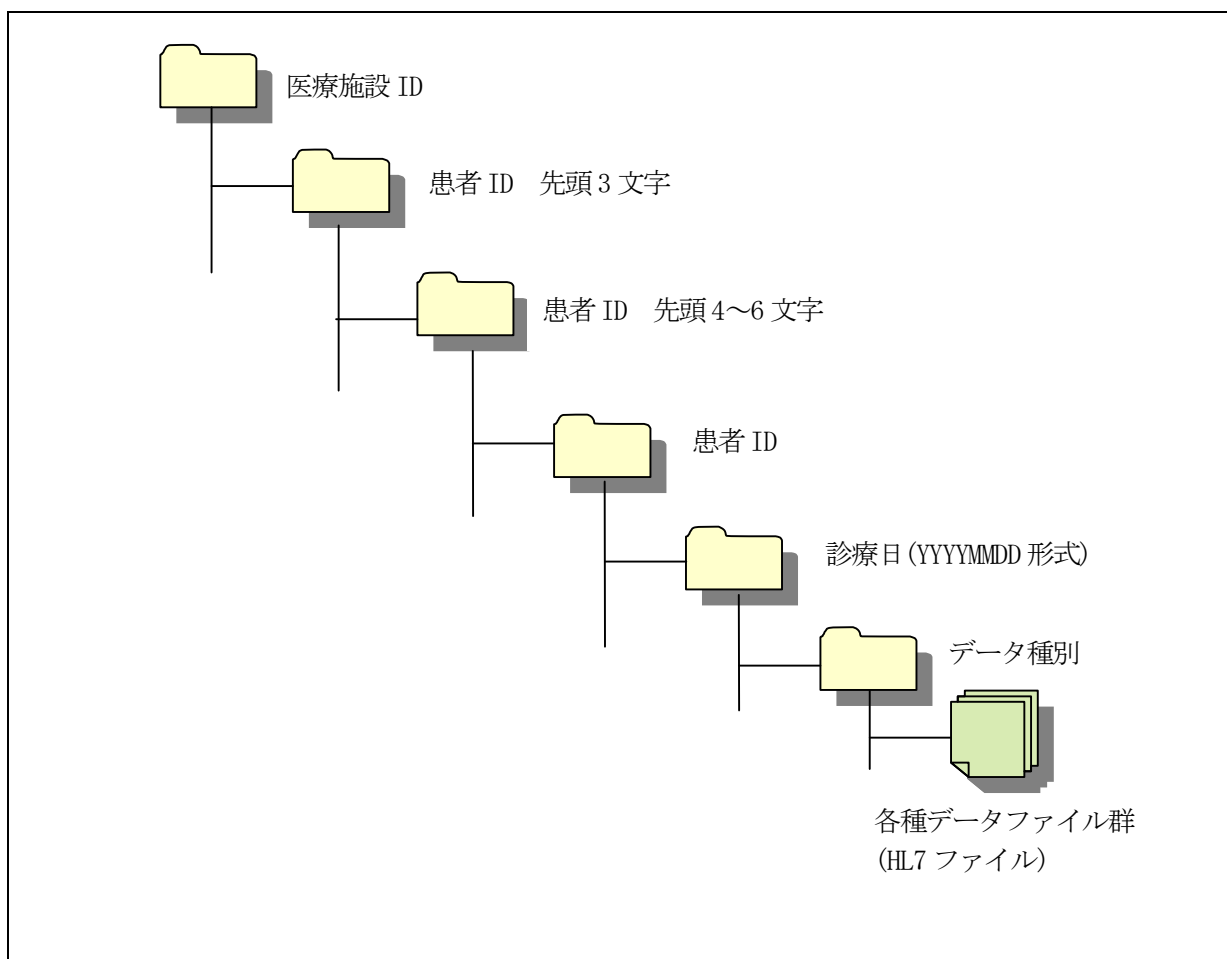


表 3-62 レセリポジトリのフォルダ構造の構成要素

No	項目	内容
1	医療施設 ID	SS-MIX ヘッダーに記録された医療施設 ID。
2	患者 ID	SS-MIX ヘッダーに記録された患者 ID。SS-MIX2 標準化ストレージの格納ルールに準拠する。
3	診療日	SS-MIX ヘッダーに記録された診療日。SS-MIX2 標準化ストレージの格納ルールに準拠する。患者基本情報、病名は「- (ハイフン)」を用いる。
4	データ種別	処方、臨床検査等、データを区別するための識別文字。表 3-5、及び、表 3-39 を参照。

3.2.2. ファイル命名規則

レセリポジトリに格納されるファイルのファイル命名規則は、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン 4.1.2 各種データファイルの格納形態と命名規則」に準拠する。

3.2.3. 格納処理における留意点

レセリポジトリでは、以下に述べる病名（歴）情報登録・更新（PPR^ZD1）メッセージ以外の全てのメッセージは、SS-MIX2 のファイル格納ルールと同じ仕様で、既に存在する有効ファイルのコンディションフラグを「0（無効）」に変更し、当該ファイルのコンディションフラグを「1（有効）」として格納する。

病名（歴）情報登録・更新（PPR^ZD1）メッセージでは、連携用コメント情報は、患者基本情報と同等の扱いとし、最新の1ファイルのみを有効ファイルとする。そのため、ファイル格納時の処理として、当該患者の最新の有効ファイル（コンディションフラグ=「1（有効）」）を読み込み、PRB セグメントをマージした結果のファイルを、新たな有効ファイルとして格納する。読み込み元のファイルは、無効状態、つまり、ファイル名のコンディションフラグを「0（無効(削除))」に変更する。PRB セグメントのマージ処理は、現在有効なメッセージのPRB セグメントの繰り返しの最後に、最新のメッセージのPRB セグメントを追加するものとする。図 3-10 に格納方法のイメージ図を示す。

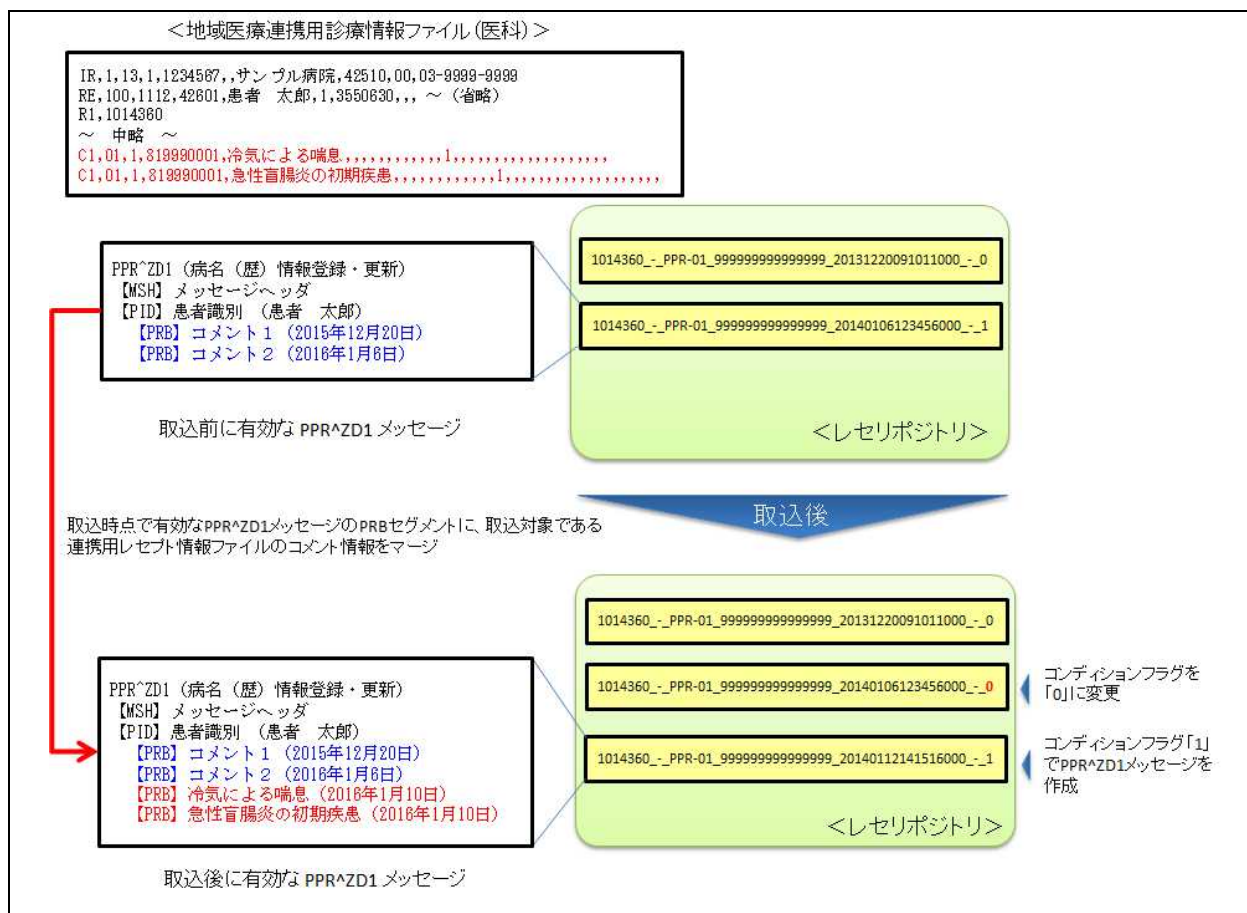


図 3-10 病名（歴）情報登録・更新（PPR^ZD1）メッセージの格納方法

アレルギー情報登録・更新（ADT^A60）メッセージでは、連携用レセプト共通レコード3は、患者基本情報と同等の扱いとし、最新の1ファイルのみを有効ファイルとする。ファイルの格納ルールは、病名（歴）情報登録・更新メッセージ以外の他のメッセージと同じルールであるが、レセプトコンピュータからは、常に

その時点での全ての最新情報が提供されるという点で他のメッセージと異なる。例えば、レセプトコンピュータ側で管理しているアレルギー情報として3項目、副作用情報として1項目の情報があり、その後アレルギー情報と副作用情報がそれぞれ1項目ずつ削除された場合には、アレルギー情報2項目のみが最新情報として地域医療連携に提供される。この場合、レセリポジトリ側の情報もアレルギー情報2項目のみとなり、地域医療連携側ではアレルギー情報と副作用情報が1項目ずつ削除されたものとして認識されることになる。もし、レセプトコンピュータ側で管理している全てのアレルギー情報と副作用情報が削除された場合には、患者特記内容が記録されていない連携用レセプト共通レコード3が出力されることとなり、その結果、地域医療連携側ではアレルギー情報、副作用情報が無いものと認識される（IAM セグメントを1つも含まない ADT^A60 メッセージが作成される）。

3.2.4. トランザクションストレージ記録仕様

トランザクションストレージを必須で記録すること。記録仕様は、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン 3.1.4 データ構築の手続き」に準拠する。トランザクションストレージの格納場所は、各地域ドメインで決定すること。トランザクションストレージの更新をトリガとして、IHE ITI のトランザクションを使用したレジストリへの登録処理が実行される。詳細は実装ガイド本編参照のこと。

4. 参考文献

- JAHIS 標準類（一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会）
http://www.jahis.jp/jahis_hyojyun/seiteizumi_hyojyun/
- SS-MIX（SS-MIX 普及推進コンソーシアム）
<http://www.hci-bc.com/ss-mix/index.html>
- SS-MIX2 仕様書、関連資料（一般社団法人 日本医療情報学会）
<http://www.jami.jp/jamistd/index.html>
- 厚生労働省標準規格（医療分野の情報化の推進について）
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu_johoka/index.html
- レセプト電算処理関連（厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス）
http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html

付録—1. コード表

本書で定義するコーディングシステムの一覧を示す。

別表1 年号区分コード

コード名	コード	内容
年号区分コード	1	明治
	2	大正
	3	昭和
	4	平成

本書で使用するコーディングシステムの一覧を示す。これらのコードには、国内で参照するためのコーディングシステム名がないため、本書で定義したコーディングシステム名を使用する。

別表2 コーディングシステム一覧

コーディングシステム名	コード表	参照先	URL
99R01	レセプト電算処理システム基本マスター 医科診療行為マスター 診療行為コード	レセプト電算処理関連 (厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス)	http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html
99R02	レセプト電算処理システム基本マスター 医薬品マスター 医薬品コード	レセプト電算処理関連 (厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス)	http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html
99R03	レセプト電算処理システム基本マスター 医薬品マスター 単位コード	レセプト電算処理関連 (厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス)	http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html
99R04	オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様 (調剤用) 別表11 剤形コード	レセプト電算処理関連 (厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス)	http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html
99R05	オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様 (調剤用) 別表12 用法コード	レセプト電算処理関連 (厚生労働省保険局診療情報報酬提供サービス)	http://www.ssk.or.jp/rezept/iryokikan/iryokikan_02.html
99R06	厚生労働省一般名処方マスタ 医薬品コード	厚生労働省保険局	http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryohoken/shohosen.html
99R07	JAHIS 電子版電子お薬手帳フォーマット仕様書 患者特記レコード	JAHIS 制定済み技術文書	http://www.jahis.jp/jahishyojun13-103/

付録—2. レセリポジトリ変換処理のサンプル

レセリポジトリ変換処理のサンプルを記載する。掲載した地域医療連携用診療情報ファイルのサンプルは、連携対象外のレコードを削除する処理を行う前のものであり、連携対象外レコードを含んだ例となっている。

1. 医科 外来情報連携用データ出力

<連携用データイメージ>

外来の患者に対し、診療を行った場合（平成25年4月4日、5日通院）
4月診療分レセプト

アレルギー歴

乳製品、卵

副作用歴

セフェム系、局所麻酔薬

■■■■■4日■■■■■

連携用コメント

気管支喘息

院外処方

医薬品コード	名称	使用量	回数
612220504	テオロン錠100mg	2錠	14日分
620389501	ムコソルバン錠15mg	2錠	14日分
620009084	FAD錠10mg「TYK」	2錠	14日分
620003139	オノンカプセル112.5mg	2C	14日分
660421117	ホクナリンテープ2mg	14枚	1

注射

医薬品コード	名称	使用量
643310491	フルクトラクト注 200mL	1袋
620005805	ネオフィリン注250mg 2.5%10mL	1管
620007335	ソル・コーテフ注射用100mg (溶解液付)	2瓶
643310183	生食MP 100mL	1瓶
646130269	ロセフィン静注用1g	2瓶

検査

診療行為コード	名称
160022510	A S T
160022610	A L T
160020410	γ-G T
160008010	末梢血液一般
160054710	C R P
160155510	経皮的動脈血酸素飽和度
160095710	B - V

160061910	生化学的検査(1)判断料	
160061810	血液学的検査判断料	
160062110	免疫学的検査判断料	
■■■■■ 5日■■■■■		
注射		
医薬品コード	名称	使用量
643310491	フルクトラクト注 200mL	1袋
620005805	ネオフィリン注250mg 2.5%10mL	1管
620007335	ソル・コーテフ注射用100mg (溶解液付)	2瓶
643310183	生食MP 100mL	1瓶
646130269	ロセフィン静注用1g	2瓶

<紙レセプトイメージ>

4月診療分レセプト			

院外処方のため本来レセプト印字なし			
21 *	テオロング錠 100mg	2錠	
	ムコソルバン錠 15mg	2錠	
	FAD錠 10mg 「TYK」	2錠	
	オノンカプセル 112.5mg	2C	× 14
*	ホクナリンテープ 2mg	14枚	× 1

33 *	フルクトラクト注 200mL	1袋	
	ネオフィリン注 250mg 2.5%10mL	1管	
	ソル・コーテフ注射用 100mg (溶解液付)	2瓶	
	生食MP 100mL	1瓶	
	ロセフィン静注用 1g	2瓶	× 2
60 *	AST, ALT, γ-GT		45 × 1
	末梢血液一般、CRP		37 × 1
*	経皮的動脈血酸素飽和度測定 (1日につき)		30 × 1
*	B-V		16 × 1
*	生化学的検査(1)判断料		144 × 1
*	血液学的検査判断料		125 × 1
*	免疫学的検査判断料		144 × 1

<地域医療連携用診療情報ファイル 最終取込日付：平成25年3月25日>

IR, 1, 13, 1, 1234567, , サンプル診療所, 42505, 00, 03-9999-9999
RE, 1, 1118, 42504, 患者 太郎, 1, 3131001, , , , , 55555, , , , , 55555, , , , , , , , , , ,
R1, 55555, ,
R2, カジヤ 知, 105-9999, 東京都港区サンプル地区, 03-9999-9999, 370-9999, 群馬県サンプル地区, 0276-99-9999
R3, 1, 乳製品
R3, 1, 卵

R3, 2, セフェム系
R3, 2, 局所麻酔薬
H0, 06000004, 3 4 5 6 7, 9 9 9 9 1, 2, 1648, 0, , , , , , , , , ,
SY, 4939008, 4250404, 1, , , ,
SY, 4900009, 4250404, 1, , , ,
SY, 7830003, 4250404, 1, , , ,
SY, 8830417, 4250404, 1, , , ,
C1, 01, 1, 819990001, 気管支喘息, , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 11, 1, 111000110, , 270, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 12, 1, 112007410, , , 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 112016070, , , 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 112015770, , 75, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 12, 1, 112011010, , 52, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, 21, 1, 612220504, 2, , 14, , , , , , , , , , 14, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 620389501, 2, , 14, , , , , , , , , , 14, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 620009084, 2, , 14, , , , , , , , , , 14, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 620003139, 2, 0, 14, , , , , , , , , , 14, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, 23, 1, 660421117, 14, 0, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 33, 1, 130009310, , 47, 2, , , , , , , , , , 1, 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, 33, 1, 643310491, 1, , 2, , , , , , , , , , 1, 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 620005805, 1, , 2, , , , , , , , , , 1, 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 620007335, 2, , 2, , , , , , , , , , 1, 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 643310183, 1, , 2, , , , , , , , , , 1, 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 646130269, 2, 265, 2, , , , , , , , , , 1, 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 60, 1, 160022510, , , 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 160022610, , , 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 160020410, , 45, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 160008010, , , 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 160054710, , 37, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 60, 1, 160155510, , 30, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 60, 1, 160095710, , 16, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 60, 1, 160061910, , 144, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 60, 1, 160061810, , 125, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 60, 1, 160062110, , 144, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 80, 1, 120002910, , 68, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 80, 1, 120002570, , 18, 1, , , , , , , , , , 1, , , , , , , , , , , , , , , , ,

<ADT^A04 (患者登録) : 平成 25 年 4 月 4 日 >

MSH|^~\&||GW||20130405172300||ADT^A04^ADT_A01|0001|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
EVN||20130404
PID||55555||患者^太郎^~~~~L^I~カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19381001|M||~~~~105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^~~~~~03-9999-9999
NK1|1||EMC^緊急連絡先^HL70063|^~~~~370-9999^H^群馬県サンプル地区|^PRN^PH^~~~~~0276-99-9999
PV1||0|||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||20130404
IN1|1|^^^06000004||||||9 9 9 9 1|3 4 5 6 7

<OML^033 (検体検査オーダー) : 平成 25 年 4 月 4 日>

```
MSH|^~\&||GW||20130405172300||OML^033^OML_033|0002|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID||55555||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19381001|M||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
SPM|||""
ORC|NW|201304050123451|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||201304050123451|^検査^99003
OBX|1||160022510^A S T^99R01|||0
OBX|2||160022610^A L T^99R01|||0
OBX|3||160020410^γ-G T^99R01|||0
OBX|4||160008010^末梢血液一般^99R01|||0
OBX|5||160054710^C R P^99R01|||0
SPM|||""
ORC|NW|201304050123451|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||201304050123451|^検査^99003
OBX|1||160155510^経皮的動脈血酸素飽和度^99R01|||0
SPM|||""
ORC|NW|201304050123451|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||201304050123451|^検査^99003
OBX|1||160095710^B - V^99R01|||0
SPM|||""
ORC|NW|201304050123451|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||201304050123451|^検査^99003
OBX|1||160061910^生化学的検査(1)判断料^99R01|||0
SPM|||""
ORC|NW|201304050123451|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||201304050123451|^検査^99003
OBX|1||160061810^血液学的検査判断料^99R01|||0
SPM|||""
ORC|NW|201304050123451|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||201304050123451|^検査^99003
OBX|1||160062110^免疫学的検査判断料^99R01|||0
```

<RDE^011 (処方オーダー) : 平成 25 年 4 月 4 日>

```
MSH|^~\&||GW||20130405172300||RDE^011^RDE_011|0003|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID||55555||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19381001|M||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
ORC|NW|201304050123452|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||612220504^テオロング錠 1 0 0 m g^99R02|^16^錠^99R03|||28|16^錠^99R03|||2^16&錠
&99R03|||21^内服^JHSP0003
TQ1|||14^d&日&ISO+
RXR|^""
ORC|NW|201304050123452|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||620389501^ムコソルバン錠 1 5 m g^99R02|^16^錠^99R03|||28|16^錠^99R03|||2^16&錠
&99R03|||21^内服^JHSP0003
TQ1|||14^d&日&ISO+
```

RXR|""
ORC|NW|201304050123452||3|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダ^HL70482
RXE||620009084^FAD錠10mg「TYK」^99R02|""||16^錠^99R03|||28|16^錠^99R03|||2^16&錠
&99R03|||21^内服^JHSP0003
TQ1|||14^d&日&ISO+
RXR|""
ORC|NW|201304050123452||4|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダ^HL70482
RXE||620003139^オノンカプセル112.5mg^99R02|""||15^カプセル^99R03|||28|15^カプセル
^99R03|||2^15&カプセル&99R03|||21^内服^JHSP0003
TQ1|||14^d&日&ISO+
RXR|""
ORC|NW|201304050123452||5|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダ^HL70482
RXE||660421117^ホクナリンテープ2mg^99R02|""||6^枚^99R03|||14|6^枚^99R03|||23^外用
^JHSP0003
TQ1
RXR|""

<RDE^011 (注射オーダ) : 平成 25 年 4 月 4 日>

MSH|^&||GW||20130405172300|RDE^011^RDE_011|0004|P|2.5||||ISO IR87|ISO 2022-1994
PID||55555||患者^太郎^L^I^カンジャ^タロウ^L^P|19381001|M|^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^03-9999-9999
ORC|NW|201304050123452||1|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダ^HL70482
RXE||""|""|""
TQ1
RXR|""
RXC|""|643310491^フルクトラクト注 200mL^99R02|1|20^袋^99R03
RXC|""|620005805^ネオフィリン注250mg 2.5%10mL^99R02|1|22^管^99R03
RXC|""|620007335^ソル・コーテブ注射用100mg (溶解液付)^99R02|2|19^瓶^99R03
RXC|""|643310183^生理食塩液 100mL^99R02|1|19^瓶^99R03
RXC|""|646130269^ロセフィン静注用1g^99R02|2|19^瓶^99R03

<PPR^ZD1 (病名 (歴) 登録・更新) : 平成 25 年 4 月 4 日>

MSH|^&||GW||20130405172300|PPR^ZD1^PPR_ZD1|0005|P|2.5||||ISO IR87|ISO 2022-1994
PID||55555||患者^太郎^L^I^カンジャ^タロウ^L^P|19381001|M|^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^03-9999-9999
PRB|AD|20130404|""|20130404|""|||気管支喘息
ORC|NW|201304050123454|||20130404000000|||20130404000000|||0^外来患者オーダ^HL70482

<ADT^A04 (患者登録) : 平成 25 年 4 月 5 日>

MSH|^&||GW||20130405172300|ADT^A04^ADT_A01|0006|P|2.5||||ISO IR87|ISO 2022-1994
EVN||20130405
PID||55555||患者^太郎^L^I^カンジャ^タロウ^L^P|19381001|M|^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^03-9999-9999
NK1|1||EMC^緊急連絡先^HL70063|^370-9999^H^群馬県サンプル地区|^PRN^PH^0276-99-9999
PV1|O|20130405
IN1|1|^06000004|||99991|34567

<RDE^011 (注射オーダー) : 平成25年4月5日>

```
MSH|^~&||GW||20130405172300|RDE^011^RDE_011|0007|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID||55555||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19381001|M||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
ORC|NW|201304050123453||1||||20130405000000||||20130405000000|||||||0^外来患者オーダー^HL70482
RXE|^^^|^^^|^^^
TQ1
RXR|^^^
RXC|^^^|643310491^フルクトラクト注 200mL^99R02|1|20^袋^99R03
RXC|^^^|620005805^ネオフィリン注250mg 2.5%10mL^99R02|1|22^管^99R03
RXC|^^^|620007335^ソル・コーテフ注射用100mg (溶解液付)^99R02|2|19^瓶^99R03
RXC|^^^|643310183^生理食塩液 100mL^99R02|1|19^瓶^99R03
RXC|^^^|646130269^ロセフィン静注用1g^99R02|2|19^瓶^99R03
```

<ADT^A60 (アレルギー情報登録・更新) : 今回取込分>

```
MSH|^~&||GW||20130405172300|ADT^A60^ADT_A60|0008|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
EVN|^^^
PID||55555||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19381001|M||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
IAM|1|MA^種々のアレルギー^HL70127|^乳製品^99R07||A^追加^HL70323
IAM|2|MA^種々のアレルギー^HL70127|^卵^99R07||A^追加^HL70323
IAM|3|MC^種々の禁忌^HL70127|^セフェム系^99R07||A^追加^HL70323
IAM|4|MC^種々の禁忌^HL70127|^局所麻酔薬^99R07||A^追加^HL70323
```

2. 医科 入退院データ連携用データ出力

<連携用データイメージ>

入院患者が退院した（平成 25 年 3 月 25 日から入院し、4 月 8 日に退院）
4 月診療分レセプト

■■■■ 1 日～8 日■■■■

院内処方

医薬品コード	名称	使用量	回数
610463198	マグミット錠 330mg	6 錠	8 日分

■■■■ 1 日～7 日■■■■

注射

医薬品コード	名称	使用量
643910087	ケベラ S 注 20mL	1 管

<紙レセプトイメージ>

4 月診療分レセプト

21 *	マグミット錠 330mg	6 錠	3 ×	8
32 *	ケベラ S 注 20mL	1 管	6 ×	7

<地域医療連携用診療情報ファイル 最終取込日付：平成 25 年 3 月 31 日>

```

IR, 1, 13, 1, 1234567, , サンプル診療所, 42505, 00, 03-9999-9999
RE, 1, 1115, 42504, 患者 花子, 2, 3230401, , 4250325, , , , 22222, , , , , 22222, , , , , 
R1, 22222, 4250325, 4250408
R2, カジヤ ハコ, 105-9999, 東京都港区サンプル地区, 03-9999-9999, , 
R3, , 
HO, 34000000, 0 1, 0 1 0 0 0 0 0, 8, 8862, , 20, 10120, , , , , 
SY, 8840829, 4231027, 1, , , , 
SY, 7221010, 4231027, 1, , , , 
SY, 8840255, 4231027, 1, , , , 
SY, 8840042, 4250325, 1, , , , 
SY, 4779004, 4250402, 1, , , , 
IY, 21, 1, 610463198, 6, 3, 8, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
SI, 24, 1, 120001110, , 7, 8, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
IY, 32, 1, 643910087, 1, 6, 7, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
CO, 90, 1, 840000013, 2 5 0 4 0 8
SI, 90, 1, 190097010, , , 7, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
SI, , 1, 190135570, , , 7, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
SI, , 1, 190109670, , , 7, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
SI, , 1, 190126670, , , 7, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
SI, , 1, 190077370, , 917, 7, , , , , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, , , , , 
SI, 90, 1, 190119510, , , 1, , , , , , 1, , , , , 

```

```

SI,,1,190135570,,1,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,,1,190109670,,1,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,,1,190126670,,1,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,,1,190077370,,747,1,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,97,1,197000710,3,1518,5,,,,,,,,,1,1,1,1,,1,,,,,,,,,
SI,97,1,197000710,1,506,1,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,97,1,197000710,2,1012,2,,,,,,,,,1,,1,,,,,,,,,
SI,97,1,197000810,3,780,5,,,,,,,,,1,1,1,1,,1,,,,,,,,,
SI,97,1,197000810,1,260,1,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,97,1,197000810,2,520,2,,,,,,,,,1,,1,,,,,,,,,

```

<ADT^A03 (退院/来院終了) : 平成 25 年 4 月 8 日>

```

MSH|^~&||GW||20130408172300||ADT^A03^ADT_A01|0009|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
EVN||20130408
PID||22222||患者^花子^^^^L^I^カンジャ^ハナコ^^^^L^P||19480401|F||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
PV1||I||||||||||||||||||||||||||||||||||20130325|20130408
IN1|I|^^|34000000| || || |O1O0O0O|O1

```

<RDE^O11 (処方オーダー) : 平成 25 年 4 月 1 日>

```

MSH|^~&||GW||20130408172300||RDE^O11^RDE_O11|0010|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID||22222||患者^花子^^^^L^I^カンジャ^ハナコ^^^^L^P||19480401|F||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
ORC|NW|201304080123452||1|||||20130401000000| || || |20130401000000| || || || || || |I^入院患者オーダ^HL70482
RXE||610463198^マグミット錠 3 3 0 m g ^99R02|""|^16^錠 ^99R03|| || |6^16^錠 ^99R03| || || || |6^16&錠
&99R03| || || || |21^内服^JHSP0003
TQ1| || || |1^d&日&ISO+
RXR|""

```

～ 以下、4月8日分まで8メッセージが作成される。

<RDE^O11 (注射オーダー) : 平成 25 年 4 月 1 日>

```

MSH|^~&||GW||20130408172300||RDE^O11^RDE_O11|0011|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID||22222||患者^花子^^^^L^I^カンジャ^ハナコ^^^^L^P||19480401|F||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^^^^^^^^03-9999-9999
ORC|NW|201304080123458||1|||||20130401000000| || || |20130401000000| || || || || || |I^入院患者オーダ^HL70482
RXE||""|""|""|""
TQ1
RXR|""
RXC|""|^643910087^ケベラS注 2 0 mL ^99R02|1|22^管^99R03

```

～ 以下、4月7日分まで7メッセージが作成される。

3. 医科 継続入院連携用データ出力

<連携用データイメージ>

入院中の患者（平成 25 年 3 月 4 日から入院中）			
4 月診療分レセプト			
■■■■ 22 日～8 日■■■■			
<u>院内処方</u>			
医薬品コード	名称	使用量	回数
620002430	ミカルディス錠 40mg	1 錠	9 日分
620006065	バスタレルF錠 3mg	3 錠	9 日分
620002023	カロナール錠 200 200mg	2 錠	9 日分

<紙レセプトイメージ>

4 月診療分レセプト			

21	* ミカルディス錠 40mg	1 錠	
	バスタレルF錠 3mg	3 錠	15 × 9
	* カロナール錠 200 200mg	2 錠	2 × 9

<地域医療連携用診療情報ファイル 最終取込日付：記録なし>

```

IR, 2, 13, 1, 1234567, , サンプル診療所, 42505, 00, 03-9999-9999
RE, 1, 1317, 42504, 患者 有子, 2, 2081001, , 4250304, , , , 33333, , , , , 33333, , , , , 
R1, 33333, 4250304,
R2, カヅァ ヲコ, 105-9999, 東京都港区サンプル地区, 03-9999-9999, ,
R3, ,
HO, 39000005, , 39000005, 30, 20351, , 90, 45540, , , 20350, , ,
SY, 6918003, 4230205, 1, , ,
SY, 4919002, 4230301, 1, , ,
SY, 8840829, 4250302, 1, 4012, , ,
IY, 21, 1, 620002430, 1, , 9, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, , 1, 620006065, 3, 15, 9, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
IY, 21, 1, 620002023, 2, 2, 9, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 24, 1, 120001110, , 7, 9, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 40, 1, 140040310, , 35, 7, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 90, 1, 190119510, , 2, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190135570, , 2, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190109670, , 2, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190126670, , 2, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190077370, , 747, 2, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, 90, 1, 190119610, , 28, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190135570, , 28, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190109670, , 28, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190126670, , 28, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
SI, , 1, 190077370, , 657, 28, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
    
```


4. 調剤 外来情報連携用データ出力

<連携用データイメージ>

平成26年1月10日来局			
1月調剤分レセプト			
<hr/>			
<u>アレルギー歴</u>			
乳製品、卵			
<u>副作用歴</u>			
セフェム系（発熱）			
<u>連携用コメント</u>			
後発品へ変更（レベニン散）			
<u>調剤内容</u>			
<内服>			
医薬品コード	名称	使用量	回数
620004992	コリアンカプセル5mg	6C	5日分
620425801	フェロペリン配合錠	6錠	5日分
【分3 毎食後服用】			
<内服>			
医薬品コード	名称	使用量	回数
620008284	アトソルビン原末	1.5g	5日分
612370121	タナルビン「ヒヤマ」	1.5g	5日分
620007148	レベニン散	2g	5日分
【分3 毎食後服用】			
<外用>			
医薬品コード	名称	使用量	回数
620008969	イジソナーゲル液7%	60ml	1調剤
【1日3～4回 うがい】			
<注射>			
医薬品コード	名称	使用量	回数
620008894	ホラビッド注ペンフィル300単位	2筒	1調剤
710010093	ペンシードル	60本	1調剤
【1日2回 朝14単位 夕6単位】			

<紙レセプトイメージ>

1月調剤分レセプト	
<hr/>	
<内服>	
コリアンカプセル5mg 6C	
フェロペリン配合錠 6錠	

【分3 毎食後服用】 ×5 日分

<内服>

アトソルビン原末 1.5g
タソルビン「ヒヤマ」 1.5g
レベニン散 2g

【分3 毎食後服用】 ×5 日分

<外用>

イソジンカール液 7% 60ml
【1日3～4回 うがい】 ×1 調剤

<注射>

ボラピット注ペンシール 300 単位 2 筒
ペンシードル 60 本
【1日2回 朝14単位 夕6単位】×1 調剤

<地域医療連携用診療情報ファイル 最終取込日付 : 記録なし>

YK, 2, 13, 4, 1234567, サンプル薬局 駅前店, 42602, 00, 03-9999-9999
RE, 1, 4112, 42601, 鈴木 太郎, 1, 3330303, ., 13, 1, 1234567, サンプル診療所, 東京都港区サンプル地区, 医師 次郎,
R1, 99999
R2, スズキ 知子, 105-9999, 東京都港区サンプル地区, 03-9999-9999, .
R3, 1, 乳製品
R3, 1, 卵
R3, 2, セフェム系 (発熱)
HO, 06000004, 111, 222, 1, 699,
SH, 01, 1, 003, ., 13, ., .,
CZ, 1, 4260110, 4260110, 1, 5, 1, 1, 01, 420000110, 25, ., 65, ., 1, 430002870, 45,
IY, 1, 620004992, 6, ., ., .,
IY, 1, 620425801, 6, ., ., .,
IY, 1, 620008284, 1.5, ., ., 1, .,
IY, 1, 612370121, 1.5, ., ., 1, .,
IY, 1, 620007148, 2, ., ., 1, .,
C1, 819990001, 後発品へ変更 (レベニン散), 4260110
SH, 02, 5, 900, 1日3～4回 うがい, 20, ., .,
CZ, 1, 4260110, 4260110, 1, 1, 1, 1, 02, 420000410, 10, ., 20,
IY, 1, 620008969, 60, ., ., .,
SH, 03, 4, 900, 1日2回 朝14単位 夕6単位, 325, ., .,
CZ, 1, 4260110, 4260110, 1, 1, 1, 1, 03, 420000310, 26, ., 325,
IY, 1, 620008894, 2, ., ., .,
SH, 04, 9, ., ., 102, ., .,
CZ, 1, 4260110, 4260110, 1, 1, 1, 2, 04, ., 0, ., 102,
TO, 1, 710010093, 60, 007, 17,
KI, ., 1, 1, 410000110, 40, ., 1, 440000110, 1, 41,

<ADT^A04 (患者登録):平成26年1月10日>

```

MSH|^~\&||GW||20140110172300|ADT^A04^ADT_A01|0014|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
EVN||20140110
PID||99999||鈴木^太郎^~~~~L^I~スズキ^タロウ^~~~~L^P||19580303|M|||~~~~105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^~~~~043-000-0000
PV1||0|||||||||||||||||||||||||||||||||20140110
IN1|1|""|06000004||||||2 2 2|1 1 1

```

<RDS^O13 (調剤実施):平成26年1月10日>

```

MSH|^~\&||GW||20140110172300|RDS^O13^RDS_O13|0015|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID||99999||鈴木^太郎^~~~~L^I~スズキ^タロウ^~~~~L^P||19580303|M|||~~~~105-9999^H^東京都港区サンプル地区
|^PRN^PH^~~~~043-000-0000
ORC|NW|201401100123451||1|||||20140110000000|0000|20140110000000|0000|0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||620004992^コリオパンカプセル5mg^99R02|""|""|30|15^カプセル^99R03|0000|0000|1^内服^99R04
TQ1||001&1日3回食前服用&99R05||5^d&日&ISO+
RXR|""
RXD|1|620004992^コリオパンカプセル5mg^99R02|20140110|30|15^カプセル^99R03|""
RXR|""
ORC|NW|201401100123451||2|||||20140110000000|0000|20140110000000|0000|0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||620425801^フェロベリン配合錠^99R02|""|16^錠^99R03|0000|0000|30|16^錠^99R03|0000|0000|1^内服^99R04
TQ1||001&1日3回食前服用&99R05||5^d&日&ISO+
RXR|""
RXD|1|620425801^フェロベリン配合錠^99R02|20140110|30|16^錠^99R03|""
RXR|""
ORC|NW|201401100123451||3|||||20140110000000|0000|20140110000000|0000|0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||620008284^アドソルビン原末^99R02|""|33^g^99R03|0000|0000|7.5|33^g^99R03|0000|0000|1^内服^99R04
TQ1||001&1日3回食前服用&99R05||5^d&日&ISO+
RXR|""
RXD|1|620008284^アドソルビン原末^99R02|20140110|7.5|33^g^99R03|""
RXR|""
ORC|NW|201401100123451||4|||||20140110000000|0000|20140110000000|0000|0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||612370121^タンナルビン「ヒシヤマ」^99R02|""|33^g^99R03|0000|0000|7.5|33^g^99R03|0000|0000|1^内服^99R04
TQ1||001&1日3回食前服用&99R05||5^d&日&ISO+
RXR|""
RXD|1|612370121^タンナルビン「ヒシヤマ」^99R02|20140110|7.5|33^g^99R03|""
RXR|""
ORC|NW|201401100123451||5|||||20140110000000|0000|20140110000000|0000|0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||620007148^レベニン散^99R02|""|33^g^99R03|0000|0000|10|33^g^99R03|0000|0000|1^内服^99R04
TQ1||001&1日3回食前服用&99R05||5^d&日&ISO+
RXR|""
RXD|1|620007148^レベニン散^99R02|20140110|10|33^g^99R03|""
RXR|""
ORC|NW|201401100123451||6|||||20140110000000|0000|20140110000000|0000|0^外来患者オーダー^HL70482
RXE||620008969^イソジンガーグル液7%60mL^99R02|""|36^mL^99R03|0000|0000|60|36^mL^99R03|0000|0000|5^外用^99R04

```

TQ1||&1日3~4回 うがい&99R05
 RXR|""
 RXD|1|620008969^イソジンガーゲル液7%60mL^99R02|20140110|60|36^mL99R03|""
 RXR|""
 ORC|NW|201401100123451||7|||||20140110000000|||||20140110000000|||||||0^外来患者オーダ^HL70482
 RXE||620008894^ノボラピッド注ペンフィル300単位^99R02|""||47^筒^99R03|||||2|47^筒^99R03|||||||4^
 注射^99R04
 TQ1||&1日2回 朝14単位 タ6単位&99R05
 RXR|""
 RXD|1|620008894^ノボラピッド注ペンフィル300単位^99R02|20140110|2|36^mL99R03|""
 RXR|""

<PPR^ZD1 (病名 (歴) 登録・更新) : 平成 26 年 1 月 10 日>

MSH|^~^&||GW||20140110172300|PPR^ZD1^PPR_ZD1|0016|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
 PID||99999||鈴木^太郎^~~~~L^I^スズキ^タロウ^~~~~L^P||19580303|M||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
 ||^PRN^PH^~~~~~043-000-0000
 PRB|AD|20140110|""|""||20140110|||||||後発品へ変更 (レベニン散)
 ORC|NW|201401100123452|||||20140110000000|||||20140110000000|||||||0^外来患者オーダ^HL70482

<ADT^A60 (アレルギー情報登録・更新) : 今回取込分>

MSH|^~^&||GW||20140110172300|ADT^A60^ADT_A60|0017|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
 EVN||" "
 PID||99999||鈴木^太郎^~~~~L^I^スズキ^タロウ^~~~~L^P||19580303|M||^105-9999^H^東京都港区サンプル地区
 ||^PRN^PH^~~~~~043-000-0000
 IAM|1|MA^種々のアレルギー^HL70127|^乳製品^99R07||A^追加^HL70323
 IAM|2|MA^種々のアレルギー^HL70127|^卵^99R07||A^追加^HL70323
 IAM|3|MC^種々の禁忌^HL70127|^セフェム系 (発熱)^99R07||A^追加^HL70323

5. 検査結果データ

<サンプルデータイメージ>

医療機関:	テスト医院 (0123456789)		
検査依頼医師:	医師 太郎		
診療科:	内科 (01)		
検査機関:	A検査臨床センター (9377778888)		
患者ID:	123456		
患者氏名:	患者 太郎 (カヅヤ タロウ)		
入外区分:	外来		
性別:	男 (1)		
生年月日:	1975年5月21日		
検体採取日時:	2014年2月14日12時13分14秒		
検査依頼日時:	2014年2月14日16時23分45秒		
検査実施日時:	2014年2月14日09時14分15秒		
身長:	168.3cm		
体重:	62.5kg		
尿量:	23.5ml		
透析区分:	透析前		
検査結果:	【JLAC10コード (レ電コード)】	検査結果・単位	基準値】
・尿蛋白定量	1A015000000127101 (160000410)	35.2 mg/d l	25 以下
・中性脂肪	3F015000002327101 (160020910)	198 mg/d l	50 ~ 149
・白血球数	2A990000001992052 (160008010)	6500 /μ l	3100 ~ 9400
医療機関:	テスト医院 (0123456789)		
検査依頼医師:	医師 良子		
診療科:	産婦人科 (23)		
検査機関:	A検査臨床センター (9377778888)		
患者ID:	222333		
患者氏名:	患者 花子 (カヅヤ ハナコ)		
入外区分:	入院		
性別:	女 (2)		
生年月日:	1985年11月23日		
検体採取日時:	2014年2月14日11時13分14秒		
検査依頼日時:	2014年2月14日16時23分45秒		
検査実施日時:	2014年2月14日09時54分15秒		
身長:	158.3cm		
体重:	49.5kg		
尿量:	43.5ml		
妊娠週:	39 週目		
検査結果:	【JLAC10コード (レ電コード)】	検査結果・単位	基準値】
・潜血反応[尿]	1A100000000190111 (160000310)	(-) 単位なし	(-)
・総蛋白	3A010000002327101 (160017410)	5.4 g/d l	6.5 ~ 8.3
・クレアチニン	3C015000002327101 (160019210)	0.1 未満 mg/d l	0.3 ~ 1.1
※クレアチニンは、検査結果形態 (L: 未満) が付加されているものとする			

<サンプル CSV データ>

ファイル名 9377778888_0123456789_20140215132347.csv

"Ver1.00","45","20140318"
"検査機関コード","検査機関名","施設コード","施設名称","診療科コード","検査依頼医師氏名","検査結果通番","患者 ID(カルテ No)","患者氏名:漢字","半角カナ氏名","生年月日","性別","同意患者識別","身長","体重","透析区分","食事区分コード","食事区分コメント","妊娠週数","依頼者オーダーID","入外区分","検査依頼日時","オーダーコメント","検体採取日時","検体タイプ","検体コメント","尿量","検査項目独自コード","検査項目名称","検査項目見出し","JLAC10 コード","レセ電コード","検査実施日(受付日)","検査結果状態","検査値","結果値形態","単位","基準値区分","基準値1:下限","基準値2:上限","異常フラグ","結果コメントコード1","結果コメント1","結果コメントコード2","結果コメント2"
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","01","医師 太郎","1","123456","患者太郎","カヅヤ 太郎","19750521","1","Y","168.3cm","62.5kg","","空腹時","","","","00000000000001","2","20140214162345","オーダーコメント1","20140214121314","001","溶血あり","23.5ml","112-0001","尿蛋白定量","E000","1A01500000127101","160000410","20140215091415","F","35.2","","","mg/dl","E","","25","H","A02","溶血しておりました","",""
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","01","医師 太郎","1","123456","患者太郎","カヅヤ 太郎","19750521","1","Y","168.3cm","62.5kg","","空腹時","","","","00000000000001","2","20140214162345","オーダーコメント1","20140214121314","019","","","112-0202","白血球数","E001","2A990000001992052","160008010","20140215091415","F","6500","","","/μl","-","3100","9400","","",""
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","01","医師 太郎","1","123456","患者太郎","カヅヤ 太郎","19750521","1","Y","168.3cm","62.5kg","","空腹時","","","","00000000000001","2","20140214162345","オーダーコメント1","20140214121314","023","","","112-0101","中性脂肪","E002","3F015000002327101","160020910","20140214091415","F","198","","","mg/dl","-","50","149","H","C06","薬剤の影響が考えられます","",""
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","23","医師 良子","2","222333","患者花子","カヅヤ ハコ","19851123","2","Y","158.3cm","49.5kg","39","食後2時間","","","","00000000000002","1","20140214162345","オーダーコメント2","20140214111314","001","乳びあり","43.5ml","112-0301","潜血反応","尿","E000","1A10000000190111","160000310","20140214095415","F","(-)","","","","(-)","","",""
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","23","医師 良子","2","222333","患者花子","カヅヤ ハコ","19851123","2","Y","158.3cm","49.5kg","39","食後2時間","","","","00000000000002","1","20140214162345","オーダーコメント2","20140214111314","023","","","112-0401","総蛋白","E002","3A010000002327101","160017410","20140214095415","F","5.4","","","g/dl","-","6.5","8.3","L","C06","薬剤の影響が考えられます","",""
"9377778888","A検査臨床センター","0123456789","テスト医院","23","医師 良子","2","222333","患者花子","カヅヤ ハコ","19851123","2","Y","158.3cm","49.5kg","39","食後2時間","","","","00000000000002","1","20140214162345","オーダーコメント2","20140214111314","023","","","112-0501","クレアチニン","E002","3C015000002327101","160019210","20140214095415","F","0.1","L","mg/dl","-","0.3","1.1","L","C06","薬剤の影響が考えられます","",""

<OUL^R22 (検体検査結果通知) : 平成 26 年 2 月 14 日 (患者 太郎) >

MSH|^~&|||20140215172300|| OUL^R22^OUL_R22|0001|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||123456||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19750521|M
PV1||0
SPM|1||001^尿(含むその他)^JC10|||||23.5^mL&mL&ISO+||溶血あり||20140214121314
ORC|SC|000000000000001|||||20140215162345||^医師^太郎^~~~~L^~~~~I|||||01^内科^HL70069||||テ
スト医院^~~~~FI^0123456789|||||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||00000000000001||E000^一般検査^99003||||||オーダーコメント1||^医師^太郎
^~~~~L^~~~~I||||A臨床検査センター(937778888)
OBX|1|NM|1A01500000127101^尿蛋白定量^JC10^112-0001^尿蛋白定量^99P01|1|35.2|^mg/d l
^99P02|<25|H||F||20140215091415
OBX|2|CWE|1A01500000127101&ADT^^JC10|1|160000410^^99R01|||||F
OBX|3|ST|1A01500000127101&TCM^^JC10|1|溶血しておりました|||||F
OBX|4|ST|1A01500000127101&TCM^^JC10|1|空腹時|||||F
OBX|5|ST|1A01500000127101&TCM^^JC10|1|透析前|||||F
OBX|6|NM|9N00100000000001^身長^JC10|1|168.3|cm^cm^ISO+|||||F
OBX|7|NM|9N00600000000001^体重^JC10|1|62.5|kg^kg^ISO+|||||F
SPM|2||019^全血(添加物入り)^JC10|||||20140214121314
ORC|SC|000000000000001|||||20140215162345||^医師^太郎^~~~~L^~~~~I|||||01^内科^HL70069||||テ
スト医院^~~~~FI^0123456789|||||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||00000000000001||E001^血液学的検査^99003||||||オーダーコメント1||^医師^太郎
^~~~~L^~~~~I||||A臨床検査センター(937778888)
OBX|1|NM|2A990000001992052^白血球数^JC10^112-0202^白血球数^99P01|1|6500|^/d l^99P02|3100-9400|
||F||20140215091415
OBX|2|CWE|2A990000001992052&ADT^^JC10|1|160008010^^99R01|||||F
SPM|3||023^血清^JC10|||||乳びあり||20140214121314
ORC|SC|000000000000001|||||20140215162345||^医師^太郎^~~~~L^~~~~I|||||01^内科^HL70069||||テ
スト医院^~~~~FI^0123456789|||||0^外来患者オーダー^HL70482
OBR||00000000000001||E002^生化学的検査^99003||||||オーダーコメント1||^医師^太郎
^~~~~L^~~~~I||||A臨床検査センター(937778888)
OBX|1|NM|3F015000002327101^中性脂肪^JC10^112-0101^中性脂肪^99P01|1|198|mg^/d l
^99P02|50-149|H||F||20140215091415
OBX|2|CWE|3F015000002327101&ADT^^JC10|1|160020910^^99R01|||||F
OBX|3|CWE|3F015000002327101&TCM^^JC10|1|C06^薬剤の影響が考えられます^99P03|||||F

<OUL^R22 (検体検査結果通知) : 平成 26 年 2 月 14 日 (患者 花子) >

MSH|^~&|||20140215172300|| OUL^R22^OUL_R22|0001|P|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||222333||患者^花子^~~~~L^I^カンジャ^ハナコ^~~~~L^P||19851123|F
PV1||I
SPM|1||001^尿(含むその他)^JC10|||||43.5^mL&mL&ISO+||乳びあり||20140214111314
ORC|SC|000000000000002|||||20140215162345||^医師^良子^~~~~L^~~~~I|||||23^産婦人科^HL70069||||
テスト医院^~~~~FI^0123456789|||||I^入院患者オーダー^HL70482
OBR||00000000000002||E000^一般検査^99003||||||オーダーコメント2||^医師^良子
^~~~~L^~~~~I||||A臨床検査センター(937778888)
OBX|1|ST|1A10000000190111^潜血反応[尿]^JC10^112-0301^潜血反応[尿]^99P01|1|(-)|(-)|

|||F|||20140215095415
 OBX|2|CWE|1A10000000190111&ADT^^JC10|1|160000310^^99R01|||||F
 OBX|3|ST|1A10000000190111&TCM^^JC10|1|食後2時間|||||F
 OBX|4|ST|1A10000000190111&TCM^^JC10|1|妊娠39週目|||||F
 OBX|5|NM|1A10000000190111^身長^JC10|1|158.3|cm^cm^ISO+|||||F
 OBX|6|NM|1A10000000190111^体重^JC10|1|49.5|kg^kg^ISO+|||||F
 SPM|2|||019^全血(添加物入り)^JC10|||||||20140214111314
 ORC|SC|000000000000002|||||20140215162345|||^医師^良子^^^^^^L^^^^I|||||23^産婦人科^HL70069||||
 テスト医院^^^^^FI^^0123456789|||||||I^入院患者オーダー^HL70482
 OBX||000000000000002||E001^血液学的検査^99003|||||||オーダーコメント2|||^医師^良子
 ^^^^^L^^^^I||||A臨床検査センター(937778888)
 OBX|1|NM|3A010000002327101^総蛋白^JC10^112-0401^総蛋白^99P01|1|5.4|^g/d l
 ^99P02|6.5-8.3|L|||F|||20140215095415
 OBX|2|CWE|3A010000002327101&ADT^^JC10|1|160017410^^99R01|||||F
 OBX|3|ST|3C015000002327101&TCM^^JC10|1|薬剤の影響が考えられます|||||F
 OBX|4|SN|3C015000002327101^クレアチニン^JC10^112-0501^クレアチニン^99P01|2|<^0.1|m g^/d l
 ^99P02|0.3-1.1|L|||F|||20140215095415
 OBX|5|CWE|3C015000002327101&ADT^^JC10|2|160019210^^99R01|||||F
 OBX|6|ST|3C015000002327101&TCM^^JC10|2|薬剤の影響が考えられます|||||F

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2014/03/28	Ver. 1.0	初版